

令和5年度一関市食育推進協議会

日時：令和5年10月17日（火）

午後2時～3時30分

場所：一関保健センター 多目的ホール

次 第

委嘱状交付

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 会長及び副会長の選出
- 4 説 明
第4次一関市食育推進計画について 資料1
- 5 報 告
令和4年度の食育の取組状況について 資料2
令和5年度の食育の取組状況について 資料3
- 6 情報交換
- 7 その他
- 8 閉 会

令和5年度一関市食育推進協議会委員名簿

任期：令和5年10月1日から令和7年9月30日

NO	組織・団体名	役職名（所属）	組織	氏名	R5委嘱状 交付	備考	欠席者
1				伊東 陸子	○		欠席
2				小野寺 拓也	○		
3				齋藤 正則	○	新任	
4				佐藤 一則	○		欠席
5				斎藤 賢	○	新任	欠席
6				千葉 幸恵	○		
7				佐藤 千代	○	新任	欠席
8				阿部 政勝	○	新任	
9				大鷹 真	○	新任	
10				滝田 直子	○	新任	
11				小山 祐二	○	新任	
12				伊藤 瑠梨	○	新任	
13				高橋 京子	○		欠席
14	東北農政局消費・安全部 消費生活課	主任広域監視官	(6)	岩渕 克浩	○		
15	岩手県一関保健所	主任栄養士	(6)	坂下 藤子	○	新任	
16				佐藤 律子	○		
17				千葉 京子	○		
18				石田 かつこ	○	新任	

（組織）委員は次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- （1）消費者及び消費者団体の代表者（2）農林業者（3）農林業関係団体の職員（4）食品事業者
（5）教育関係者（6）知識経験者（7）ボランティア団体の代表（8）健康推進団体の代表

市出席者

NO	役 職 名	氏 名
1	副市長	石川 隆明
2	健康子ども部長	鈴木 伸一
3	健康子ども部次長兼健康づくり課長	松田 京士
4	健康子ども部子ども家庭課 栄養主任主査	木村 幸子
5	健康子ども部児童保育課長	宮野 剛輔
6	健康子ども部健康づくり課 課長補佐兼健康増進係長	佐藤 忠美
7	健康子ども部健康づくり課 課長補佐兼栄養主任主査	伊東 ゆり
8	健康子ども部健康づくり課 主査	小野寺 健
9	健康子ども部健康づくり課 栄養士	佐藤 千尋
10	教育委員会教育部学校教育課 課長補佐兼保健係長	金野 幸
11	教育委員会教育部学校教育課 栄養主査	岩渕 芳枝

○一関市食育推進協議会設置要綱

平成 19 年 8 月 20 日
告示第 204 号の 2

(設置)

第 1 本市の食育推進のため、一関市食育推進協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第 2 協議会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 一関市食育推進計画(以下「推進計画」という。)に関すること。
- (2) 推進計画に関する施策の推進及び総合調整に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、食育の推進を図るために必要な事項に関すること。

(組織)

第 3 協議会は、委員 20 人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 消費者及び消費者団体の代表者
- (2) 農林業者
- (3) 農林業関係団体の職員
- (4) 食品事業者
- (5) 教育関係者
- (6) 知識経験者
- (7) ボランティア団体の代表
- (8) 健康推進団体の代表

3 委員の任期は、2 年とし、再任を妨げない。

4 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第 4 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 5 協議会は、会長が招集する。

2 会長は、必要があると認めたときは、協議会の会議に委員以外の出席を求め、意見を聞くことができる。

(庶務)

第 6 協議会の庶務は、健康こども部健康づくり課において処理する。

(その他)

第 7 この告示に定めるもののほか、必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

制定文 抄

平成 19 年 8 月 21 日から施行する。

制定文 抄

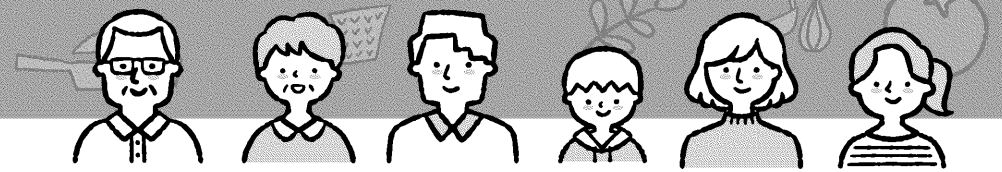
平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

制定文 抄

令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

第4次一関市食育推進計画 概要版

計画期間 令和4年度(2022年度) ▶ 令和8年度(2026年度)

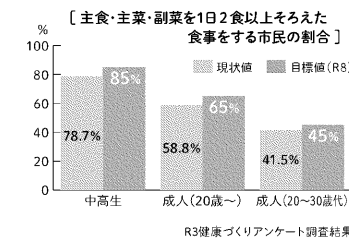
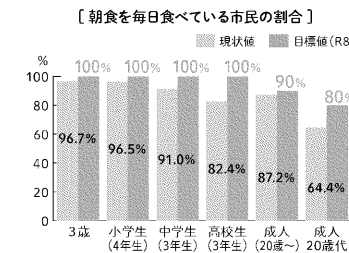


食育推進スローガン 家族や地域 笑顔でつながる 食育の環(わ)

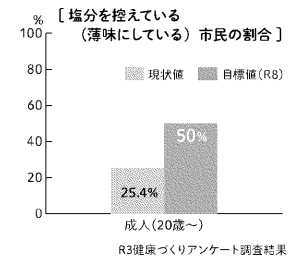
「食」は私たちが生きていくために欠くことのできない命の源です。心豊かな生活を送るためには、健全な食生活を日々実践し、おいしく楽しく食べることや、「食」を支える社会や環境を持続可能なものにしていくことが重要となります。平成17年に食育基本法が施行されました。食育とは、生きるうえでの基本として、知育・徳育・体育の基礎となるべきものと位置づけ、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。市では、市民一人ひとりが食の重要性を認識し、健全な食生活を実践し、心身の健康と豊かな人間性を育むことを目指し、環境や食文化を意識した持続可能な「食」に必要な環境の環(わ)、人の輪(わ)、和食文化の和(わ)の3つの「わ」を支える食育を推進します。

現状と課題

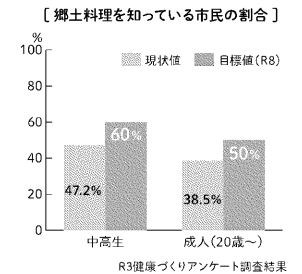
○他の年代に比べ20代、30代の若い人に、朝食を食べる割合や、主食・主菜・副菜をそろえている割合が低い傾向にあり、バランスのとれた食事の重要性について理解してもらう必要があります。



○薄味にしている市民の割合は3割弱に留まりました。一人ひとりが薄味を心がけ、生活習慣病等の予防のため、食と健康に関心を持ち、望ましい食習慣を実践できるよう、乳幼児から妊産婦や高齢者に至るまで生涯を通じた切れ目のない食育を進める必要があります。



○郷土料理を知っている市民の割合は5割に届きませんでした。自然の恩恵や食に関わる人々への感謝の気持ちを育み、地産地消への理解を深めながら、伝統的な地域の和食文化や郷土食を伝えていく必要があります。



○感染症対策を講じ、「新しい生活様式」に対応した食育を推進する必要があります。

食育推進関係者の役割

市民一人ひとりが本計画の内容を理解し取り組む「自助」、家庭や近隣等が互いに支えあいながら取り組む「互助」、幼稚園・保育所・こども園・学校及び学校給食センター、PTA・地域・食育推進団体、生産者・事業者が一体となって取り組む「共助」、行政が食育推進のための環境整備に取り組む「公助」を柱とし、計画の推進を図っていきます。本計画の策定を進めてきた一関市食育推進協議会は、その着実な実行を目指し、中心的な役割を担います。

幼稚園・保育所・こども園・学校・学校給食センター

- 幼稚園、保育所、こども園では、食べ物への興味や関心を持ち、食べる喜びや楽しさを味わう体験を通じ、食事のマナー、食材や調理する人への感謝の心を育み、地域の食文化に親しむことができるよう努めます。
- 学校や学校給食センターでは、給食を「生きた教材」として活用し、集団生活を通して社会性、協調性を育てることや、食習慣と健康の関係について正しく理解し、自ら健康を管理する力を育てます。

生産者・事業者

- 農業に関する体験の機会を積極的に提供し、作り手に感謝し、食べ物を大切にすることを育てます。
- 食べ物に関する正しい知識を発信し、安全・安心な地場産物の利用促進を図ります。

家庭

- 親子のふれあい、家族での共食を通して、食への感謝の心を育み、食事のマナーや食に関する知識を身につけます。

行政

- 食育推進関係者の交流と連携強化、食に関するボランティア団体への活動支援、「新たな日常」やデジタル化に対応した食育に関する情報発信等、食育推進のための環境整備に取り組みます。
- 食育に関する各種事業の充実を図ります。

PTA・地域・食育推進団体

- PTAでは、食育を含めた家庭教育の充実を図ります。
- 地域では、地域の食材や郷土料理に親しみ、住民同士の交流を通じて食文化の伝承や地産地消の推進、体験活動の推進を図ります。
- 食育推進団体である食生活改善推進員は、食生活の改善を通して地域の健康づくりを推進します。
- 子ども食堂等で、地域での様々な共食の場づくりを推進します。

連携

一関市食育推進協議会

ライフステージに応じた食育の推進



第4次一関市食育推進計画 概要版

発行：一関市
編集：一関市保健福祉部健康づくり課
〒021-0026 岩手県一関市山自字前田13番地1
TEL0191-21-2160 FAX0191-21-4656



基本理念

生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進や、持続可能な食に必要な3つの「わ」を支える食育を推進し、市民一人ひとりが、家庭や地域とのつながりの中で、生涯にわたって健全な食生活を営むことにより、心身ともにいきいきとした健康な暮らしを実現します。

第4次一関市食育推進計画の推進にあたり、以下の評価指標と目標値を設定し、目標の達成を目指します。

基本目標1 望ましい食習慣の形成と定着

1 「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成

- 乳幼児健康診査等での栄養相談等の実施
- 保育施設等、学校での食育の実施

2 主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践

- 保育施設等、学校の給食での食指導の実施
- バランス献立調理講習会の実施

3 健康寿命の延伸につながる食育の推進

- 健康講座等で生活習慣病予防や高齢者のフレイル予防について健康教育の実施
- 減塩メニュー等の調理講習会の実施

4 若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援

- 親子や若い世代、男性を対象とした調理講習会の実施

評価指標	対象	現状値	目標値(R8)
朝食を毎日食べている市民の割合	3歳	96.7%	▶ 100%
	小学生(4年生)	96.5%	▶ 100%
	中学生(3年生)	91.0%	▶ 100%
	高校生(3年生)	82.4%	▶ 100%
	成人(20歳～)	87.2%	▶ 90%
主食・主菜・副菜を1日2食以上そろえた食事をする市民の割合	うち成人20歳代	64.4%	▶ 80%
	中高生	78.7%	▶ 85%
	成人(20歳～)	58.8%	▶ 65%
塩分を控えている(薄味にしている)市民の割合	うち成人20～30歳代	41.5%	▶ 45%
	成人(20歳～)	25.4%	▶ 50%

基本目標2 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成

1 コミュニケーションによる豊かな食育の推進

- 食のイベントの開催
- 「食育の日(19日)」、「食育月間(6月)」の普及

2 農業体験等を通じた生産者との交流

- 農業祭の開催
- 農業体験教室の実施
- 交流給食会の実施

3 食文化の継承

- 保育施設等、学校給食で郷土料理や行事食の提供
- 食のイベントでの郷土食の提供
- 郷土食調理講習会の実施

評価指標	対象	現状値	目標値(R8)
郷土料理を知っている市民の割合	中高生	47.2%	▶ 60%
	成人(20歳～)	38.5%	▶ 50%
家族や友人などと会話を楽しみながらゆっくり食事をする市民の割合	中高生	60.0%	▶ 70%
	成人(20歳～)	63.1%	▶ 70%

食育とSDGsの関係性

SDGsの目標には、「目標2.飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する」、「目標4.すべての人々に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」、「目標12.持続可能な生産消費形態を確保する」などの食育と関係が深い目標があります。本計画においても、健全な食生活の実現や豊かな食文化の継承など、SDGsの考え方を踏まえ多様な主体と連携・協働し、取組の推進を図ります。

基本目標3 食の安全と循環や環境への理解の促進

1 食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及

- 保育施設や学校での食育の実施
- 食料品の安全性や栄養等に関する情報提供
- 食料品の備蓄に関する情報提供
- 家庭の食品ロス削減に関する情報提供

2 地産地消の推進

- 学校給食における地場産物の利用
- 農業祭の開催
- 産直等での地場産物のPR

評価指標	対象	現状値	目標値(R8)
産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選んでいる市民の割合	中高生	44.9%	▶ 55%
	成人(20歳～)	68.1%	▶ 75%
食を残しなど無駄や廃棄の少ない食事づくりを意識している割合	成人(20歳～)	87.5%	▶ 95%

基本目標4 食育を推進する関係者の連携強化

1 食育推進スローガンの普及と定着

- 給食だより等での啓発
- 各種イベントや食育の日、食育月間でののぼり旗の掲示

2 食育推進関係者の交流及び食育活動の推進

- 食育推進関係者の情報交換の実施
- 食育推進関係者の連携・協働の取組の充実
- 食に関係するボランティア団体への活動支援
- 「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の実施

評価指標	対象	現状値	目標値(R8)
食育月間(6月)の取組件数	食育推進関係者、団体	75件	▶ 85件
食育の日(毎月19日)の取組件数	食育推進関係者、団体	34件	▶ 44件
食育月間以外の取組件数	食育推進関係者、団体	104件	▶ 114件

農林水産省では令和3年2月に食育の取組を子どもから大人まで誰にでもわかりやすく発信するため、食育に関する12の取組の表現を単純化した絵文字の「食育ピクトグラム」を作成しました。SDGsのロゴのように、食育ピクトグラムで食習慣を振り返り、健康寿命の延伸、食料自給率の向上、地球環境への負担軽減を目指していきます。

※「ピクトグラム」(Pictogram、ピクトグラフ Pictograph) 一般に「絵文字」「絵単語」と呼ばれ、何らかの情報を注釈を示すために表示される視覚記号(サイン)の一つである。

1 みんなで楽しく食べよう

家族や仲間と会話を楽しみながら食べる食卓は、心も体も元気にします。

2 朝ご飯を食べよう

朝食の摂取は、健康的な生活習慣につながります。

3 バランスよく食べよう

主食・主菜・副菜の組み合わせで、栄養バランスのよい食生活になります。

4 太りすぎないやせすぎない

近頃健康の維持や増進に努め、生活習慣病を予防します。

5 よくかんで食べよう

よくかんで食べることで、歯の健康な知識をもち、自ら判断し行動する力を養います。

6 手を洗おう

食糧の安全性等についての基礎的な知識をもち、自ら判断し行動する力を養います。

7 災害にそなえよう

いつ起こるかも知れない災害を想定し、非常時のための食料品を備蓄しておきましょう。

8 食を残しをなくそう

SDGsの目標である持続可能な社会を実現するため、適切に配分した農林水産物・食料品を投入したり、食品ロス削減を促します。

9 産地を応援しよう

これまで農林水産物や食料品を消費することは、食料の確保や産地や地域の活性化、食料の生産につながります。

10 食・農の体験しよう

農村漁業を体験して、食や農・水産物の理解を深めます。

11 和食文化を伝えよう

地域の郷土料理や伝統料理等の食文化を大切に、次の世代への継承を図ります。

12 食育を推進しよう

生涯にわたって心も体も健康で、賢い生活を送るために、食について考え、食の基礎を学びます。



いわての食育シンボルマーク
「毎月19日は食育の日」

食育の推進 (計画・取組紹介)



令和5年10月17日(火) 一関保健センター
一関市 健康づくり課 健康増進係
栄養士 佐藤千尋(さとう ちひろ)

食育の推進(食育基本法)

食育・・・生きる上での基本として、知育・徳育・体育の
基礎となるもの

様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選
択する力を習得し、健全な食生活を実践することがで
きる人間を育てる食育を推進する

国、都道府県、市町村、関係機関・団体等の関係者が
様々な形で食育を推進

食育推進基本計画

食育の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、食育基本法に基づいて作成される。

＜第4次＞
 令和3年度 食育推進計画(国)
 令和4年度 一関市食育推進計画



食育ピクトグラム (農林水産省)

食育の取組を誰にでも
 わかりやすく発信する
 ために作成。

<p>1 みんなで楽しく食べよう</p> <p>笑顔とにらみ合っている様</p>	<p>2 朝ごはんを食べよう</p> <p>朝日とご飯</p>	<p>3 バランスよく食べよう</p> <p>食事がバランスがよいコマ</p>
<p>4 洗わずに食べよう</p> <p>手洗わず</p>	<p>5 よくかんで食べよう</p> <p>よくかんで食べる子ども</p>	<p>6 手を洗おう</p> <p>手洗おう</p>
<p>7 笑顔になろう</p> <p>ペットボトルと水筒</p>	<p>8 食べ残しをなくそう</p> <p>食べ残したお皿</p>	<p>9 産物を応援しよう</p> <p>山と生産者</p>
<p>10 食文化を継承しよう</p> <p>食文化を継承しよう</p>	<p>11 食文化を伝えよう</p> <p>食文化を伝えよう</p>	<p>12 食育を広めよう</p> <p>食育を広めよう</p>

第4次一関市食育推進計画

(令和4年度～令和8年度)

スローガン

「家族や地域 笑顔でつながる
食育の環(わ)」

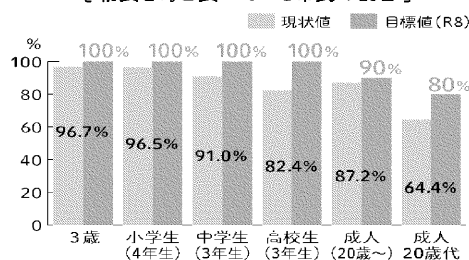
- 3つの環(わ)
- ①環境や食文化を意識した持続可能な「食」に必要な環境の環(わ)
 - ②人の輪(わ)
 - ③和食文化の和(わ)

5

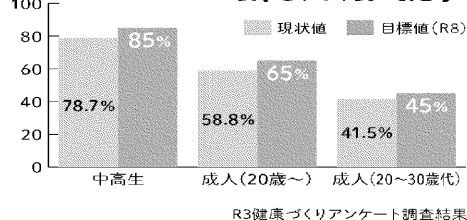
現状と課題

○他の年代に比べ20代、30代の若い人に、朝食を食べる割合や、主食・主菜・副菜をそろえている割合が低い傾向にあり、バランスのとれた食事の重要性について理解してもらう必要があります。

〔朝食を毎日食べている市民の割合〕



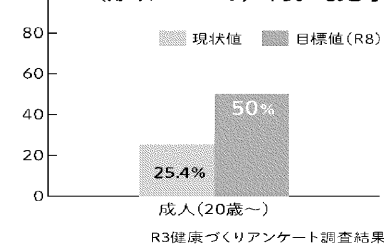
〔主食・主菜・副菜を1日2食以上そろえた食事をする市民の割合〕



R3健康づくりアンケート調査結果

○薄味にしている市民の割合は3割弱に留まりました。一人ひとりが薄味を心がけ、生活習慣病等の予防のため、食と健康に関心を持ち、望ましい食習慣を実践できるよう、乳幼児から妊産婦や高齢者に至るまで生涯を通じた切れ目のない食育を進める必要があります。

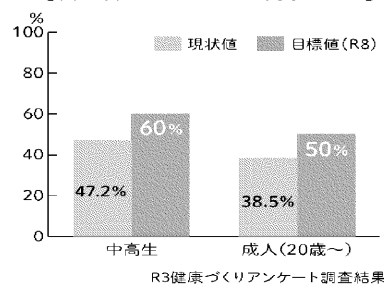
〔塩分を控えている(薄味にしている)市民の割合〕



R3健康づくりアンケート調査結果

○郷土料理を知っている市民の割合は5割に届きませんでした。自然の恩恵や食に関わる人々への感謝の気持ちを育み、地産地消への理解を深めながら、伝統的な地域の和食文化や郷土食を伝えていく必要があります。

〔郷土料理を知っている市民の割合〕



R3健康づくりアンケート調査結果

○感染症対策を講じ、「新しい生活様式」に対応した食育を推進する必要があります。

6

第4次一関市食育推進計画

「家族や地域 笑顔でつながる 食育の環(わ)」

- 基本目標 (1) 望ましい食習慣の形成と定着
- (2) 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成
- (3) 食の安全と循環や環境への理解の促進
- (4) 食育を推進する関係者の連携強化

基本目標1 望ましい食習慣の形成と定着

基本目標1 望ましい食習慣の形成と定着

1 「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成

- 乳幼児健康診査等での栄養相談等の実施
- 保育施設等、学校での食育の実施

2 主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践

- 保育施設等、学校の給食での食指導の実施
- バランス献立調理講習会の実施

3 健康寿命の延伸につながる食育の推進

- 健康講座等で生活習慣病予防や高齢者のフレイル予防について健康教育の実施
- 減塩メニュー等の調理講習会の実施

4 若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援

- 親子や若い世代、男性を対象とした調理講習会の実施

評価指標	対象	現状値	目標値(R8)
朝食を毎日食べている市民の割合	3歳	96.7%	▶ 100%
	小学生(4年生)	96.5%	▶ 100%
	中学生(3年生)	91.0%	▶ 100%
	高校生(3年生)	82.4%	▶ 100%
	成人(20歳～)	87.2%	▶ 90%
主食・主菜・副菜を1日2食以上そろえた食事をする市民の割合	うち成人20歳代	64.4%	▶ 80%
	中高生	78.7%	▶ 85%
	成人(20歳～)	58.8%	▶ 65%
塩分を控えている(薄味にしている)市民の割合	うち成人20～30歳代	41.5%	▶ 45%
	成人(20歳～)	25.4%	▶ 50%

基本目標2 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成

基本目標2 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成



主な取組

1 コミュニケーションによる豊かな食育の推進

- 食のイベントの開催
- 「食育の日(19日)」、「食育月間(6月)」の普及



2 農業体験等を通じた生産者との交流

- 農業祭の開催
- 農業体験教室の実施
- 交流給食会の実施



3 食文化の継承

- 保育施設等、学校給食で郷土料理や行事食の提供
- 食のイベントでの郷土食の提供
- 郷土食調理講習会の実施



評価指標と目標値

評価指標	対象	現状値	目標値(R8)
郷土料理を知っている市民の割合	中高生	47.2%	▶ 60%
	成人(20歳～)	38.5%	▶ 50%
家族や友人などと会話を楽しみながらゆっくり食事をする市民の割合	中高生	60.0%	▶ 70%
	成人(20歳～)	63.1%	▶ 70%

基本目標3 食の安全と循環や環境への理解の促進

基本目標3 食の安全と循環や環境への理解の促進



主な取組

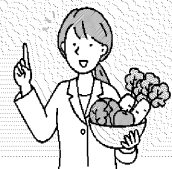
1 食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及

- 保育施設や学校での食育の実施
- 食品の安全性や栄養等に関する情報提供
- 食料品の備蓄に関する情報提供
- 家庭の食品ロス削減に関する情報提供



2 地産地消の推進

- 学校給食における地場産物の利用
- 農業祭の開催
- 産直等での地場産物のPR



評価指標と目標値

評価指標	対象	現状値	目標値(R8)
産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選んでいる市民の割合	中高生	44.9%	▶ 55%
	成人(20歳～)	68.1%	▶ 75%
食べ残しなど無駄や廃棄の少ない食事づくりを意識している割合	成人(20歳～)	87.5%	▶ 95%

基本目標4 食育を推進する関係者の連携強化

基本目標4 食育を推進する関係者の連携強化



主な取組

1 食育推進スローガンの普及と定着

- 給食だより等での啓発
- 各種イベントや食育の日、食育月間でののぼり旗の掲示



2 食育推進関係者の交流及び食育活動の推進

- 食育推進関係者の情報交換の実施
- 食育推進関係者の連携・協働の取組の充実
- 食に関係するボランティア団体への活動支援
- 「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の実施



評価指標と目標値

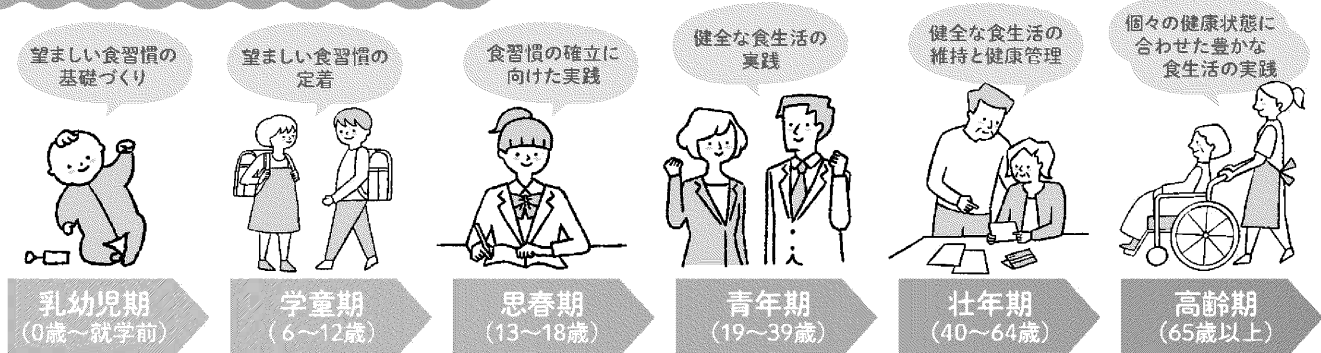
評価指標	対象	現状値	目標値(R8)
食育月間(6月)の取組件数	食育推進関係者、団体	75件	▶ 85件
食育の日(毎月19日)の取組件数	食育推進関係者、団体	34件	▶ 44件
食育月間以外の取組件数	食育推進関係者、団体	104件	▶ 114件

食育推進関係者



<ライフステージに応じた食育の推進>

ライフステージに応じた食育の推進



基本目標に基づき、ライフステージごとに
目指す方向と目標を定めています。

13

ライフステージ別 食育の取組紹介

乳幼児期(誕生~就学前)

「望ましい食習慣の基礎作り」
を目指します



14

もぐもぐ離乳教室・すこやか幼児教室

写真

写真



もぐもぐ離乳食教室

写真

すこやか幼児教室

保育園での農作業体験

写真

写真

枝豆の収穫体験

写真

ミニトマトの栽培

お米の栽培



保育園・幼稚園等での食育活動

写真

写真

給食センター見学

写真

調理実習(カレーライス、餃子など)

食育講話

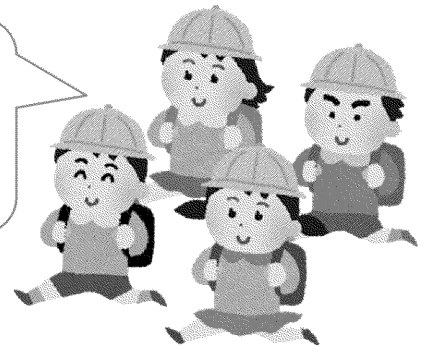
室根図書館スタンプラリー

新聞記事

ライフステージ別 食育の取組紹介

学童期(6歳～12歳)

「望ましい食習慣の定着」
を目指します



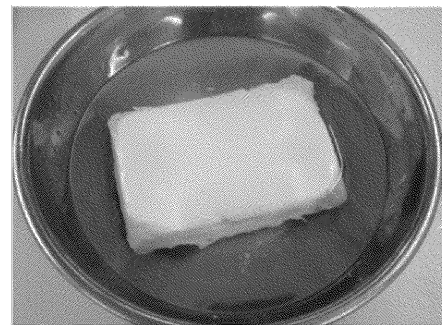
19



食文化の継承

写真

写真



もち給食・和食給食

豆腐作り(千厩小学校など)

20



野菜の栽培・収穫体験

写真

写真

サツマイモの栽培・収穫



田んぼの学校(学童期)

写真

6月初旬 田植え

7月中旬
草取り・生き物調査

写真

10月中旬 稲刈り

児童による食育活動

写真



おやつのととり方

食に関する絵本の読み聞かせ・展示

ライフステージ別 食育の取組紹介

思春期(13歳～18歳)

「食習慣の確立に向けた実践」
を目指します





食文化の継承

写真

写真

がんづき作り

はっと作り



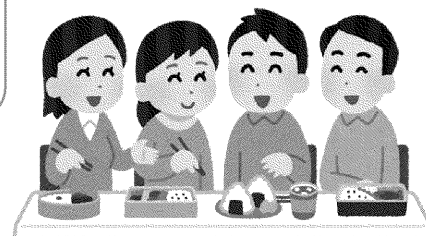
高校生の食育教室

写真

ライフステージ別 食育の取組紹介

青年期(19歳～39歳)

「健全な食生活の実践」
を目指します



27



両親学級(妊娠期)

写真



写真

28

減塩・生活習慣病予防に関する研修会

写真

写真



専門職を対象とした
減塩リーダー養成講習会

スマート和食®研修会(生活習慣病予防)

嚥下調整食・調理の安全衛生に関する研修会

写真

写真



在宅ステップアップ研修会

調理実習時の安全衛生

ライフステージ別 食育の取組紹介

壮年期(40歳～64歳)

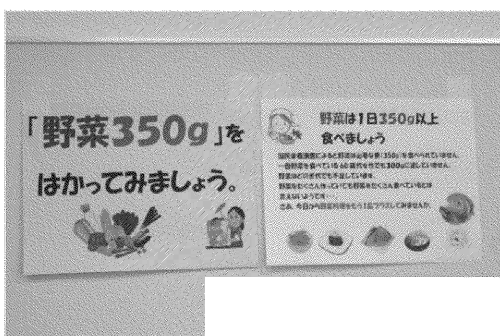
「健全な食生活の維持と健康管理」
を目指します



31



野菜摂取量増加に向けた取組



写真

写真

いちのせき農産物アンバサダー
による調理実習

健康まつりでの取り組み

32

写真

写真



食生活改善推進員養成講座

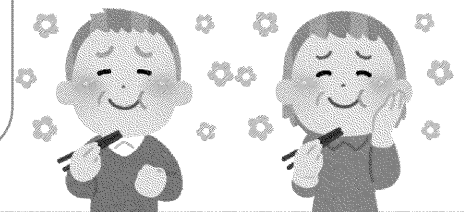
育成研修会

33

ライフステージ別 食育の取組紹介

高齢期(65歳以上)

「個々の健康状態に合わせた
豊かな食生活の実践」
を目指します



34

男の料理教室

写真



35

親子・祖父母クッキング教室

写真



36

全世代向けの取組

第40回 磐井河原 いものこ会

一関特産食材セット
いもの汁 (12杯程度) ... 2,000円
※いもの汁は衛生基準を守って作ります
焼肉A (牛肉、豚肉) & 野菜 (6人分程度) 3,500円
焼肉B (牛肉、いちのせせ八丁之巻) & 野菜 (6人分程度) 3,500円

調理器具セット
Aセット (普通鍋 25杯程度まで) ... 2,000円
Bセット (特大鍋 50杯程度まで) ... 4,000円
※器具を追加する場合の料金
ガスコンロ&ガスパンチ ... 1,800円 鉄板 ... 500円
※会場内に限り、器具の貸し出しのみも承ります

開催期間
令和5年9月30日(土) ~ 11月5日(日)
10時~15時まで 土日・祝日のみ (14日間)

受付期間
令和5年9月20日(水) ~ 10月30日(月)
電話受付時間 10時~17時まで (土日・祝日は10時~15時まで)
QRコードでの予約は、24時間受付可能です。

会場: 磐井河原地公園 (山目側)

初日予約特典
初日 (9月30日) の利用でお得!
初日にご利用いただいた利用者の代表者から抽選で、
お区46いものこ会、の品物店でおえら5,000円
分の特別お礼をプレゼント
※実店舗抽選の日曜は休日もお祝いします
開催期間中にアンケートにご協力の方の中から抽選で、一冊の特別お礼をプレゼント

要予約 電話番号 080-3329-0669
お問い合わせ ※ご予約は、開催予定日の5日前までお願いいたします。
主催: 磐井河原いものこ会実行委員会 (事務局 一関市農林衛生課推進課)

いちのせせ 産業まつり 第73回

商工祭 令和5年 10月21日22日(土日)
農業祭 令和5年 10月28日29日(土日)

会場: なのはなプラザ 大町通り歩行者天国

協賛: 地場産品ハザール、なのはなマルシェ、鮮魚・友好都市、他各種イベント等

主催: いちのせせ産業まつり実行委員会

令和5年度岩手県食育貢献者表彰

【団体】 黄海小学校耕作支援隊

設立: 平成6年4月20日

会員数: 5名

写真

活動内容

- ・黄海小学校におけるもち米作り学習の支援を実施
- ・もち米作りを通じた一関地方の餅食文化の継承
- ・地域の老人クラブや食生活改善推進員と連携した活動の実施

ご清聴ありがとうございました



第4次 一関市食育推進計画

【令和4年度(2022年度)～令和8年度(2026年度)】



令和4年3月
一 関 市

目 次

第1章 計画の基本的な考え方	1
1 第4次計画策定の趣旨	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の期間	3
4 食育とSDGsの関係性	3
第2章 取組の成果と課題	4
1 第3次一関市食育推進計画における取組の成果	4
(1) 第3次計画の概要	4
(2) 計画の柱と主な取組（事例紹介）	4
2 第3次一関市食育推進計画の最終評価	10
(1) 望ましい食習慣の形成と定着	10
(2) 食べ物を大切に作る心の醸成、食文化の継承、食の安全と循環や環境への理解の促進	11
(3) 食育を推進する関係者の連携強化	11
3 課題と今後の方向性	12
(1) 望ましい食習慣の形成と定着	12
(2) 食べ物を大切に作る心の醸成、食文化の継承、食の安全と循環や環境への理解の促進	12
(3) 食育を推進する関係者の連携強化	13
第3章 計画の基本理念等	14
1 基本理念	14
2 基本目標	14
3 食育推進スローガン	14
4 主な取組内容	15
(1) 望ましい食習慣の形成と定着	15
(2) 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	16
(3) 食の安全と循環や環境への理解の促進	17
(4) 食育を推進する関係者の連携強化	18
<食育ピクトグラム>	19

第4章 ライフステージに応じた食育の推進…………… 20

- 1 ライフステージ別の取組…………… 20
- 各ライフステージの目指す方向と食育推進目標…………… 22

第5章 食育推進関係者の役割と取組…………… 24

- 1 家庭…………… 24
- 2 幼稚園・保育所・こども園・学校及び学校給食センター…………… 24
- 3 P T A・地域・食育推進団体…………… 24
- 4 生産者・事業者…………… 25
- 5 行政…………… 25
- 6 食育推進関係者の取組一覧…………… 26

第6章 計画の推進…………… 28

- 1 計画の推進体制…………… 28
- 2 計画の進行管理…………… 29
- 3 評価指標と目標値の設定…………… 29
 - (1) 望ましい食習慣の形成と定着…………… 29
 - (2) 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成…………… 30
 - (3) 食の安全と循環や環境への理解の促進…………… 30
 - (4) 食育を推進する関係者の連携強化…………… 30

資 料…………… 31

- 1 食事バランスガイド…………… 31
- 2 食生活指針…………… 32
- 3 健康づくりに関するアンケート調査結果…………… 34
 - (1) 調査の概要…………… 34
 - (2) 調査結果（抜粋）…………… 35
- 4 一関市食育推進協議会設置要綱…………… 39

第 1 章 計画の基本的な考え方

1 第 4 次計画策定の趣旨

「食」は、私たちが生きていくために欠くことのできない命の源です。心豊かな生活を送るためには、健全な食生活を日々実践し、おいしく楽しく食べることや、「食」を支える社会や環境を持続可能なものにしていくことが重要となります。

平成 17 年（2005 年）7 月に食育基本法が施行されましたが、食育基本法では、食育は、生きるうえでの基本として、知育・徳育・体育の基礎となるべきものと位置づけ、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することとし、国、都道府県、市町村、関係機関・団体等の関係者が様々な形で食育を推進してきました。

本市では、平成 19 年 1 月に「一関市食育推進計画」を策定し、平成 25 年 3 月に「第 2 次一関市食育推進計画」、平成 29 年 3 月に「第 3 次一関市食育推進計画」を策定しました。「家族や地域 笑顔でつながる 食育の環」をスローガンとし、家庭、幼稚園・保育所・こども園・学校、地域、生産者・事業者、食育推進団体及び行政等の連携により様々な形で食育の推進に取り組んできました。

しかし、近年の食環境は大きく変化し、人口減少、少子高齢化、世帯構造の変化、中食^{※1}市場の拡大、食に関する価値観やライフスタイルが多様化し、健全な食生活を実践することが難しい状況にあります。また、家庭や地域で受け継がれてきた伝統的な食文化の継承の機会の減少、食品ロスの増大、災害発生に対応した食の安全安心の確保といった課題があります。

このような状況を踏まえ、市民一人ひとりが食の重要性を認識し、健全な食生活を実践し、生涯を通じた心身の健康と豊かな人間性を育むことを目指し、環境や食文化を意識した持続可能な「食」に必要な環境の環（わ）、人の輪（わ）、和食文化の和（わ）の 3 つの「わ」を支える食育を推進するため、「第 4 次一関市食育推進計画（計画期間：令和 4 年度～令和 8 年度）」を策定します。

※ 1 「中食」

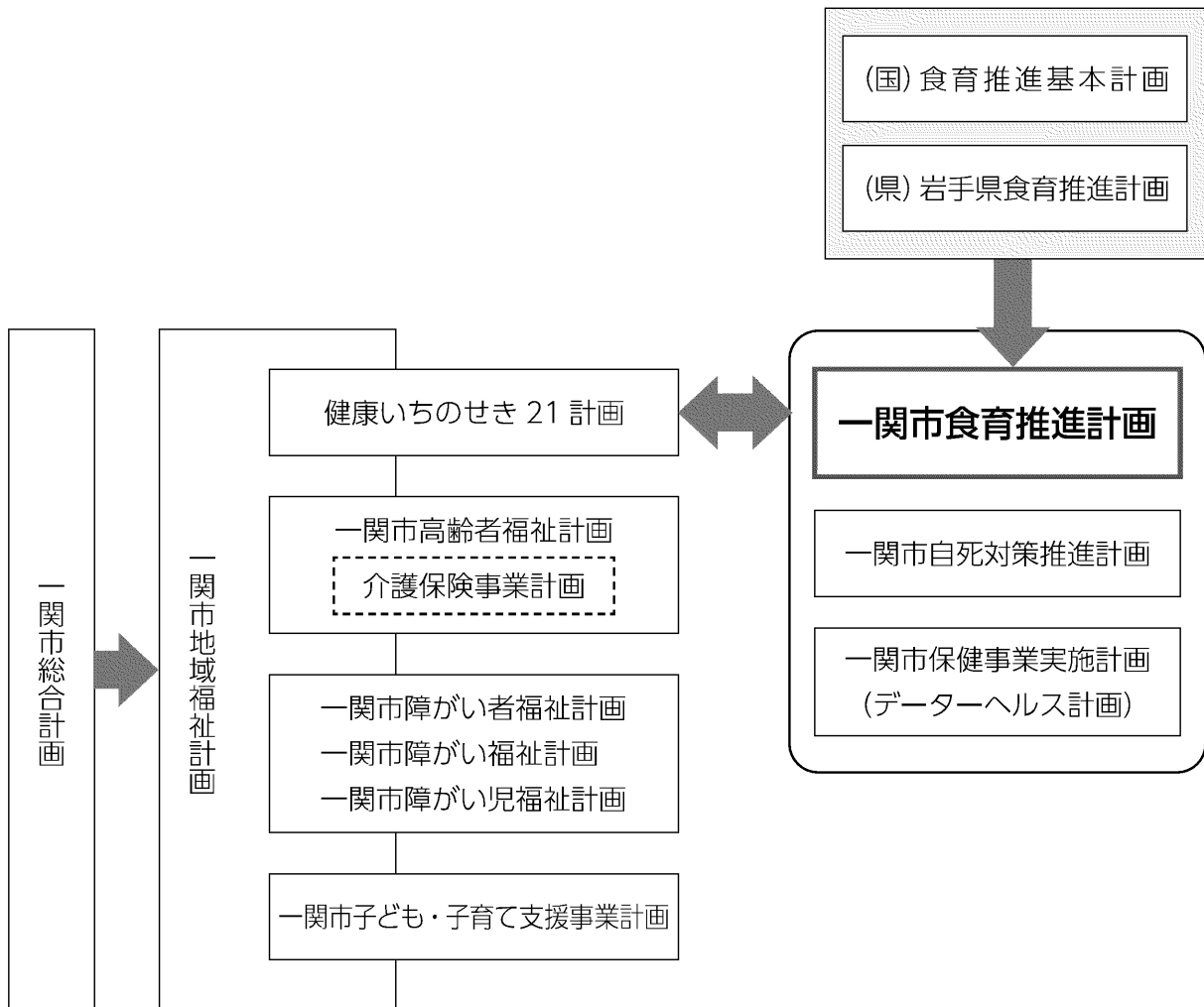
飲食店へ出かけて食事をする「外食」と、家庭内で料理して食べる「内食」の間にある食事形態のこと。市販のお弁当、惣菜といった調理済みの食品を購入して持ち帰り、あるいは配達によって自宅や職場で食べることを、またその食品を指す。

2 計画の位置づけ

本計画は、食育基本法（平成 17 年法律第 63 号）第 18 条第 1 項に基づく市町村計画で、食育の推進に関する基本的な考え方と方向性を定めています。

また、一関市総合計画をはじめ、一関市地域福祉計画、健康いちのせき 21 計画と整合性を図りつつ、国や県の計画を踏まえながら、家庭、幼稚園・保育所（園）・こども園、学校、地域、生産者・事業者、食育推進団体及び行政等の食育推進関係者（以下「食育推進関係者」という。）が相互の理解を深め、連携・協働し、食育を推進するための行動指針として位置づけます。

【関連計画との関係図】



3 計画の期間

令和4年度（2022年度）から令和8年度（2026年度）までの5年間とします。

計画年度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)
一関市食育推進計画		第3次					第4次					
健康いちのせき 21 計画		第2次										
(国) 食育推進基本計画		第3次					第4次					
(県) 岩手県食育推進計画		第3次					第4次					

4 食育とSDGsの関係性

平成27年（2015年）に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」には、2016年から2030年までの間に、発展途上国のみならず先進国も取り組む国際目標として、「持続可能な開発目標（SDGs）」が盛り込まれています。

この「持続可能な開発目標」は、「誰一人取り残さない」の理念のもと、経済・社会・環境の課題を統合的に解決することを目指しており、17の目標から構成されています。

SDGsの目標には、「目標2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する」、「目標4. すべての人々に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」、「目標12. 持続可能な生産消費形態を確保する」などの食育と関係が深い目標があります。

本計画においても健全な食生活の実現や豊かな食文化の継承などSDGsの考え方を踏まえ、多様な主体と連携・協働し、取組の推進を図ります。



第2章 取組の成果と課題

1 第3次一関市食育推進計画における取組の成果

第3次計画では、基本目標を設定し、食育推進スローガンを掲げ、3つの計画の柱と主な取組を定めて推進してまいりました。

(1) 第3次計画の概要

①計画期間

平成29年度（2017年）から令和3年度（2021年）

②基本理念

市民一人ひとりが、家庭や地域とのつながりの中で、生涯にわたり健全な食生活を営むことにより、心身ともにいきいきとした暮らしを実現します。

③基本目標

市民みんなで食事の大切さを考え、食育に取り組むことを目標とします。

④食育推進スローガン

「家族や地域 笑顔でつながる 食育の環」

⑤計画の柱

ア 望ましい食習慣の形成と定着

イ 食べ物を大切にする心の醸成、食文化の継承、食の安全と循環や環境への理解の促進

ウ 食育を推進する関係者の連携強化

⑥ライフステージ

乳児期 幼児期 学童期 思春期 青年期 壮年期 高齢期

⑦推進主体

家庭、幼稚園・保育所（園）・学校及び学校給食センター、PTA・地域・食育推進団体、生産者・事業者、行政

(2) 計画の柱と主な取組（事例紹介）

①望ましい食習慣の形成と定着

食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成や「早寝・早起き・朝ごはん」等、望ましい生活リズムの形成、主食・主菜・副菜をそろえた栄養バランスのとれた食事の実践、

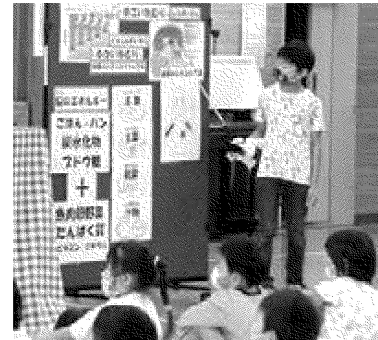
減塩による脳血管疾患の予防、若い世代が食育に取り組む支援に向けた取組を行いました。

- 給食・食育だよりの発行、市ホームページへの掲載
- 健康だよりの配布
- 保育参観での給食試食会の実施
- 食のイベント（京津畑食の文化祭、磐井河原いものこ会、健康まつり等）の開催
- 栄養士による保育施設への食育訪問、栄養教諭等による小中学校での食に関する指導の実施
- 小学校での、保健委員会による早寝・早起き・朝ごはんの大切さをテーマにした人形劇の実施
- 健康教室・両親学級・育児支援教室等での栄養講話、栄養指導の実施
- 乳幼児健康診査・所内栄養相談等の実施
- クッキング保育や学校での調理実習の実施
- 市民センターでの料理教室の開催
- 食生活改善推進員養成講座の実施
- 減塩や食事バランス等をテーマにした食生活改善推進員育成研修会の実施
- 食生活改善推進員による食生活改善普及講習会の実施

<取組事例>

【小学校】

小学校の保健集会では、保健委員会による人形劇を行いました。寝不足だと病気になりやすい、朝食を抜くと学習効果が上がらないことがわかった等、各学年の感想発表があり、理解を深めました。



【中学校】

家庭科教師や栄養教諭から必要な栄養・量・バランスについて学び、お弁当の献立を考えて班ごとに調理しました。学んだことを生かして献立を考え、調理できました。夏休み期間中の宿題にも同様の課題が出たため、繰り返し実践できました。



【高校】

文化祭では、高校を会場に食生活改善推進員が食に関する展示や昔のおやつを試食等で若い世代への食育活動を行い、健康的な食や郷土料理について関心を持ってもらう機会になりました。



【男の料理教室】

各市民センター事業で実施している「男の料理教室」では、そば作りやヘルシー料理作りを体験し、食や料理への関心を高めています。



②食べ物を大切にする心の醸成、食文化の継承、食の安全と循環や環境への理解の促進

生産者との交流や食文化の継承、食の安全と循環や環境に関する知識の普及に関する取組を行いました。

- 保育施設や小学校での、JA 青年部や地域の方との野菜の苗植えや収穫の体験
- 中学校での、地元のそば打ち倶楽部とのそば栽培やそば打ちの体験
- 生産者との交流給食会の実施
- 学校給食で地場産食材の使用
- いちのせき秋まつり農業フェスタの開催、いものこ探検隊バスツアーなどの実施
- 児童生徒を対象とした郷土料理（はっとう、がんづき、果報団子、おふかし等）講習会や餅つき会の実施、保育園での祖父母交流会の開催
- 一関市オリジナル和食給食の実施
- 給食食材放射性物質測定結果の周知

<取組事例>

【保育園児の野菜の苗植え体験】

JA いわて平泉藤沢営農経済センターの協力のもと、生産者や JA 職員と園児と一緒に野菜の苗植えを行いました。生産者と一緒に農業体験をすることで、食べ物をより身近に感じるとともに、生産者への感謝の心が育まれました。



【保育園児のスーパーマーケット見学】

給食食材を提供するスーパーマーケットを訪問し、働く様子や売り場見学をし、食の流通を体験しました。給食食材の一つひとつに興味を持つとともに、運んでくれている人への感謝ができました。



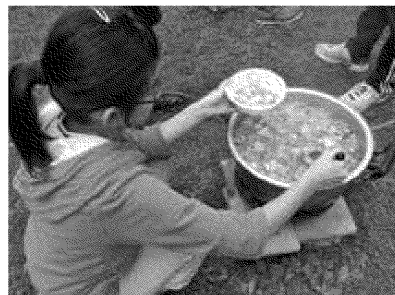
【郷土料理】

高校生を対象に、伝えたいおふくろの味をテーマに地元食材を使った郷土料理の調理実習を行いました。すいとん・大学芋・リンゴ寒天を作りました。



【磐井河原いものこ会】

秋の風物詩である磐井河原いものこ会を実施しました。市内産の里いもや曲がりねぎを提供し、食文化の継承と市内農産物のPRと消費拡大を図りました。



【原木しいたけ生産者との交流】

原木しいたけ生産者を講師に食生活改善推進員を対象とした研修会を実施しました。原木しいたけを使った料理を学び、生産者との交流を通して理解を深めました。



【産直でつなぐ食育活動】

産直では、生産者の顔の見える安全・安心な地場産物を市内外にPRする拠点として地産地消に取り組んでいます。また、市内のPTAや子ども会、学童クラブ等、子どもたちに餅つき体験を実施し、もち文化を食育の観点からわかりやすく伝える活動をしました。



【食品ロスについて呼びかけ】

小学校6学年「具体的な事実や考えをもとに提案する文章を書こう～私たちにできること～」と題した国語の授業では、食品ロスをテーマに学習し、掲示物を作成して全校へ呼びかけしました。給食の残食を調べたことで、一部無駄になっている実態を知り、自分たちの食べ方を見直すきっかけになりました。



【両親学級・育児支援教室】

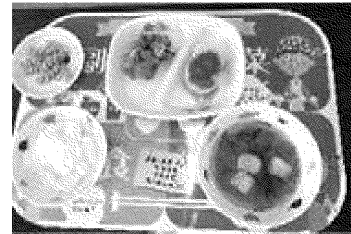
両親学級・もぐもぐ離乳食教室・すこやか幼児教室を開催し、安心して産み子育てができるように支援しました。



〈両親学級〉



〈離乳食教室〉



〈幼児教室〉

【食の文化祭】

自治会主催の「京津畑まつり 食の文化祭」は、長年開催しており、幅広い世代が参加し、郷土食をテーマとして料理を出店しています。一関地方に古くから伝わる郷土料理の継承の一助になっていることが評価され、令和3年度岩手県食育貢献者表彰（団体）を受賞しました。



③食育を推進する関係者の連携強化

食育推進スローガンの普及や食育推進関係者の交流を進める取組を行いました。

- 市のホームページで食育月間等の取組について市民に周知
- 幼稚園、保育所（園）、学校での食育だより、給食だよりによる保護者への啓発
- 一関保健センターや各支所、夏まつりや健康まつり等での、のぼり旗の掲示や、地区健康教室でのチラシ配布等による普及啓発
- 学校での食育講演会の実施
- 保育施設職員や学校給食センター調理員を対象とした研修会の実施
- 食生活改善推進員を対象とした原木しいたけ生産者による研修会の実施
- 栄養士による保育施設職員や園児に対しての食育支援の実施
- 健康まつり等の開催

<取組事例>

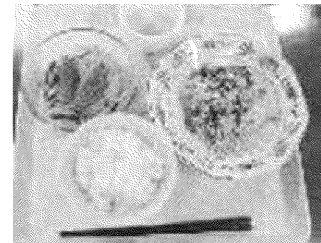
【食育の日（毎月19日）】

食育の日に「道の駅むろね」で、普及啓発を行いました。健康イベントの開催に合わせ、のぼり旗の掲示や食生活改善推進員による健康レシピの配布、野菜摂取量の増加に向けた活動を実施しました。



【岩手県鶏卵協会主催の研修会】

食生活改善推進員が生産者との交流を通じて食材の生産と安全性について学び、理解を深めました。



【健康まつり・夜市パレード】

食生活改善推進員による、健康まつりでの食生活改善普及コーナーの設置、夜市パレードでののぼり旗の掲示により、普及啓発をしました。



2 第3次一関市食育推進計画の最終評価

6つの評価指標ごとに評価する対象を定め、取組の評価を行いました。

計画推進期間の最終年度である令和3年度に、「健康づくりに関するアンケート調査」の結果（令和3年7～8月実施）や各種統計データ、事業の実績データを基に、計画策定時の基準値と現状値（直近値）を比較し、これまでの取組状況や目標の達成状況から、最終評価を行いました。

(1) 望ましい食習慣の形成と定着

評価指標	対象	基準値	現状値	目標値	評価	評価資料
朝食を毎日食べている市民の割合	3歳	96.7%	96.7%	100%	×	すこやか親子21アンケート
	小学生(4年生)	95.1%	96.5%	100%	△	
	中学生(3年生)	93.3%	91.0%	100%	×	
	高校生(3年生)	85.4%	82.4%	90%	×	生活習慣病予防支援システム
	成人(20歳以上)	86.1%	87.2%	90%	△	
	男性(20歳代)	54.1%	64.1%	65%	○	
	男性(30歳代)	56.6%	78.0%	65%	◎	
主食・主菜・副菜を毎食そろえた食事をする市民の割合	中高生	35.3%	78.7%	45%	◎	健康づくりアンケート
	成人(20歳以上)	43.6%	58.8%	53%	◎	
	男性(20歳代)	23.5%	38.5%	33%	◎	
	男性(30歳代)	23.8%	40.0%	33%	◎	
	女性(20歳代)	29.4%	43.1%	40%	◎	
家族や友人などと会話を楽しみながら毎日ゆっくり食事をする市民の割合	中高生	52.9%	60.0%	63%	○	健康づくりアンケート
	成人(20歳以上)	50.5%	63.1%	60%	◎	
薄味にしている市民の割合	成人(20歳以上)	25.8%	25.4%	50%	×	

(2) 食べ物を大切にする心の醸成、食文化の継承、食の安全と循環や環境への理解の促進

評価指標	対象	基準値	現状値	目標値	評価	評価資料
料理を作っている市民の割合（ほぼ毎日またはたまに作っている）	中高生	60.8%	58.0%	70%	×	健康づくりアンケート
	成人（20歳以上）	72.1%	67.1%	82%	×	
	男性 20～70歳代	44.6%	40.8%	55%	×	

(3) 食育を推進する関係者の連携強化

評価指標	対象	基準値	現状値	目標値	評価	評価資料
食育に関心がある市民の割合	中高生	73.2%	82.5%	90%	○	健康づくりアンケート
	成人（20歳以上）	74.1%	74.7%	90%	△	

■達成度計算式

$$\frac{\text{最終値} - \text{基準値}}{\text{目標値} - \text{基準値}} \times 100 = \text{達成係数}$$

達成度	達成係数
◎：達成	100以上
○：改善	50～99
△：やや改善	1～49
×：横ばい・後退	0以下
－：判定不能	データがなく判定不能

【評価】

評価指標 20項目	達成度	◎ 達成	○ 改善	△ やや改善	× 横ばい・後退	－ 判定不能
	指標数	7	3	3	7	0
	割合	35%	15%	15%	35%	0%

3 課題と今後の方向性

(1) 望ましい食習慣の形成と定着

主食・主菜・副菜を毎食そろえた食事をする市民の割合や、家族や友人などと会話を楽しみながら毎日ゆっくり食事をする市民の割合は増加傾向が見られますが、十分とは言えません。

20代、30代の若い年代では、他の年代に比べ、朝食を毎日食べている割合や、主食・主菜・副菜を毎食そろえている割合が低い傾向にあります。心身ともに健康でいきいきと暮らすためには、朝ごはんをしっかり食べ、生活リズムを整えて一日をスタートさせる必要があることから、バランスのとれた食事の摂取について、その重要性を理解してもらう取組が必要です。

また、乳幼児期からの望ましい生活習慣や食事を中心とした基本的な生活リズムを身につけることが必要であることから、保護者への情報提供が重要です。

薄味にしている市民の割合は3割弱に留まりました。一人ひとりが塩分を控え、薄味を心がけ、生活習慣病やフレイル^{※2}の予防のため、食と健康について関心を持ち、望ましい食習慣を実践することができるよう、妊産婦や乳幼児から高齢者に至るまで、生涯を通じた切れ目のない食育を推進する必要があります。

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、小中学校の給食では黙食している現状があり、食を通じたコミュニケーションがあまりとれていない傾向にあります。今後は感染症対策を講じ、「新しい生活様式」に対応した食育を推進できるよう検討していく必要があります。

(2) 食べ物を大切にする心の醸成、食文化の継承、食の安全と循環や環境への理解の促進

保育園・学校給食等での行事食の提供、農業体験教室の実施、郷土料理等の調理実習等の取組を通し、食の関心を高めるよう取り組みましたが、料理を作っている市民の割合は、中高生、成人、男性の20歳から70歳代共に改善していません。背景として、外食産業の変化、多様な生活スタイルが考えられます。中高生への食に関する知識や意識、調理技術の向上についての取組や、性別に関わらず、全ての方に食事づくりへの関心を持ってもらえるように啓発をしていく必要があります。また、未来を担う子どもに対し、調理講習会等、様々な食に関する体験の機会を提供し、食に関心を持つきっかけ作りが重要です。

子どもたちが米作りや野菜の栽培などの農業体験や、給食を通じて生産者等と交流することは、食べ物を大切にする心を醸成する上で重要です。体験を通して食べ物の循環を学び、

※2 「フレイル」

加齢などにより筋力低下などの身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のこと。

食育推進関係者と触れ合うことは、郷土愛を深めることにつながります。

郷土料理を知っている人の割合は5割に届きませんでした。豊かな食体験につながる機会を提供するためには、食育推進関係者が連携を強化し、伝統的な地域の和食文化や郷土食を伝えていく必要があります。

また、産地や生産者を意識して農林水産物や食品を選んでいる中高生は5割に届かず、成人は6割でした。食に関する体験活動の機会を提供し、自然の恩恵や食に関わる人々への感謝の心を育み、地産地消への理解を深め、安全・安心な食品を選択できるよう、食品表示の見方等、食品に関する正しい知識を普及し、取組の充実を図っていく必要があります。

(3) 食育を推進する関係者の連携強化

.....

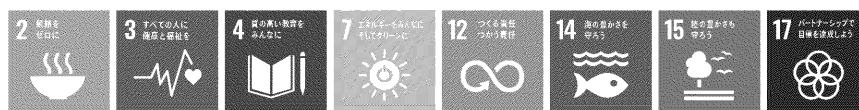
食育に関心のある市民の割合に大きな変化はなく目標値に達しませんでした。学校卒業後の成人への食育を推進していくためには、職域や地域の食育関係団体との連携が必要です。

食育推進関係者が連携を強化するためには、それぞれの特性を生かし取り組めるよう、情報を共有し、相互の理解を深め、連携・協働した食育を推進します。

また、地域や企業、関係団体等と連携した食育の取組の好事例を積極的にPRするなど、食育推進に協力する団体を増やす取組が重要です。

第3章 計画の基本理念等

1 基本理念



生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進や、持続可能な食に必要な3つの「わ」を支える食育を推進し、市民一人ひとりが、家庭や地域とのつながりの中で、生涯にわたり健全な食生活を営むことにより、心身ともにいきいきとした健康な暮らしを実現します。

2 基本目標

- (1) 望ましい食習慣の形成と定着
- (2) 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成
- (3) 食の安全と循環や環境への理解の促進
- (4) 食を推進する関係者の連携強化

3 食育推進スローガン

家族や地域 笑顔でつながる 食育の環(わ)

国が定めた第4次食育推進基本計画^{※3}では、「人生100年時代」に向けて、国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むため、生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進や、持続可能な食に必要な3つの「わ」を支える食育の推進などが重要視されています。

<持続可能な食に必要な3つの「わ」>

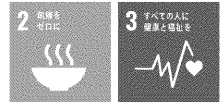
- ①食と環境の調和：環境の環(わ)
- ②農林水産業や農山漁村を支える多様な主体とのつながりの深化：人の輪(わ)
- ③日本の伝統的な和食文化の保護・継承：和食文化の和(わ)

市民一人ひとりが健全で持続可能な食生活を営むためには、家族や地域が相互に連携し、一体となって進めていくことが重要です。本市では、家族や地域が一体となって笑顔で食育の環(わ)を推進することとし、引き続き、スローガンに掲げます。

※3 「第4次食育推進基本計画」(期間：令和3年度から令和7年度)

3つの重点事項を示している。①生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進(国民の健康の視点)、②持続可能な食を支える食育の推進(社会・環境・文化の視点)、③「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進(横断的な視点)。

4 主な取組内容



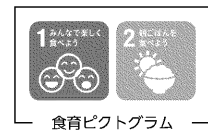
(1) 望ましい食習慣の形成と定着

① 「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成

朝食をとることや早寝早起きなど、乳幼児期からの望ましい生活習慣の確立に向けて、福祉や教育等の関係機関との連携を強化し、ライフステージに対応した正しい情報提供を行います。

【取組】

- ・乳幼児健康診査、育児支援教室等での栄養相談等の実施
- ・幼稚園、保育所、こども園、学校での食育の実施
- ・健康講座等での栄養講話の実施



② 主食・主菜・副菜※4をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践

子どもの頃から、食生活が毎日の活動や健康づくりに重要であるということを学び、生涯を通して栄養バランスを考慮した食事を実践できる取組を推進します。

【取組】

- ・幼稚園、保育所、こども園、学校の給食での食指導の実施
- ・食事バランスガイド※5、食生活指針等の普及
- ・栄養バランスのとれた献立の調理講習会の実施
- ・男の料理教室の実施



③ 健康寿命の延伸につながる食育の推進

生活習慣病やフレイルの予防や改善のために、普段からの適正体重の維持や減塩等の正しい知識の普及啓発や健康教育等を実施します。

【取組】

- ・健康講座等で生活習慣病予防や高齢者のフレイル予防について健康教育の実施
- ・減塩メニュー等の調理講習会の実施
- ・「毎月28日はいわて減塩・適塩の日」※6の普及



※4 「主食・主菜・副菜」

主食：米、パン、めん類などが主の料理。主に炭水化物を供給する。主菜：魚、肉、卵や大豆製品などが主の料理。たんぱく質や脂質を供給する。副菜：野菜が主の料理。ビタミン、ミネラル、食物繊維等を供給する。

※5 「食事バランスガイド」

食事の望ましい組み合わせやおおよその量をわかりやすいイラストで示したもの。

※6 「毎月28日はいわて減塩・適塩の日」

県では脳卒中死亡率ワースト1から脱却するため、岩手県脳卒中予防県民会議を平成26年7月28日に設立、毎月28日をいわて減塩・適塩の日と定めている。

④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援

日頃から食育を実践できるよう、若い世代を対象に料理や食育に関する情報提供や講座等を行い、様々な媒体や手法を活用して若い世代へアプローチをします。

【取組】

- 市広報や市ホームページ、給食だより等での啓発
- 親子や若い世代を対象とした調理講習会の実施



(2) 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成



①コミュニケーションによる豊かな食育の推進

新しい生活様式を踏まえながら、親子や地域と食を通じた交流の機会を充実させ、家族団らんに加えて、友人や地域住民など様々な人との共食を推進します。

【取組】

- 市広報や市ホームページ、給食だより等での啓発
- 食のイベントの開催
- 「食育の日（19日）」、「食育月間（6月）」※7の普及
- 子ども食堂



②農業体験等を通じた生産者との交流

食に関する学習や体験活動を通じて、食が自然の恵みや生産者をはじめとする様々な人に支えられていることへ感謝する心を育成するため、本市の地域資源を活用して生産者と消費者の交流を通じた体験学習を充実させます。

【取組】

- 農業祭の開催
- 農業体験教室の実施
- 交流給食会の実施
- 生産者と消費者との交流
- 食に関するボランティア団体への活動支援



※7 「食育の日（19日）」、「食育月間（6月）」

国では、食育推進基本計画による食育推進運動の継続的展開と、食育の一層の定着を図ることを目的に、毎年6月を「食育月間」、毎月19日を「食育の日」と定めている。

③食文化の継承

子どもから大人まで、地域の食文化への興味と関心を向上させるため、地域の食文化を学ぶ機会を提供し、伝統的な食文化を継承し生きた教材として活用されるよう普及促進を図ります。

【取組】

- ・ 保育所、こども園、学校給食での郷土料理や行事食の実施
- ・ 食のイベントでの郷土食の提供
- ・ 郷土食調理講習会の実施



(3) 食の安全と循環や環境への理解の促進



①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及

幼少期から食の安全・安心に関する情報提供を充実させるとともに、食品の生産・加工・流通過程における食の安全性・信頼性の確保を図ります。

また、資源の本来の価値を大切にする「もったいない」の心を持って、調理の工夫等により、食べ残しや食品の廃棄を減らし、環境に配慮した取組を推進します。

【取組】

- ・ 幼稚園、保育所、こども園、学校での食育の実施
- ・ 食の安全教室の実施
- ・ 食品の安全性や栄養等に関する情報提供
- ・ 食品表示に関する情報提供
- ・ 食料品の備蓄に関する情報提供
- ・ 家庭の食品ロスの削減に関する情報提供



②地産地消の推進

地場産物の学校給食への利用促進や直売所での安全・安心な地場産物のPR等を推進します。

【取組】

- ・ 学校給食における地場産物の利用
- ・ 農業祭の開催
- ・ 産直等での生産者の顔が見える安全・安心な地場産物のPR



(4) 食育を推進する関係者の連携強化

①食育推進スローガンの普及と定着

食育スローガンを掲げることにより、食育の浸透と実践を促します。毎月19日の「食育の日」や毎年6月に定められている「食育月間」等の機会を捉え、食育推進スローガンの普及と定着を図ります。

【取組】

- 市広報や市ホームページ、給食だより等での啓発
- 各種イベントや食育の日、食育月間でののぼり旗の掲示

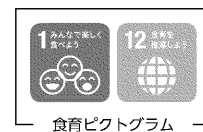


②食育推進関係者の交流及び食育活動の推進

家庭や幼稚園、保育所、こども園、小中学校等の教育機関、地域、行政等が連携し、それぞれの特性を生かした食育の推進に取り組めるよう、情報共有や連携・協働の機会の確保などを支援します。

【取組】

- 食育推進関係者の情報交換の実施
- 食育推進関係者による食育イベントの実施
- 食育推進関係者の連携、協働の取組による活動の充実
- 食に関するボランティア団体への活動支援
- 「新たな日常」(新型コロナウイルス感染拡大に伴う変化した新しい生活) やデジタル化に対応した食育の実施



<食育ピクトグラム>

農林水産省は令和3年2月に食育の取組を子どもから大人まで誰にでもわかりやすく発信するため、食育に関する12の取組の表現を単純化した絵文字のピクトグラム※8を作成し、「食育ピクトグラム」を公表しました。SDGsのロゴのように、食育ピクトグラムで食習慣を振り返り、健康寿命の延伸、食料自給率の向上、地球環境への負担軽減を目指していきます。



1 みんなで楽しく
食べよう

共食

家族や仲間と、会話を楽しみながら食べる食事は、心も体も元気にします。



2 朝ごはんを
食べよう

朝食欠食の改善

朝食の摂取は、健康的な生活習慣につながります。



3 バランスよく
食べよう

栄養バランスの良い食事

主食・主菜・副菜の組み合わせた食事で、バランスの良い食生活になります。



4 太りすぎない
やせすぎない

生活習慣病の予防

適正体重の維持や減塩に努めて、生活習慣病を予防します。



5 よくかんで
食べよう

歯や口腔の健康

よくかんで食べるにより歯の発達・維持、食べ物による窒息を防ぎます。



6 手を洗おう

食の安全

食品の安全性等についての基礎的な知識をもち、自ら判断し行動する力を養います。



7 災害に
そなえよう

災害への備え

いつ起こるかも知れない災害を意識し、非常時のための食料品を備蓄しておきましょう。



8 食べ残しを
なくそう

環境への配慮(調和)

SDGsの目標である持続可能な社会を達成するため、環境に配慮した農林水産物・食品を購入したり、食品ロスの削減を進めたりします。



9 産地を
応援しよう

地産地消等の推進

地域でとれた農林水産物や被災地食品等を消費することは、食を支える農林水産業や地域経済の活性化、環境負荷の低減につながります。



10 食・農の
体験をしよう

農林漁業体験

農林漁業を体験して、食や農林水産業への理解を深めます。



11 和食文化を
伝えよう

日本の食文化の継承

地域の郷土料理や伝統料理等の食文化を大切に、次の世代への継承を図ります。



12 食育を
推進しよう

食育の推進

生涯にわたって心も身体も健康で、質の高い生活を送るために「食」について考え、食育の取組を応援します。

※8 「ピクトグラム」(Pictogram、ピクトグラフ Pictograph)

一般に「絵文字」「絵単語」などと呼ばれ、何らかの情報や注意を示すために表示される視覚記号(サイン)の一つである。地と図に明度差のある2色を用いて、表したい概念を単純な図として表現する技法が用いられる。

第4章 ライフステージに応じた食育の推進

1 ライフステージ別の取組

子どもは、その成長に伴って知能や身体能力が飛躍的に向上します。それとともに知識や習得すべき習慣も変化していきます。子どもたちに対する食育は、心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、豊かな人間性を育む基礎となるものです。

また、青年期以降については疾病の予防や次世代の育成を担う役割を果たすことが求められます。世代に応じた食育を7つのライフステージに分けて推進していくとともに、7つのライフステージに分けた食育推進目標を示します。

ライフステージ

乳児期
1歳未満

乳児期（1歳未満）

乳児期は、一生を通じて食べることの基礎を作る時期です。

安心と安らぎの中で母乳（ミルク）を飲む乳児期に、お腹がすいたという感覚が持てるよう授乳間隔を整え、発達に合わせた離乳食や、様々な食品を経験させることで食べる意欲を育て、リズムのある食習慣と食べるための能力を習得します。

また、身長や体重の伸びが著しく、首座り、寝がえり、お座り、はいはい等、様々な過程を経て運動能力も大きく成長します。この時期は家庭内の十分な協力はもとより、保育所、こども園、行政等の支援も重要です。

幼児期（1歳～就学前）

幼児期は、早寝・早起きやほぼ決まった時間に食事を摂ること、たくさん体を動かすこと等、生活習慣の基本を身につけるととても重要な時期です。

運動機能の発達によって活発に活動するようになり、言葉も豊富で感情表現も豊かになります。好奇心も強くなってくる時期なので、食への興味や関心が持てるように食べる意欲を大事にして、様々な食の体験をさせましょう。料理を手伝ったり、栽培や収穫に関わったりする中で、食べたいもの、好きなものが増えていきます。食べ物への関心も広がっていきます。家族や仲間と一緒に食べる楽しさを味わうことにより人との信頼関係を築きます。

また、この時期は幼稚園、保育所、こども園に通う子どもが増えることから、これらの施設に携わる人々の役割も大切です。

幼児期
1歳～
就学前



学童期（6～12歳）

学童期は、食習慣がほぼ出来上がる時期です。大人になってからの健康をしっかりと考えられるよう、食に関する基礎知識の学習や体験を通じた学習が必要です。食事を通じ健康を維持する力や食べ物を自分で選択し、食事づくりに取り組む力を身につけさせましょう。また、味わって食べることや食べ物や作る人への感謝の心を育てていきましょう。

この時期から始まる学校給食を通じた豊かな人間性の育成や、食事時のあいさつ等正しい食事のマナーの習得も大切です。繰り返し実践する機会と、達成感を持って次にステップアップする機会をできるだけたくさん持つことが重要です。

思春期（13～18歳）

思春期は、大人になるための通過点として多感な時期です。

部活動等多様な活動が増えるため、家族と過ごす時間が少なくなったり、必要な栄養量が増える半面、痩身志向による無理なダイエットが懸念されます。食習慣の確立する時期であり、心身の健康に関する情報を適切に伝えることが大切です。

青年期（19～39歳）

青年期は、仕事や家庭の都合等で忙しく、朝食の摂取やバランスのとれた食事をしている割合が低く、特に男性はその傾向が見られます。

これまで身につけてきた基本的な食習慣や食に関する知識・技能を用いながら適切な自己管理のもと、健全な食生活を実践する必要があります。

また、結婚・妊娠・出産を経て親になる世代でもあります。望ましい食生活について次世代へ継承していく役割も担います。

壮年期（40～64歳）

壮年期は、仕事や地域での役割など、職場や家庭の中心となるため、多忙により健康管理がおろそかになる傾向があり、生活習慣病の発症が多くなる年代です。規則正しい食習慣や生活習慣を守り、自身の健康管理に努めることが必要です。

また、これまで培ってきた食文化を、家庭や地域活動において次世代へ伝えていく役割も担います。

高齢期（65歳以上）

高齢期は、退職や子どもの自立などの節目を迎える時期です。

また、一人暮らしの高齢者も増加しています。身体的には体力の低下等健康への不安を感じることも多くなります。

年齢とともに食欲が低下して低栄養状態を招き、筋肉量の減少（サルコペニア）につながる恐れがあります。食事は活力の源です。エネルギーとたんぱく質をしっかり摂りましょう。食事や会話を楽しむため、口腔機能を保って個人の健康状態に合わせた食生活や生活習慣を維持し、フレイル予防のため自身の健康管理が重要です。

また、家庭内や地域での世代間交流の場や食文化の伝承等、次世代へ継承する役割も担います。

各ライフステージの目指す方向と食育推進目標

ライフステージ	乳児期 (1歳未満)	幼児期 (1歳～就学前)	学童期 (6～12歳)	思春期 (13～18歳)	
目指す方向	望ましい食習慣の基礎づくり		望ましい食習慣の定着	食習慣の確立に向けた実践	
基 本 目 標	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	「お腹がすいた」という感覚が持てるようなリズムある食習慣を身につけさせましょう。		1日3回の食事と適切な間食で規則正しい食習慣を身につけましょう。	
		授乳間隔を整え、発達に応じた離乳食を進めましょう。	朝ごはんをしっかりと食べ、生活リズムを整えましょう。		
		多様な食べ物に触れて食べたいもの、好きなものを増やしましょう。	自分の食生活を見つめ直し、より良い食習慣を身につけましょう。		
		乳幼児健診を積極的に受け、発育や発達に合わせた食事について理解しましょう。	自分の成長と食生活の関係について理解し、自ら健康管理できる力を身につけましょう。		
			・食と健康について話題にして興味と関心を深めましょう。 ・食べ物にはそれぞれ栄養的な特徴があることを知りましょう。		
			食事バランスガイド等を利用して自分の食事の適量を知り、まんべんなく食べましょう。		
			薄味に心がけ塩分を摂りすぎないようにしましょう。		
			主食・主菜・副菜をそろえて食べましょう。		
		(2) 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	安心して母乳やミルクを飲む心地よさを感じさせましょう。	家族と友達と一緒に楽しく食べることができるようしましょう。	家庭と地域の人たちと楽しく交流しながら食べる機会を増やしましょう。
心地よい雰囲気でする食事の楽しさを感じさせましょう。	食を通じた仲間づくりのため、地域の食事会等に積極的に参加しましょう。				
楽しく食事ができるように、正しい食事のマナーを身につけましょう。					
食事作りや準備など食に関わる機会を増やし、食べる楽しさを実感しましょう。					
(3) 食の安全と循環や環境への理解の促進	成長に応じた食品を選んで食べさせましょう。		食べ物にはそれぞれに栄養的な特徴があることを知り、様々な食品を選んで食べましょう。		
			食の安全に関する情報を正しく理解し、選択できるようにしましょう。栄養成分表示や食品表示に関心を持ち、生活に取り入れましょう。		
			食の循環を意識し、食品を無駄にしないようにしましょう。		
	体験を通じ、食べ物の生産等に関わる人々へ感謝する心を持ちましょう。				
			食品の製造、加工、流通の仕組みや世界の食料事情について理解し、食べ物を大切に、感謝する心を伝えましょう。		
	一関の産物を知り、地産地消を進めましょう。				
	行事食や郷土食を味わい、食文化に触れましょう。	食文化や食に関わる歴史に触れ、その知恵や技術を身につけましょう。			

青年期 (19～39歳)	壮年期 (40～64歳)	高齢期 (65歳以上)
次世代への食の継承		
健全な食生活の実践	健全な食生活の 維持と健康管理	個々の健康状態に合わせた 豊かな食生活の実践
1日3回の食事から規則正しい食生活を家族ぐるみで実践しましょう。		
朝ごはんを毎日食べ、生活リズムを整えましょう。		
自分の食生活を見つめ直し、より良い食習慣を身につけましょう。		口腔の健康を保ち、低栄養を予防しましょう。
積極的に検診を受けて自分の健康状態を知り、適切な食生活を実践しましょう。		
<ul style="list-style-type: none"> ・食と健康について話題にして興味と関心を深めましょう。 ・食べ物にはそれぞれに栄養的な特徴があることを知りましょう。 		
食事バランスガイド等を利用して自分の食事の適量を知り、まんべんなく食べましょう。		
薄味を心がけて、塩分を摂りすぎないようにしましょう。		
主食・主菜・副菜をそろえて食べましょう。		
家族や地域の人たちと交流しながら食べる機会を通して地域ぐるみの健康づくりを推進しましょう。		
食を通じた仲間づくりのため、地域の食事会等に積極的に参加しましょう。		
正しい食事のマナーを実践し、次世代に伝えましょう。		
食事作りや準備など食に関わる機会を増やし、食べる楽しさを実感しましょう。		
食べ物にはそれぞれに栄養的な特徴があることを知り、様々な食品を選んで食べましょう。		
<ul style="list-style-type: none"> ・食の安全に関する情報を正しく理解し、選択できるようにしましょう。 ・栄養成分表示や食品表示に関心を持ち、生活に取り入れましょう。 		
食の循環を意識し、食品を無駄にしないようにしましょう。		
体験を通して、食べ物の生産等に関わる人々へ感謝する心を持ちましょう。		
食品の製造、加工、流通の仕組みや世界の食料事情について理解し、食べ物を大切に、感謝する心を伝えましょう。		
一関の産物を知り、地産地消を進めましょう。		
食文化や食に関わる歴史を理解し、その知恵や技術を次世代に伝えましょう。		

第5章 食育推進関係者の役割と取組

第4次一関市食育推進計画においては、新しい生活様式を実践しながら、以下に示す食育推進関係者が連携し、それぞれの役割を担います。

1 家庭

食育の基本は家庭にあり、家族ぐるみで食育について学び、実践していくことが大切です。特に乳幼児期、学童期において家庭は、基本的な食習慣を身につける場となり、親子のふれあい、家族での共食を通して食への感謝の心を育み、食事のマナーや食に関する知識を身につける役割を担います。

2 幼稚園・保育所・こども園・学校及び学校給食センター

子どもに基本的な食習慣を身につけさせて、望ましい食習慣を身につけて実践する力を育てることが大切です。幼稚園、保育所、こども園では、成長や発達の段階に応じて、健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培うことを目標とします。子どもが生活と遊びを通じて、様々な食べ物に興味や関心を持ち、食べる喜びや楽しさを味わうことで、食事のマナー、食材や調理する人への感謝の気持ちを育み、地域の食文化に親しむことができるよう努める役割があります。

学校や学校給食センターでは、学校給食を「生きた教材」として活用し、地場産物を多く利用した給食を提供し、集団生活を通して社会性、協調性を育てることや、食習慣と健康の関係について正しく理解し、自ら健康管理する力を育てることを担います。また、様々な学習や体験活動を通じて、食料の生産から消費に至るまでの食の循環を知り、自然の恩恵として命をいただくこと、食べ物が食卓に届くまでの全ての人に感謝する心を育む取組が重要です。

3 PTA・地域・食育推進団体

PTAでは、教育の原点は家庭にあると考えられています。子どもに基本的な生活習慣を身につけさせるためにも、食育を含めた家庭教育の充実を図る必要があります。

また、幼稚園、保育所、こども園、学校と連携して取り組むことも大切です。

地域では、特色を生かして地域の食材や郷土料理に親しみ、住民同士の交流を通じた食文

化の伝承や地産地消の推進、体験活動の推進を行うことで、主体的に食育に取り組む役割を果たすことができます。

食育推進団体である食生活改善推進員は、食生活の改善を通じた地域の健康づくりを推進する役割を担います。

食に関するボランティア団体は、子ども食堂等で地域の様々な共食の場づくりを推進する役割を担います。

4 生産者・事業者

生産者や事業者は、農産物や食品の作り手として、保育施設・学校等の食育関係者と連携・協働し、子どもに農業に関する体験の機会を積極的に提供し、生産の楽しみや苦勞を伝える役割を担います。生育過程や栽培等の苦勞を知ることで、作り手に感謝し食べ物を大切にす

る心を育みます。

また、食べ物に関する正しい知識を発信することにより、食の安全・安心への理解が深まり、生産者や事業者と市民との顔の見える関係が広がります。地産地消を推進し地場産物の利用促進を図る役割を担っています。

5 行政

行政は、食育推進関係者の交流と連携強化、食に関するボランティア団体への活動支援、「新たな日常」やデジタル化に対応した食育に関する情報発信、食育推進関係者と協働した食育関連事業の開催をするなど、本市における食育を推進します。

6 食育推進関係者の取組一覧

基本目標	家 庭	幼稚園・保育所・こども園・ 学校及び学校給食センター
(1) 望ましい食習慣の 形成と定着	<ul style="list-style-type: none"> • 朝ごはんを毎日準備し、家族一緒に食べましょう。 • 「早寝・早起き・朝ごはん」等の基本的な生活習慣を心がけましょう。 • 家庭状況に合った食と健康について家族と一緒に考えましょう。 • 主食・主菜・副菜をそろえて食べましょう。 • 塩分を控えましょう。 • 自分の適正体重と必要な食事の内容や量を知りましょう。 • 歯や口の健康を考え、定期的な歯科受診を心がけましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 保護者に健康や栄養等食育に関する様々な情報を積極的に提供します。 • 試食会等を開催します。 • 子どもと保護者に規則正しい食生活や栄養バランス、適正体重についての指導を行うとともに、食育の啓発に取り組みます。
(2) 食を通じたコミュニ ケーションによる 豊かな人間性の形成	<ul style="list-style-type: none"> • 家族や友人と食事をする機会を積極的に設けましょう。 • 家庭の行事食を一緒に作って楽しく食べましょう。 • 家族で食事に関する役割分担を考えましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 給食や弁当、おやつを楽しく食べるための環境（雰囲気）を整えます。 • 食べる事を通して、その楽しさや食事のマナー等の理解を深めます。 • 給食だより等を通じて、家族団らんの大切さや共食の意義について子どもや保護者に伝えていきます。
(3) 食の安全と循環や 環境への理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> • 食の安全について正しい情報を理解して食材を選びましょう。 • 食の循環を意識し食品を無駄にしないような食事作りを心がけましょう。 • 食べ残しをなくす、食材を使い切るなど、生ごみの排出抑制に努めましょう。 • 資源節約のためのマイバッグを活用しましょう。 • 食事の挨拶を通して食べ物や生産者への感謝の心を育みましょう。 • 季節感や地域の素材を活かした食事作りを心がけましょう。 • 地場産物や旬の食材の情報を入手し、購入に努めましょう。 • 行事食や伝統料理を実践し、子どもに伝えましょう。 • 災害時に備えた食料品の備蓄をしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 地場産品を多く利用し、多種多様な食材を活用した給食を提供します。 • リクエスト給食等でバランスの良い献立を考える機会を持ちます。 • 食物アレルギー等食に関する健康課題のある子どもに対し、相談・指導を行い、バランスの良い食事ができるように努めます。 • 生産現場の体験や生産者の講義等により農業に対する理解を深めます。 • 勤労体験学習や給食を教材とした学習等を通して、食物の生産へ関わる人々へ感謝の心を育みます。 • 食料の生産、加工、流通の仕組み、食料事情と環境問題を理解します。
(4) 食育を推進する関係 者の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> • 食に関する地域のイベントに積極的に参加しましょう。 • 地域で食に関する活動をしている団体に関心を持ちましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 食育の仕組みを理解し、食生活教材等を生かしながら食に関する指導を進めます。 • 「食に関する指導」についての年間計画を作成し、職員の共通理解を図り、取り組みます。 • 地域や保護者と連携して食に関する取組を行います。

PTA・地域・ 食育推進団体	生産者・事業者	行 政
<ul style="list-style-type: none"> 食を通して地域の健康づくりを促進する活動に取り組みましょう。 親子料理教室等を開催しましょう。 バランス食や減塩メニューの調理講習会を開催しましょう。 生活習慣病やフレイル予防のための食生活に関する情報を発信しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 材料、食事の宅配や調理サービスの提供に努めましょう。 調理済食品の栄養成分表示やヘルシーメニューの導入、食材への産地表示等の情報の提供に努めましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、保育所、こども園、学校や、市民センター、健康づくり課等で健康栄養教室等を実施します。 各種お便りや健康に関する教室等のイベントを通じてバランスのよい食事の大切さや望ましい食生活について普及啓発を行います。 各種健診、健康教育・健康相談を行います。 市広報や市ホームページ等で食の情報を提供します。 生活習慣病や低栄養予防の食生活に関する情報を発信します。 よく噛んでおいしく食べるため、歯と口の健康づくりについて情報提供や啓発を行います。
<ul style="list-style-type: none"> 地域行事や親子行事を主催し、交流しながら一緒に楽しく食べる機会を設けましょう。 毎月19日の「食育の日」を利用し、共食を推進しましょう。 子ども食堂等で、地域での様々な共食の場づくりの提供をしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族で一緒に参加できる農業体験活動や教室を促進し、食について学びながら、食を通じたコミュニケーションの充実を図りましょう。 農業体験等を通じて、消費者と生産者の交流を深めましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 食を通じたコミュニケーション等に関わる情報提供や啓発を行います。
<ul style="list-style-type: none"> 組織ごとに適切に食品を選ぶための研修会やエコを意識した調理講習会等を企画しましょう。 生ごみの排出抑制に努めましょう。 伝統行事や伝統食の継承の機会を設けましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業の適正使用を推進しましょう。 農業の多様な体験の機会を積極的に提供しましょう。 食品の製造・加工、流通・販売に関わる事業施設などの見学学習を受け入れましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消を普及啓発します。 県と協力し、食の安全、安心に関する教室を開催します。 農産物の出荷規制等、食に関わる情報提供を行います。 地域の食文化や特産物等に関わる情報提供や啓発を行います。 災害発生時に対応できるよう、ローリングストック法（日常的に非常食を食べて、食べたらいよいよ買足するという行為を繰り返し、常に家庭に新しい非常食を備蓄する方法）による家庭での食料品の備蓄について啓発を行います。
<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、保育所、こども園、学校、市民センター、健康づくり課等の健康栄養教室等に、積極的に協力しましょう。 食育推進のため、他組織等とさらなる連携を図りましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育関係機関や流通事業者等との十分な連携を図り、学校等の給食の食材として、地元の新鮮で安全な食材の提供に努めましょう。 各種健康づくりを促進するイベント等に協力しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元食材を給食へ活用する支援を行います。 生産者、事業者との交流事業を推進し、見学学習や体験学習の場を支援します。 食育推進団体及び食に関するボランティア団体の活動支援を行います。 食育に関する情報を収集し、提供します。 関係課のさらなる連携強化を図ります。 「新たな日常」やデジタル化に対応した情報発信を行います。

第6章 計画の推進

1 計画の推進体制

市民一人ひとりが本計画の内容を理解し取り組む「自助」、家庭や近隣等が互いに支えあいながら取り組む「互助」、幼稚園・保育所・こども園・学校及び学校給食センター、PTA・地域・食育推進団体、生産者・事業者が一体となって取り組む「共助」、行政が食育推進のための環境整備に取り組む「公助」を柱とし、計画の推進を図っていきます。

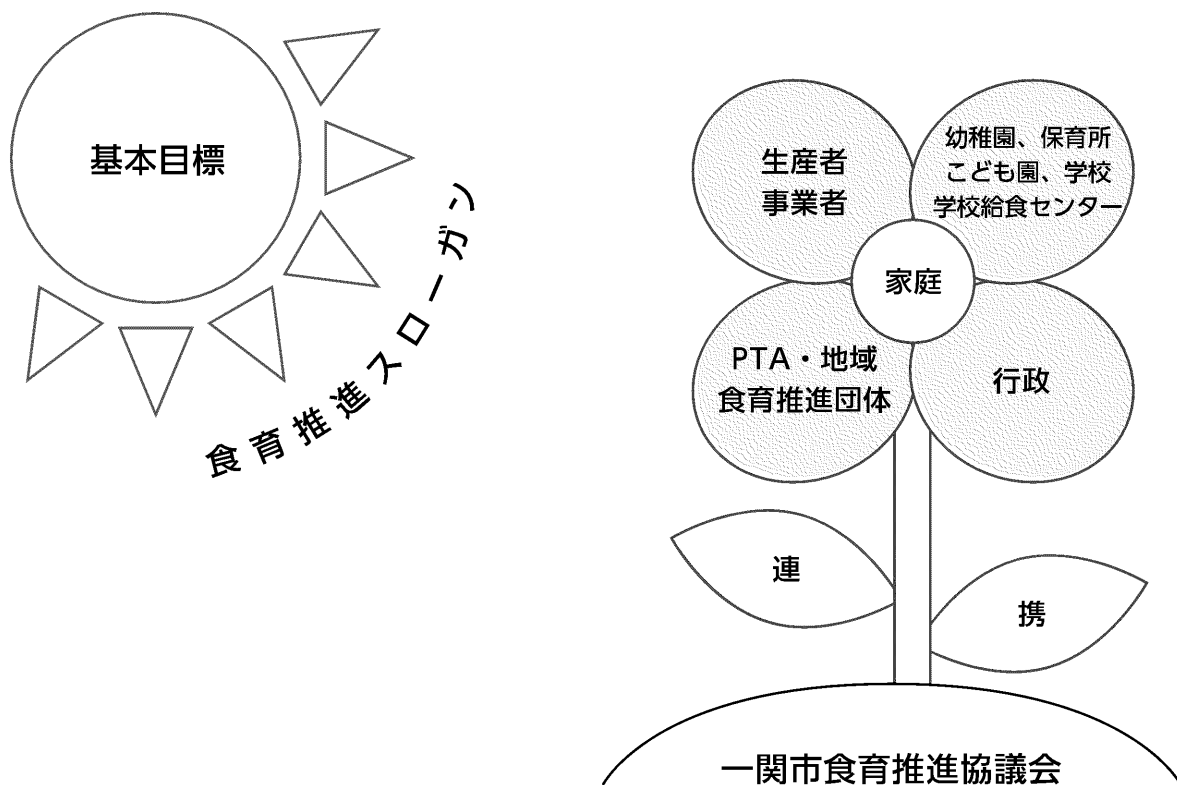
本計画の策定を進めてきた一関市食育推進協議会は、その着実な実行を目指し、中心的な役割を担います。

<推進体制イメージ図>

基本目標という太陽に向かい咲く連携の花。

一関市食育推進協議会は食育推進スローガンという太陽の光を浴びてその花をきれいに咲かせるための土台。

「食育推進スローガン」 「家族や地域 笑顔でつながる 食育の環(わ)」



2 計画の進行管理

「一関市食育推進協議会」では、食育推進関係者の取組状況や計画の進捗状況を把握して定期的な評価を行い、計画の適切な進行管理に努めます。

3 評価指標と目標値の設定

第4次一関市食育推進計画の推進にあたり、以下に示す評価指標と目標値を設定し、目標の達成を目指します。

(1) 望ましい食習慣の形成と定着

評価指標	対象	現状値	目標値 (R8)	評価資料
朝食を毎日食べている市民の割合	3 歳	96.7%	100%	すこやか親子 21 アンケート
	小学生 (4年生)	96.5%	100%	生活習慣病予防支援システム
	中学生 (3年生)	91.0%	100%	
	高校生 (3年生)	82.4%	100%	
	成人 (20歳~)	87.2%	90%	健康づくりアンケート
20歳代	64.4%	80%		
主食・主菜・副菜を1日2食以上そろえた食事をする市民の割合	中高生	78.7%	85%	健康づくりアンケート
	成人 (20歳~)	58.8%	65%	
	20~30歳代	41.5%	45%	
塩分を控えている (薄味にしている) 市民の割合	成人 (20歳~)	25.4%	50%	

(2) 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成

評価指標	対象	現状値	目標値 (R8)	評価資料
郷土料理を知っている市民の割合	中高生	47.2%	60%	健康づくりアンケート
	成人(20歳~)	38.5%	50%	
家族や友人などと会話を楽しみながらゆっくり食事をする市民の割合	中高生	60.0%	70%	
	成人(20歳~)	63.1%	70%	

(3) 食の安全と循環や環境への理解の促進

評価指標	対象	現状値	目標値 (R8)	評価資料
産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選んでいる市民の割合	中高生	44.9%	55%	健康づくりアンケート
	成人(20歳~)	68.1%	75%	
食べ残しなど無駄や廃棄の少ない食事づくりを意識している市民の割合	成人(20歳~)	87.5%	95%	

(4) 食育を推進する関係者の連携強化

評価指標	対象	現状値	目標値 (R8)	評価資料
食育月間(6月)の取組件数	食育推進関係者、団体	75件	85件	健康づくり課資料
食育の日(毎月19日)の取組件数		34件	44件	
食育月間以外の取組件数		104件	114件	

資料

1 食事バランスガイド

食事バランスガイドを使って食生活をチェックしてみませんか？

1. 自分の活動量に合った1日分のサービング数(つ)を料理区分ごとに書きこみましょう

料理区分	サービング数(つ)		私の数
	活動量「低い」	活動量「ぶつう」以上	
主食 (ごはん、パン、麺)	4~5	5~7	1 2 3 4 5 6 7
副菜 (野菜料理)	5~6	5~6	1 2 3 4 5 6
主菜 (肉・魚料理)	3~4	3~5	1 2 3 4 5
牛乳・乳製品	2	2	1 2 1 2
果物	2	2	1 2 1 2
エネルギー (Kcal)	1800 ±200	2200 ±200	2600 ±200

※活動量の見方

「低い」: 1日中座っていることがほとんど



2. 右側の料理例を参考に、コマのイラストの料理区分ごとに食べたサービング数(つ)を○で囲みましょう。1日のバランスはどうですか？

料理例

1つ分 = 1コマ = ごはん小杯 おにぎり1個 食パン1枚 ロールパン2個

15つ分 = 2コマ = ごはん中1杯 もりそば1杯 スパゲッティ

1つ分 = 1コマ = まゆうりわか 目たくさん ぼたねん草 ひじきの 野菜サラダ めの酢の物 味噌汁 のちろし 煮物

2つ分 = 2コマ = 野菜の煮物 野菜炒め 芋の煮ころかし

1つ分 = 1コマ = 沖取 納豆 白玉焼き 焼き魚

3つ分 = 3コマ = ハンバーグ ステーキ 豚肉のしょうが焼き 鶏肉のから揚げ

1つ分 = 1コマ = 牛乳コップ半分 チーズ1かけ スライス1枚 ヨーグルト

1つ分 = 1コマ = みかん1個 りんご半分 かき1個 なし半分 ぶどう半分 もも1個

食事例

〈朝食〉

主食 = ごはん小2杯 2つ

副菜 = ひじきの煮物 1つ

主菜 = 目玉焼き 1つ

果物 = みかん 1個 1つ

3. 時々、自分の体型の変化をチェックし、お腹まわりが気になってきたらエネルギーを1ランク下げると調整しましょう

資料：農林水産省

2 食生活指針

食生活指針	食生活指針の実践
<p>食事を楽しみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 毎日の食事で、健康寿命をのばしましょう。 • おいしい食事を、味わいながらゆっくりよく噛んで食べましょう。 • 家族の団らんや人との交流を大切に、また、食事づくりに参加しましょう。
<p>1日の食事のリズムから、健やかな生活リズムを。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 朝食で、いきいきした1日を始めましょう。 • 夜食や間食はとりすぎないようにしましょう。 • 飲酒はほどほどにしましょう。
<p>適度な運動とバランスのよい食事で、適正体重の維持を。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 普段から体重を量り、食事量に気をつけましょう。 • 普段から意識して身体を動かすようにしましょう。 • 無理な減量はやめましょう。 • 特に若年女性のやせ、高齢者の低栄養にも気をつけましょう。
<p>主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 多様な食品を組み合わせましょう。 • 調理方法が偏らないようにしましょう。 • 手作りとお外食や加工食品・調理食品を上手に組み合わせましょう。
<p>ごはんなどの穀類をしっかりと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 穀類を毎食とって、糖質からのエネルギー摂取を適正に保ちましょう。 • 日本の気候・風土に適している米などの穀類を利用しましょう。
<p>野菜・果物、牛乳・乳製品、豆類、魚なども組み合わせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • たっぷり野菜と毎日の果物で、ビタミン、ミネラル、食物繊維をとりましょう。 • 牛乳・乳製品、緑黄色野菜、豆類、小魚などで、カルシウムを十分にとりましょう。

食生活指針	食生活指針の実践
<p>食塩は控えめに、脂肪は質と量を考えて。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 食塩の多い食品や料理を控えめにしましょう。食塩摂取量の目標値は、男性で1日8g未満、女性で7g未満とされています。 • 動物、植物、魚由来の脂肪をバランスよくとりましょう。 • 栄養成分表示を見て、食品や外食を選ぶ習慣を身につけましょう。
<p>日本の食文化や地域の産物を活かし、郷土の味の継承を。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「和食」をはじめとした日本の食文化を大切に、日々の食生活に活かしましょう。 • 地域の産物や旬の素材を使うとともに、行事食を取り入れながら、自然の恵みや四季の変化を楽しみましょう。 • 食材に関する知識や調理技術を身につけましょう。 • 地域や家庭で受け継がれてきた料理や作法を伝えていきましょう。
<p>食料資源を大切に、無駄や廃棄の少ない食生活を。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • まだ食べられるのに廃棄されている食品ロスを減らしましょう。 • 調理や保存を上手にして、食べ残しのない適量を心がけましょう。 • 賞味期限や消費期限を考えて利用しましょう。
<p>「食」に関する理解を深め、食生活を見直してみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 子供のころから、食生活を大切にしましょう。 • 家庭や学校、地域で、食品の安全性を含めた「食」に関する知識や理解を深め、望ましい習慣を身につけましょう。 • 家族や仲間と、食生活を考えたり、話し合ったりしてみよう。 • 自分たちの健康目標をつくり、よりよい食生活を目指しましょう。

文部省決定、厚生省決定、農林水産省決定
平成28年6月一部改正

(※現在の文部科学省決定、厚生労働省決定、農林水産省決定)

3 健康づくりに関するアンケート調査結果

(1) 調査の概要

①調査の目的

本調査は、「健康いちのせき 21 計画（第二次）」の中間評価及び「第 4 次一関市食育推進計画」を策定するにあたり、市民の意識や実態を把握し、基礎資料を得ることを目的として調査を実施したものです。

②調査対象

- 一般市民：一関市内在住の方を無作為抽出 2,700 人
- 中学生：204 人（市内中学校 17 校× 12 人：男女各 6 人）
- 高校生：160 人（市内高等学校 8 校× 20 人：男女各 10 人）

③調査期間

- 一般市民：令和 3 年 7 月 28 日から令和 3 年 8 月 16 日まで
- 中学生・高校生：令和 3 年 7 月 28 日から令和 3 年 8 月 31 日まで

④調査方法

郵送による配布・回収

⑤回収状況

分類	配布数	有効回答数	有効回答率
市民	2,700 通	954 通	35.3%
中高生	364 通	343 通	94.2%

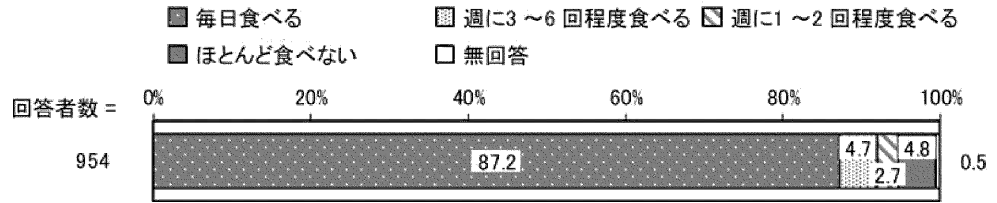
⑥集計について

回答割合は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、100%にならない場合がある。

(2) 調査結果 (抜粋)

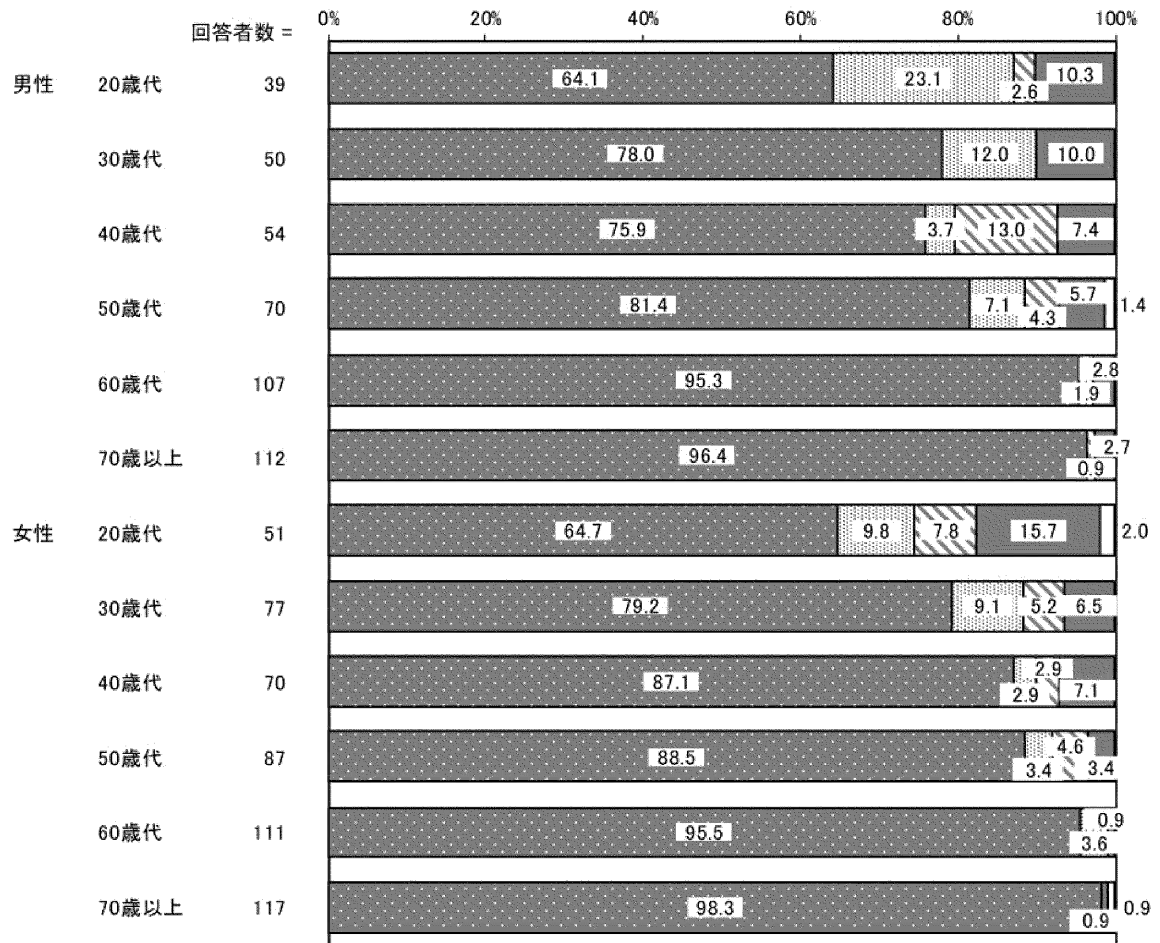
①朝食の摂取状況

<成人>



【性・年齢別】

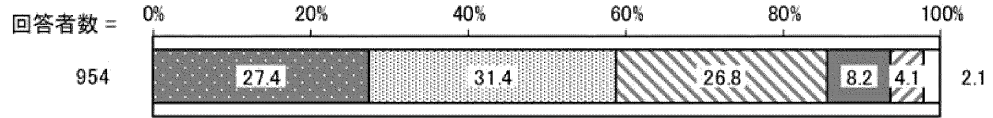
(性別・年齢 未回答含む)



②主食・主菜・副菜をそろえた食事の状況

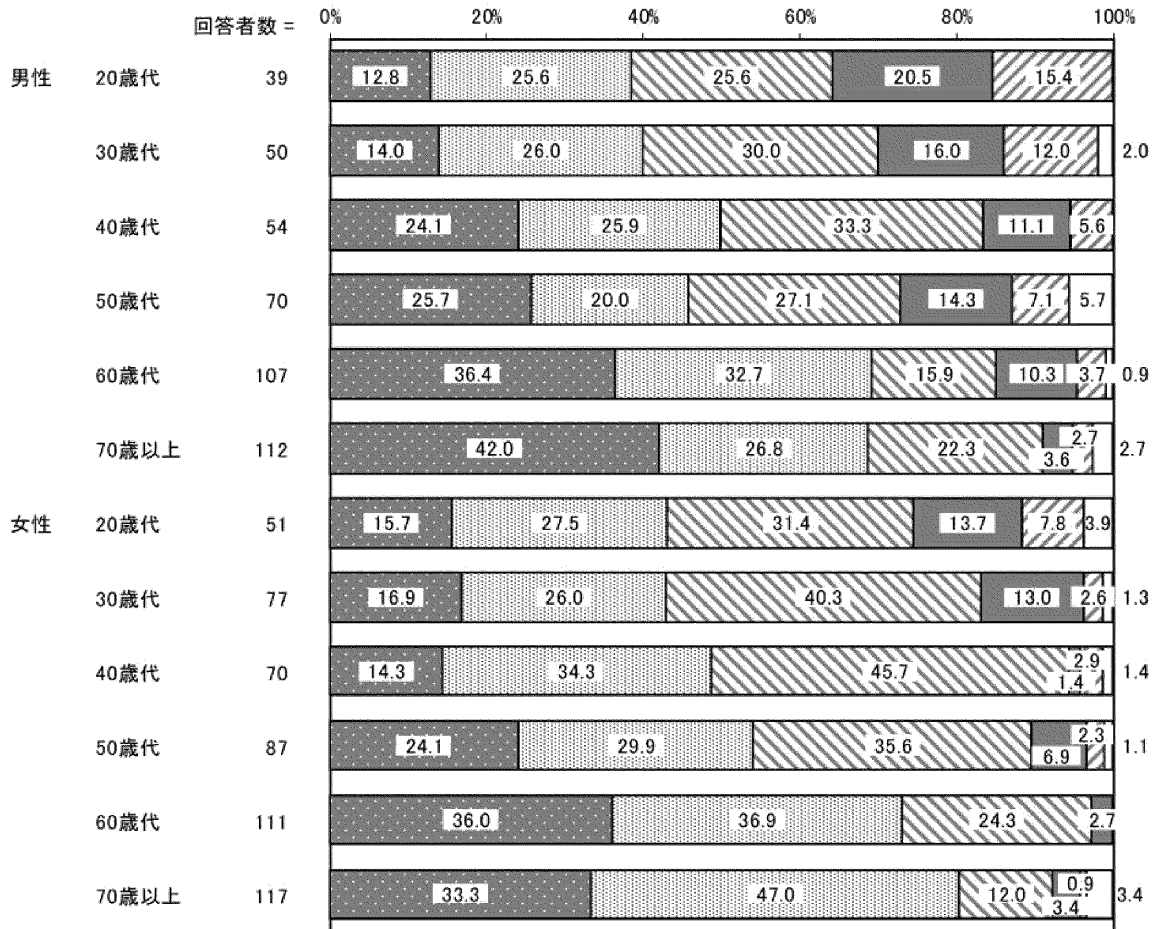
<成人>

- 毎食そろえている
- 1日に2食はそろえている
- 1日に1食はそろえている
- ほとんどそろえていない
- わからない
- 無回答



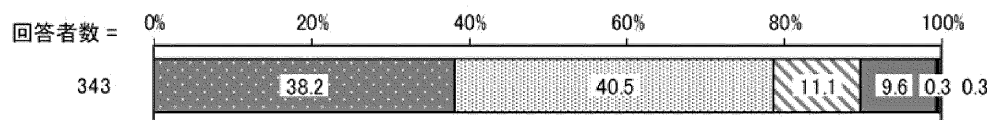
【性・年齢別】

(性別・年齢 未回答含む)



<中高生>

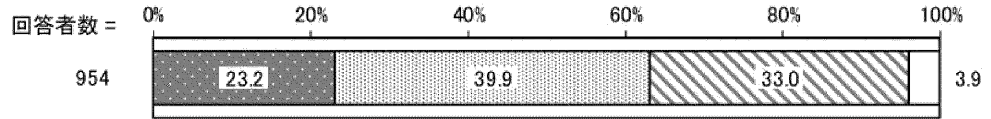
- 毎食そろえている
- 1日に2食はそろえている
- 1日に1食はそろえている
- ほとんどそろえていない
- わからない
- 無回答



③家族や友人などと会話を楽しみながら時間をかけて食事をしている状況

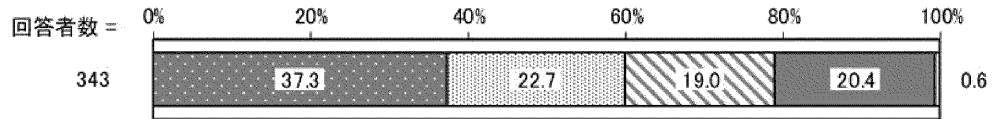
<成人>

■ 毎日している ▨ 時々している ▩ ほとんどしていない □ 無回答



<中高生>

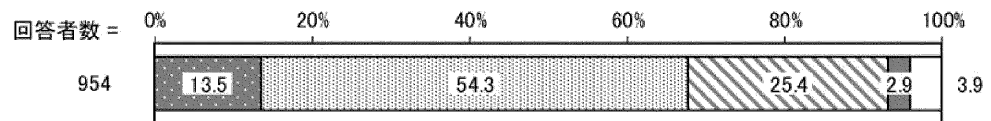
■ 毎日している ▨ 週に4~5回はしている ▩ 週に2~3回はしている
 ■ ほとんどしていない □ 無回答



④薄味にしている（塩分を控えている）状況

<成人>

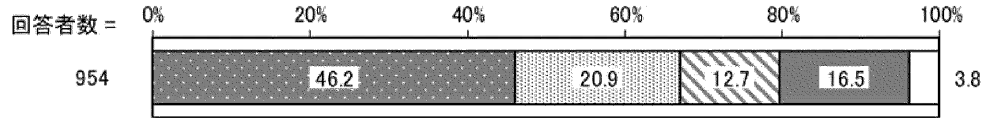
■ 濃い味だと思う ▨ 普通
 ▩ うす味にしている ■ わからない(気にしたことがない)
 □ 無回答



⑤料理（食事）の実施

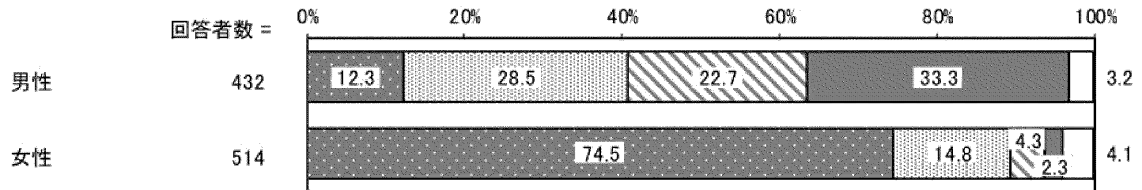
<成人>

■ ほぼ毎日作っている ▨ 時々作っている ▩ ほとんど作らない
 ■ 作っていない □ 無回答



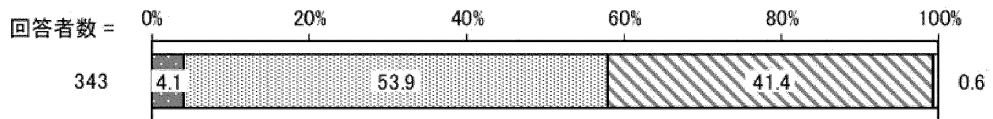
【性別】

(性別・年齢 未回答含む)



<中高生>

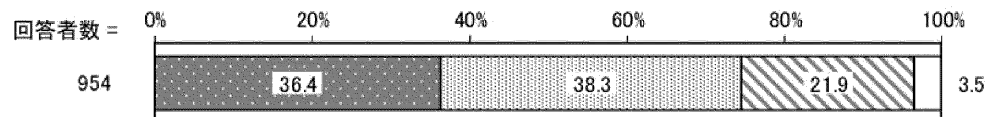
■ ほぼ毎日作っている ▨ たまに作っている ▩ 作っていない □ 無回答



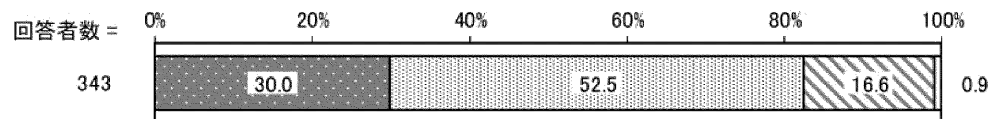
⑥「食育」への関心

<成人>

■ 関心がある ▨ まあまあ関心がある ▩ 関心がない □ 無回答



<中高生>



4 一関市食育推進協議会設置要綱

平成 19 年 8 月 20 日

告示第 204 号の 2

(設置)

第 1 本市の食育推進のため、一関市食育推進協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第 2 協議会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 一関市食育推進計画（以下「推進計画」という。）に関する事。
- (2) 推進計画に関する施策の推進及び総合調整に関する事。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、食育の推進を図るために必要な事項に関する事。

(組織)

第 3 協議会は、委員 20 人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 消費者及び消費者団体の代表者
- (2) 農林業者
- (3) 農林業関係団体の職員
- (4) 食品事業者
- (5) 教育関係者
- (6) 知識経験者
- (7) ボランティア団体の代表
- (8) 健康推進団体の代表

3 委員の任期は、2 年とし、再任を妨げない。

4 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第 4 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 5 協議会は、会長が招集する。

2 会長は、必要があると認めるときは、協議会の会議に委員以外の出席を求め、意見を聞くことができる。

(庶務)

第 6 協議会の庶務は、保健福祉部健康づくり課において処理する。

(その他)

第 7 この告示に定めるもののほか、必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

制定文 抄

平成 19 年 8 月 21 日から施行する。

制定文 抄

平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

第4次一関市食育推進計画

令和4年3月

一関市保健福祉部健康づくり課

〒021-0026

岩手県一関市山目字前田13番地1

電話 0191-21-2160

FAX 0191-21-4656

令和 4 年度の食育の取組状況について

1 食育推進事業

- ・食育月間（6月）の取組 80件 資料2-1
- ・食育月間以外の取組 136件 資料2-2
- ・食育の日（毎月19日）の取組 39件 資料2-3

2 表彰関係

(1) 令和4年度岩手県食育標語コンクール（敬称略・順不同）

テーマ「いただきます」 応募作品数：1,042作品

- ・優秀賞（一般社団法人岩手県獣医師会会長賞）

巖美中学校 [] さん

「岩手の食材 笑顔と一緒に いただきます」

- ・優秀賞（一般社団法人岩手県食品衛生協会会長賞）

東山中学校 [] さん

「親の愛 地球の恵み いただきます」

- ・優秀賞（岩手県農業協同組合中央会会長表彰）

猿沢小学校 [] さん

「いただきます ほおぼるほっぺの ごはんつぶ」

- ・優秀賞（一般社団法人岩手県薬剤師会会長賞）

東山中学校 [] さん

「手を合わせ 感謝を込めて いただきます」

- ・優秀賞（岩手県チキン協同組合理事長賞）

東山中学校 [] さん

「心をこめ 命思っ いただきます」

- ・入賞

東山中学校 [] さん

「食卓を 家族で囲んで いただきます」

- ・入賞


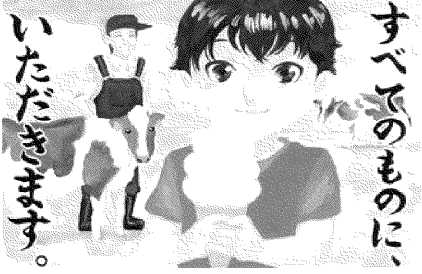
猿沢小学校 [] さん

「しあわせを みんなでかこんで いただきます」

(2) 令和4年度岩手県食育推進図画・ポスターコンクール

テーマ「いただきます」 応募作品数：134 作品

	賞区分	学校・氏名	作品
小学校 低学年の部	優秀賞	花泉小学校 [redacted] さん	
	優秀賞	花泉小学校 [redacted] さん	
小学校 高学年の部	奨励賞	山目小学校 [redacted] さん	

<p>中 学 校 の 部</p>	<p>優秀賞</p>	<p>一関第一高等学校附属中学校 さん</p>	
----------------------------------	------------	---	--

(3) 岩手県食育貢献者表彰

- ・市からの推薦なし。

〇令和4年度食育月間(6月)の取組

No.	取組の名称	目標	取組	対象とするライフステージ別の参加者数 ①乳児②幼児③学童④思春期⑤青年期⑥壮年期⑦高齢期⑧不明										実施機関	連携機関	担当課	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計					
1	食育月間、日本型食生活の普及啓発	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践									170	170	室根支所保健福祉課	一関市食生活改善推進員協議会 室根支部	健康づくり課	
2	ポスターの掲示による「一関市食育推進スローガン」の普及	(4)食を推進する関係者の連携強化	①食育推進スローガンの普及と定着										124	124	大東支所保健福祉課	大東地域内の市の機関のほか、 事業所、高校、専門学校、産直、 スーパー等、一関市食生活改善 推進員協議会大東支部	健康づくり課
3	食生活改善推進員リーダー研修会	(1)望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進							5	48		53	大東支所保健福祉課	一関市食生活改善推進員協議会 大東支部	健康づくり課	
4	リーフレット配布による第4次一関市食育推進計画、食育推進スローガンの普及	(4)食を推進する関係者の連携強化	①食育推進スローガンの普及と定着									148	40	188	藤沢支所保健福祉課	一関市食生活改善推進員協議会 藤沢支部	健康づくり課
5	食生活改善推進員協議会千厩支部研修会	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践									2	44	46	千厩支所保健福祉課	一関市食生活改善推進員協議会 千厩支部	健康づくり課
6	第4次一関市食育推進計画の市民への周知(世帯配布)	(4)食を推進する関係者の連携強化	①食育推進スローガンの普及と定着										46,426	46,426	健康づくり課		健康づくり課
7	フレイル予防の食生活	(1)望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進							1	51		52	52	健康づくり課	一関市食生活改善推進員協議会 一関支部	健康づくり課
8	成人講座「旬を楽しむ会」(料理教室)	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進							3	8		11	11	油島市民センター		いきがいつくり課
9	そば打ち道場(1回目)	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	②地産地消の推進								1	12	13	13	興田市民センター		いきがいつくり課
10	令和4年度せまや里山塾食べて健康コース	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践						1	3	8		12	12	奥玉市民センター		いきがいつくり課
11	おいまつべビママクラス「ママとベビーのための料理教室」	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心をもち健全な食生活を送るための支援	4	1				5				10	10	老松市民センター		いきがいつくり課
12	野菜の苗と花の苗を植えてみよう!	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②農業体験等を通じた生産者との交流			31						2	33	33	摺沢保育園	コメリ大東店	子育て支援課
13	ジュースなどの飲み物に含まれる砂糖の量を知ろう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進			10							10	10	猿沢保育園		子育て支援課
14	夏野菜の苗植え(オクラ、枝豆)	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①農業体験等を通じた生産者との交流			6			1	2			9	9	洪民保育園		子育て支援課
15	食育週間～食事の姿勢や置き方、給食をたくさん食べてみよう～	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	⑤食文化の継承			7							7	7	曾慶保育園		子育て支援課
16	野菜スタンプでサファリーパークを作ろう	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②農業体験等を通じた生産者との交流			29							29	29	東山こども園		子育て支援課
17	歯や骨を丈夫にする食品を知る	(1)望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進			17							17	17	室根こども園		子育て支援課
18	JA青年部・婦人部さんとの野菜の苗植え	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②農業体験等を通じた生産者との交流			23							23	23	新沼保育園	JAいわて平泉藤沢地域青年部・ 婦人部	子育て支援課

19	野菜の苗を知って畑に植えよう。栽培を楽しもう。	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②農業体験等を通じた生産者との交流	22								22	藤沢こども園	JAIわて平泉	子育て支援課
20	野菜の苗を植えよう	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②農業体験等を通じた生産者との交流	18								18	黄海こども園	コメリ藤沢店	子育て支援課
21	給食ができるまでのお話	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及	23								23	認定龍澤寺こども園		子育て支援課
22	メロンゼリーを作ろう	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及	5								5	認定龍澤寺こども園		子育て支援課
23	早寝早起き朝ご飯	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成	40								40	認定こども園一関南保育園		子育て支援課
24	箸の持ち方・食事のマナー	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	③食文化の継承	16								16	認定こども園赤萩保育園		子育て支援課
25	野菜の名前知っているかな？どこで育つ野菜？	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及	14								14	認定こども園赤萩保育園		子育て支援課
26	食育ってなあに？	(4)食育を推進する関係者の連携強化	①食育推進スローガンの普及と定着	17								17	認定こども園赤萩保育園		子育て支援課
27	食育ってなあに？	(4)食育を推進する関係者の連携強化	①食育推進スローガンの普及と定着	14								14	認定こども園赤萩保育園		子育て支援課
28	食育絵本の読み聞かせ(4日間5回)	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践	86								86	認定こども園一関藤保育園		子育て支援課
29	梅シロップづくりの見学・栄養についての食育指導	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及	20								20	認定こども園一関藤保育園		子育て支援課
30	おにぎり作り	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及	20								20	認定こども園一関藤保育園		子育て支援課
31	サンドイッチ作り	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及	22								22	認定こども園一関藤保育園		子育て支援課
32	ハローキティといっしょ なんでも食べよう(DVD)鑑賞	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践	71								71	認定こども園桜保育園		子育て支援課
33	食育指導「うんちについて」	(1)望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進	63								63	認定こども園花泉保育園		子育て支援課
34	餃子を作ってみよう。	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及	9								9	きらりの森保育園		子育て支援課
35	有機農業推進事業 田んぼの学校「田植体験」	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	②農業体験等を通じた生産者との交流	4	21						26	51	一関地方有機農業推進協議会		地産地消・外商課
36	食育訪問	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践	14								14	舞川幼稚園	学校教育課	学校教育課
37	お楽しみ会食会	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進	17								17	真滝幼稚園	水沢給食センター	学校教育課
38	食育訪問、もりもり弁当	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践	8								8	厳美幼稚園	学校教育課	学校教育課
39	ミニトマトを育てよう	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②農業体験等を通じた生産者との交流	18								18	赤萩幼稚園		学校教育課
40	食育訪問	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践	6								6	萩荘幼稚園	学校教育課	学校教育課

41	食育訪問 チャレンジ弁当	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践	17							17	狐禅寺幼稚園	学校教育課	学校教育課
42	さつまいもの苗植え、枝豆の種まき	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②農業体験等を通じた生産者との交流	10							10	摺沢幼稚園		学校教育課
43	おやつの上手な取り方について考えよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践							118		一関小学校	真滝学校給食センター	学校教育課
44	食材の旬とその良さについて	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	②地産地消の推進							49		赤荻小学校	西部第二学校給食センター	学校教育課
45	やさしいすき！なかよしいさくせん！	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践							24		中里小学校	西部第二学校給食センター	学校教育課
46	好ききらいをしないでなんでも食べよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践							33		滝沢小学校	真滝学校給食センター	学校教育課
47	残食調べ	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及							377		南小学校		学校教育課
48	よく噛んで食べよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成							6		弥栄小学校	真滝学校給食センター	学校教育課
49	やさしいすき！なかよしいさくせん！	(2)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践							45		萩荘小学校	西部学校給食センター	学校教育課
50	すくすく育て わたしの体	(3)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成							53		萩荘小学校	西部学校給食センター	学校教育課
51	給食のはいぜんのかた 給食当番の達人になろう	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進							39		厳美小学校	西部学校給食センター	学校教育課
52	なんでもたべよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践							11		永井小学校	花泉学校給食センター	学校教育課
53	なんでもたべよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践							15		涌津小学校	花泉学校給食センター	学校教育課
54	完食調べ	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及							115		涌津小学校		学校教育課
55	飲み物などのとり方について考えよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践							13		油島小学校	花泉学校給食センター	学校教育課
56	よく噛んで食べよう、食事や歯や骨を丈夫にしよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成							127		花泉小学校		学校教育課
57	よく噛んで食べよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成							87		老松小学校		学校教育課
58	なんでもたべよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践							10		金沢小学校	花泉学校給食センター	学校教育課
59	好ききらいをしないで食べよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践							12		大原小学校	大東学校給食センター	学校教育課
60	朝ごはんパワーで元気になろう 好き嫌いしないでなんでも食べよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践							72		大東小学校	大東学校給食センター	学校教育課
61	げんきのもとあさごはん	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成							14		興田小学校	大東学校給食センター	学校教育課
62	食に関する絵本読み聞かせと展示	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進							62		興田小学校		学校教育課

63	もっと野菜となかよくなるう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			18						18	猿沢小学校	大東学校給食センター	学校教育課
64	給食ペロカードへの取り組み	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			382						382	千厩小学校		学校教育課
65	大きなあれ わたしの野菜(好き嫌いをなく食べよう)	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			21						21	東山小学校	大東学校給食センター	学校教育課
66	おにぎり弁当	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			43						43	川崎小学校		学校教育課
67	ふれあい給食「よくかんで食べよう」	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			25						25	藤沢小学校	千厩学校給食センター	学校教育課
68	図書を活用した食育指導 噛むことの推進	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			83						83	黄海小学校		学校教育課
69	よくかんで食べよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			7						7	新沼小学校	千厩学校給食センター	学校教育課
70	朝ごはんの大切さ	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			58						58	一関中学校	花泉学校給食センター	学校教育課
71	スポーツのための効果的な食事のポイント	(1)望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進			68						68	萩荘中学校		学校教育課
72	生産者の講話と交流給食	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			12	2	2				16	舞川中学校	産直あいあい真滝学校給食センター	学校教育課
73	朝食の役割と大切さ	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			106						106	花泉中学校	花泉学校給食センター	学校教育課
74	栄養バランスの良い朝食について考えよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			13						13	大原中学校	大東学校給食センター	学校教育課
75	運動と栄養の関わり	(1)望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進			64						64	大東中学校	大東学校給食センター	学校教育課
76	朝食大切さを知り、レベルアップさせよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			14						14	興田中学校	大東学校給食センター	学校教育課
77	1年生ふれあい給食	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			72	2		3			77	千厩中学校	千厩学校給食センター	学校教育課
78	食育標語づくりに取り組もう	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			23						23	川崎中学校		学校教育課
79	朝食の大切さ	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			56						56	藤沢中学校	千厩学校給食センター	学校教育課
80	DVD「大東学校給食センターの1日」と、掲示資料配布	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及			718	467					1185	大東学校給食センター	供給校	学校教育課
合計				9	673	2,600	953	9	17	274	46,550	51,085			

資料 2-2

(1) 令和4年度食育月間以外の取組

No.	取組の名称	目標	取組	対象とするライフステージ別の参加者数 ①乳児②幼児③学童④思春期⑤青年期⑥壮年期⑦高齢期⑧不明								実施機関	連携機関	担当課			
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧				合計		
1	千厩こどもキッチン	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			9	3						12	千厩支所保健福祉課	一関市食生活改善推進員協議会 千厩支部	健康づくり課	
2	千厩小学校食育支援(3年2組)	(3) 食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及			30				2			32	千厩支所保健福祉課	一関市立千厩小学校 一関市食生活改善推進員協議会 千厩支部	健康づくり課	
3	千厩小学校食育支援(3年1組)	(3) 食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及			30				3			33	千厩支所保健福祉課	一関市立千厩小学校 一関市食生活改善推進員協議会 千厩支部	健康づくり課	
4	キッズフェスタ&消防祭での普及啓発	(4) 食を推進する関係者の連携強化	〈1〉食育推進スローガンの普及と定着										100	花泉支所保健福祉課	一関市食生活改善推進員協議会 花泉支部	健康づくり課	
5	「互市」での普及啓発	(4) 食を推進する関係者の連携強化	〈1〉食育推進スローガンの普及と定着										100	花泉支所保健福祉課	一関市食生活改善推進員協議会 花泉支部	健康づくり課	
6	「いわて減塩・適塩の日」普及啓発	(4) 食を推進する関係者の連携強化	〈1〉食育推進スローガンの普及と定着										100	花泉支所保健福祉課	一関市食生活改善推進員協議会 花泉支部	健康づくり課	
7	川崎中学校3年生食育支援	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②食文化の継承				12					1	13	川崎支所保健福祉課	一関市立川崎中学校 一関市食生活改善推進員協議会 川崎支部	健康づくり課	
8	ひがしやま健康セミナー「食改コーナー」での普及啓発	(4) 食を推進する関係者の連携強化	〈1〉食育推進スローガンの普及と定着										99	東山支所保健福祉課	一関市食生活改善推進員協議会 東山支部	健康づくり課	
9	千厩中学校食育支援事業(2年A組)	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②食文化の継承				23					1	24	千厩支所保健福祉課	一関市立千厩中学校 一関市食生活改善推進員協議会 千厩支部	健康づくり課	
10	千厩中学校食育支援事業(2年B組)	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②食文化の継承				23					1	24	千厩支所保健福祉課	一関市立千厩中学校 一関市食生活改善推進員協議会 千厩支部	健康づくり課	
11	千厩中学校食育支援事業(2年C組)	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②食文化の継承				24					2	26	千厩支所保健福祉課	一関市立千厩中学校 一関市食生活改善推進員協議会 千厩支部	健康づくり課	
12	藤沢地域食生活改善推進員研修会での食育推進計画の周知	(4) 食を推進する関係者の連携強化	〈1〉食育推進スローガンの普及と定着							2			34	36	藤沢支所保健福祉課	一関市食生活改善推進員協議会 藤沢支部	健康づくり課
13	藤沢文化祭 食改展示コーナーでの普及啓発(リーフレット設置)	(4) 食を推進する関係者の連携強化	〈1〉食育推進スローガンの普及と定着										25	25	藤沢支所保健福祉課	一関市食生活改善推進員協議会 藤沢支部	健康づくり課
14	川崎中学校2年生食育事業	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②食文化の継承				20					1	21	川崎支所保健福祉課	川崎中学校 一関市食生活改善推進員協議会 川崎支部	健康づくり課	
15	千厩こどもキッチン	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			4						4	8	千厩支所保健福祉課	一関市食生活改善推進員 千厩支部 一関市社会福祉協議会千厩支部 磐清水市民センター	健康づくり課	
16	野菜で健康習慣inむろね つくる×たべる×つながる	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進										290	290	室根支所保健福祉課	一関市食生活改善推進員協議会 室根支部 道の駅むろね	健康づくり課
17	食生活改善推進員リーダー研修会	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進							3		23	26	大東支所保健福祉課	一関市食生活改善推進員協議会 大東支部	健康づくり課	

No.	取組の名称	目標	取組	対象とするライフステージ別の参加者数									実施機関	連携機関	担当課
				①乳児	②幼児	③学童	④思春期	⑤青年期	⑥壮年期	⑦高齢期	⑧不明	合計			
18	興田地区放課後子ども教室 子ども食育教室	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			38			10	11		59	大東支所保健福祉課	一関市食生活改善推進員協議会 大東支部	健康づくり課
19	健康教育・健康相談「フレイル予防(低栄養予防の食事)」9～12月	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進						5	456		461	健康づくり課		健康づくり課
20	在宅栄養ステップアップ研修会	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進							51		51	県食改協両磐支部	岩手県栄養士会 一関市食生活改善推進員協議会	健康づくり課
21	市民健康講座「腸内環境の活性化で免疫力アップ」	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進						5	31		36	健康づくり課		健康づくり課
22	岩手県立一関工業高等学校3学年対象の食育講話「生活習慣病を予防する食生活」	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			109						109	岩手県立一関工業高等学校	一関市役所	健康づくり課
23	生協会員への健康教育「フレイル予防(食事編)」	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進						13	13		26	いわて生活協同組合	一関市役所	健康づくり課
24	シニアの健康長寿サポーター育成講座「フレイル予防(食事編)」	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進						2	7		9	一関市シニア活動ブラザ	一関市役所	健康づくり課
25	学生実習 講話「メタボリックシンドロームを改善する食生活」	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			20						20	健康づくり課	岩手県立一関看護学院	健康づくり課
26	学生実習 講話「メタボリックシンドロームを改善する食生活」	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			12						12	健康づくり課	一関市医師会付属一関看護専門学校	健康づくり課
27	地区健康教育・健康相談での食育スローガンの普及	(4) 食を推進する関係者の連携強化	〈1〉食育推進スローガンの普及と定着						1	24	187	212	大東支所保健福祉課		健康づくり課
28	かぼちゃ料理作り(デイケア 精神障がい者社会参加支援事業)	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進							5	1	6	大東支所保健福祉課		健康づくり課
29	高齢者一体的事業での低栄養予防の普及啓発(大東支所)	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進							105		105	大東支所保健福祉課		健康づくり課
30	収穫したお米でおにぎりをつくろう!	(2) 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			46						46	一関あおば保育園		子育て支援課
31	「だし」を知ろう!	(3) 食の安全と循環や環境への理解の促進	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			12						12	大原保育園		子育て支援課
32	ピザ作りクッキング	(2) 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			8						8	摺沢保育園		子育て支援課
33	焼き芋会	(2) 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			30						30	摺沢保育園		子育て支援課
34	枝豆もぎ	(2) 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			12						12	猿沢保育園		子育て支援課
35	クッキング(お月見に供えるお団子づくり)	(2) 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	⑤食文化の継承			10						10	洪民保育園		子育て支援課
36	夏野菜を育てて見よう～ミニトマト～	(2) 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			2						2	曾慶保育園		子育て支援課
37	夏野菜カレークッキング	(2) 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			5						5	曾慶保育園		子育て支援課
38	さつまいも収穫を楽しもう!	(2) 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			9						9	曾慶保育園		子育て支援課

No.	取組の名称	目標	取組	対象とするライフステージ別の参加者数								実施機関	連携機関	担当課	
				①乳児	②幼児	③学童	④思春期	⑤青年期	⑥壮年期	⑦高齢期	⑧不明				合計
39	トウモロコシの皮むき	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②農業体験等を通じた生産者との交流		8							8	奥玉保育園		子育て支援課
40	まるごとすいかを味わおう	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②農業体験等を通じた生産者との交流		9							9	奥玉保育園		子育て支援課
41	とうもろこしの皮むき体験	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援		10							10	川崎保育園		子育て支援課
42	枝豆の収穫	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援		8							8	川崎保育園		子育て支援課
43	食育講話「お米の話、おにぎりができるまで」	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援		22							22	川崎保育園	川崎支所保健福祉課	子育て支援課
44	川崎文化祭展示	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進									0	川崎保育園		子育て支援課
45	イモンブラン作り(サツマイモを使ったクッキング)	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援		9							9	川崎保育園		子育て支援課
46	カレークッキング	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援		10							10	新沼保育園		子育て支援課
47	とうもろこしの皮むきをしよう。	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援		20							20	藤沢こども園		子育て支援課
48	カレークッキング	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援		12							12	黄海こども園		子育て支援課
49	バランスよく食べよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践		5							5	認定こども園一関南保育園		子育て支援課
50	クッキング「餃子の皮で野菜ピザ作り」	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援		14							14	幼保連携型認定こども園幸町保育園		子育て支援課
51	食育指導「食事のマナーについて」	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進		63							63	認定こども園花泉保育園		子育て支援課
52	食育指導「食事のマナーについて」	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進		63							63	認定こども園花泉保育園		子育て支援課
53	ドーナツを作ろう。地域の方々にプレゼントしよう(2日間)	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進		9					16		25	きらりの森保育園	八幡町第5区民	子育て支援課
54	フルーツポンチ。白玉団子を作ろう。	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援		9							9	きらりの森保育園		子育て支援課
55	食育巡回支援(興田保育園)	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践		31			1	5			37	大東支所保健福祉課	大原保育園	子育て支援課
56	食育巡回支援(大原保育園)	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践		50			3	7			60	大東支所保健福祉課	大原保育園	子育て支援課
57	猿沢地区放課後子ども教室 子ども食育教室	(2)食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			29					5	34	大東支所保健福祉課	猿沢市民センター	子育て支援課
58	やまのめ放課後子ども教室「枝豆を育てよう」	(2)食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			27				8		35	山目市民センター		いきがいづくり課
59	やまのめ放課後子ども教室「サツマイモを育てよう」	(2)食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			67				12		79	山目市民センター		いきがいづくり課

No.	取組の名称	目標	取組	対象とするライフステージ別の参加者数										実施機関	連携機関	担当課
				①乳児	②幼児	③学童	④思春期	⑤青年期	⑥壮年期	⑦高齢期	⑧不明	合計				
60	放課後子ども教室あこぎ子ども広場「秋の特別プログラム 火おこし&芋の子汁づくり体験」	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			8		3	2	6			19	山目市民センター(赤荻分館) 一関学習交流館	赤荻良寿会(老人クラブ)	いきがいづくり課
61	家族で楽しむクッキング講座	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			2				2			4	中里市民センター		いきがいづくり課
62	生活福祉部会事業 手打ちそば教室	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進							14			14	滝沢市民センター		いきがいづくり課
63	男のそば打ち教室	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進						4	6			10	真柴市民センター		いきがいづくり課
64	楽しいパン教室	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進					5	9	17			31	真柴市民センター		いきがいづくり課
65	夏の野菜料理教室	(3) 食の安全と循環や環境への理解の促進	②地産地消の推進								4		4	厳美市民センター		いきがいづくり課
66	青少年事業「クリスマススイーツをつくろう」	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			6							6	厳美市民センター		いきがいづくり課
67	いただきます上映会	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	③食文化の継承	2	3	4		5	7	13		6	40	荻荘市民センター		いきがいづくり課
68	放課後子ども教室わくわく広場「サツマイモとトマトの苗植え体験」	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			30				3	5		38	涌津市民センター		いきがいづくり課
69	放課後子ども教室わくわく広場「七夕おやつ作り」	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			46			5	4			55	涌津市民センター		いきがいづくり課
70	放課後子ども教室わくわく広場「サツマイモ掘り体験」	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			30				3	7		40	涌津市民センター		いきがいづくり課
71	旬を楽しむ会(料理教室)	(3) 食の安全と循環や環境への理解の促進	②地産地消の推進					3	9	54			66	油島市民センター	一関市食生活改善推進協議会 花泉支部(油島地区) りかちゃん工房の音とうふ 滝庭の関 駒庄 JAIいわて平泉	いきがいづくり課
72	花泉子ども教室「梨もぎ体験」	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④農業体験等を通じた生産者との交流			29					8		37	花泉市民センター	野田梨園	いきがいづくり課
73	第1回 ふれあい給食	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進							11	116		127	花泉市民センター	花泉地区福祉推進協議会 花泉地区民生児童委員 はずみ会・行政区長他	いきがいづくり課
74	おいまつべビマクラス～シーズン2～「ママとベビーのための料理教室」	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援	3	4			7					14	老松市民センター		いきがいづくり課
75	猿沢地区放課後子ども教室 食育教室	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			36							36	猿沢市民センター	大東支所 保健福祉課	いきがいづくり課
76	せんまや里山塾「食べて健康コース」	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進					4	11	36			51	奥玉市民センター	千厩支所 保健福祉課 (株)マリアージュ 一関赤十字奉仕団	いきがいづくり課
77	第1回男の料理教室	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進							2	8		10	松川市民センター	一関市食生活改善推進協議会 東山支部	いきがいづくり課

No.	取組の名称	目標	取組	対象とするライフステージ別の参加者数										実施機関	連携機関	担当課	
				①乳児	②幼児	③学童	④思春期	⑤青年期	⑥壮年期	⑦高齢期	⑧不明	合計					
78	室愉会 ポップコーンプロジェクト	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進		86									86	室根市民センター	室根こども園 こまどり保育園	いきがいづくり課
79	青少年事業「親子、祖父母クッキング教室」	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④食文化の継承			9		1	2	5				17	藤沢市民センター	一関市食生活改善推進協議会 藤沢支部	いきがいづくり課
80	男女共同参画事業「料理教室」	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進					1	2	6				9	藤沢市民センター		いきがいづくり課
81	「夏休み勉強会&こどもキッチン」の開催	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			9	3		2	2				16	磐清水市民センター	一関市社会福祉協議会千厩支部 千厩ロータリークラブ 一関市食生活改善推進協議会 千厩支部	いきがいづくり課
82	「Xmasコンサート&こどもキッチン」の開催	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			4		2	5	12				23	磐清水市民センター	一関市社会福祉協議会千厩支部 千厩ロータリークラブ 一関市食生活改善推進協議会 千厩支部	いきがいづくり課
83	チャレンジ弁当	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践		21									21	舞川幼稚園		学校教育課
84	ぱくぱく弁当・食育訪問	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践		17									17	真滝幼稚園	学校教育課	学校教育課
85	もりもり弁当	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践		8									8	巖美幼稚園		学校教育課
86	年長組親子給食センター見学・試食会	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進		9				6	2				17	赤荻幼稚園	西部第二学校給食センター	学校教育課
87	チャレンジ弁当・食育訪問	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践		16									16	孤禅寺幼稚園	学校教育課	学校教育課
88	スイートポテトを作ろう	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進		9									9	弥栄幼稚園		学校教育課
89	食育訪問	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践		10									10	摺沢幼稚園	学校教育課	学校教育課
90	いつでもパワー全開 朝食について(生活習慣病)	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			106								106	一関小学校	真滝学校給食センター	学校教育課
91	野菜のみみつ	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			99								99	一関小学校	真滝学校給食センター	学校教育課
92	すくすく育て わたしのからだ	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			73								73	山目小学校	西部学校給食センター	学校教育課
93	大豆はかせになろう	(3) 食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及			43								43	赤荻小学校	西部第二学校給食センター	学校教育課
94	献立の説明と会食	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			18								18	中里小学校	修紅短期大学 西部第二学校給食センター	学校教育課
95	栄養教諭による食に関する指導 感謝の気持ち・食べ物の働き・おやつを取り方・五大栄養素・献立づくり	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			117								117	滝沢小学校		学校教育課
96	食べて元気に	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			58								58	萩荘小学校	西部学校給食センター	学校教育課

No.	取組の名称	目標	取組	対象とするライフステージ別の参加者数								実施機関	連携機関	担当課		
				①乳児	②幼児	③学童	④思春期	⑤青年期	⑥壮年期	⑦高齢期	⑧不明				合計	
97	栄養教諭による食に関する指導 朝食をしっかり食べよう・五大栄養素・栄養バランスの 良い献立づくり	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			123							123	南小学校	真滝学校給食センター	学校教育課
98	給食センターの人に感謝の気持ちを伝えよう	(2)食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			41							41	弥栄小学校	真滝学校給食センター	学校教育課
99	かみかみチャレンジ	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			96							96	蕨美小学校		学校教育課
100	さつまいもパーティーをしよう	(2)食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②農業体験等を通じた生産者との交流			22							22	舞川小学校	JAIいわて平泉	学校教育課
101	学校栄養職員による食に関する指導 給食について知ろう・砂糖の量・生活リズムを整えよう・おやつ の食べ方について・成長期と食事	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			65							65	永井小学校	花泉学校給食センター	学校教育課
102	学校栄養職員による食に関する指導 給食について知ろう・なんでも食べよう・砂糖の量・生活 リズムを整えよう・おやつ の食べ方について・成長期と食事	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			115							115	涌津小学校	花泉学校給食センター	学校教育課
103	米作り体験	(2)食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②農業体験等を通じた生産者との交流			20							20	涌津小学校	涌津土地改良区	学校教育課
104	完食調べ	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及			115							115	涌津小学校		学校教育課
105	保健体育委員会によるペーパーサート「まる子ちゃんのかむかむ家族で健康に」	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			40							40	油島小学校	花泉学校給食センター	学校教育課
106	学校栄養職員による食に関する指導 給食について知ろう・砂糖の量・生活リズムを整えよう・おやつ の食べ方について・生活習慣病の予防	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			110							110	花泉小学校	花泉学校給食センター	学校教育課
107	もち米・大豆の栽培と餅を食す会	(2)食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②農業体験等を通じた生産者との交流			87							87	老松小学校	地域住民	学校教育課
108	学校栄養職員による食に関する指導 給食について知ろう・砂糖の量・生活リズムを整えよう・おやつ の食べ方について・生活習慣病の予防	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			69							69	金沢小学校	花泉学校給食センター	学校教育課
109	栄養教諭による食に関する指導 元気な体をつくるための食事について考えよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			14							14	大原小学校	大東学校給食センター	学校教育課
110	栄養教諭による食に関する指導 よく噛んで食べよう・生活習慣病ってなあに？	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			76		2	1				79	大東小学校	大東学校給食センター	学校教育課
111	栄養教諭による食に関する指導 生活習慣病を予防するにはどうすればよいのでしょうか	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			14							14	興田小学校	大東学校給食センター	学校教育課
112	栄養教諭による食に関する指導 生活習慣病を予防するにはどうすればよいのでしょうか	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			10							10	猿沢小学校	大東学校給食センター	学校教育課
113	千厩じまん！ とうふをつくらう	(2)食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	③食文化の継承			60					12		72	千厩小学校	千厩支所保健福祉課 食生活改善推進員協議会 千厩支部	学校教育課
114	栄養教諭による食に関する指導 生活習慣病を予防するにはどうすればよいのでしょうか	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			40							40	東山小学校	大東学校給食センター	学校教育課

No.	取組の名称	目標	取組	対象とするライフステージ別の参加者数								実施機関	連携機関	担当課	
				①乳児	②幼児	③学童	④思春期	⑤青年期	⑥壮年期	⑦高齢期	⑧不明				合計
115	食育授業・ふれあい給食・学校給食レシピコンテストへの応募・親子給食試食会	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			166						166	室根小学校	千厩学校給食センター	学校教育課
116	食べ物のほたらき知り、どのようの食べればよいか考えよう ふれあい給食	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			23						23	川崎小学校	千厩学校給食センター	学校教育課
117	栄養教諭による食に関する指導 給食について知ろう・なんでも食べよう・砂糖の量・生活リズム・おやつのおやつの食べ方・成長期と食事	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			83		5	11	19		118	黄海小学校	千厩学校給食センター	学校教育課
118	豆腐作り体験・収穫感謝の会	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④食文化の継承			118						118	黄海小学校	食生活改善推進員 耕作支援隊	学校教育課
119	味覚の授業・調理指導	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			51					17	68	新沼小学校	レストランあさひや	学校教育課
120	受験期における食事の大切さ	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			73						73	一関中学校	花泉学校給食センター	学校教育課
121	学級のTVを活用した放送指導	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			475						475	磐井中学校	西部学校給食センター	学校教育課
122	一関地方に伝わる料理から郷土料理を理解しよう	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④食文化の継承			171						171	磐井中学校	西部学校給食センター	学校教育課
123	ハートの一品(栄養面)えお考えた昼食を買おう	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			3						3	磐井中学校	西部学校給食センター	学校教育課
124	郷土愛を育む食育交流事業(野菜ソムリエ等外部講師との交流)	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			68						68	萩荘中学校	学校教育課 野菜ソムリエ	学校教育課
125	栄養教諭による食に関する指導 健康に良い食習慣・スポーツと栄養・受験期の栄養	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			65						65	巖美中学校	西部学校給食センター	学校教育課
126	お弁当を作ろう	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			17						17	舞川中学校	真滝学校給食センター	学校教育課
127	基本の調理を覚えよう	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			8						8	舞川中学校	真滝学校給食センター	学校教育課
128	スポーツ医学講座	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			30		7				37	舞川中学校	県文化スポーツ部スポーツ推進課	学校教育課
129	生産者の方の講話と給食交流会	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④農業体験等を通じた生産者との交流			47						47	大東中学校	大東地産地消の会 大東学校給食センター	学校教育課
130	スポーツのための効果的な食事のポイント	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			18						18	興田中学校	大東学校給食センター	学校教育課
131	食生活改善推進員さんと作る郷土料理(具だくさん汁はっと、かんづき)	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④食文化の継承			72			2	16		90	千厩中学校	一関市食生活改善推進員協議会 千厩支部	学校教育課
132	食育標語コンクール応募	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			104						104	東山中学校		学校教育課
133	地域の食材と郷土料理づくり	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④食文化の継承			33						33	室根中学校	室根支所保健福祉課 一関市食生活改善推進員協議会 室根支部	学校教育課
134	郷土のお菓子作り	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④食文化の継承			13	1	1	3			18	川崎中学校	川崎支所保健福祉課	学校教育課
135	地域の食材と郷土料理	(2) 食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④食文化の継承			52	2	12				66	藤沢中学校	藤沢支所保健福祉課 食生活改善推進員協議会 藤沢支部	学校教育課

No.	取組の名称	目標	取組	対象とするライフステージ別の参加者数 ①乳児②幼児③学童④思春期⑤青年期⑥壮年期⑦高齢期⑧不明								実施機関	連携機関	担当課		
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧				合計	
136	第39回磐井河原いものこ会	(2)食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④食文化の継承									654	654	磐井河原いものこ会 実行委員会	いわて平泉農業協同組合 いちのせきニューツーリズム協議会	地産地消・外商課
合計				5	669	2,519	1,498	45	175	1,165	1,602	7,678				

資料 2-3

(1) 令和4年度食育の日(毎月19日)の取組

No.	取組の名称	目標	取組	対象とするライフステージ別の参加者数									実施機関	連携機関	担当課	
				①乳児	②幼児	③学童	④思春期	⑤青年期	⑥壮年期	⑦高齢期	⑧不明	合計				
1	成人講座「旬を楽しむ会」(料理教室)移動教室	(2)食を通じてコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進							2	6		8	油島市民センター	鮮魚シタボ	いきがいづくり課
2	食育の日 レシピ配布活動	(4)食を推進する関係者の連携強化	(1)食育推進スローガンの普及と定着									280	280	一関市食生活改善推進員協議会藤沢支部		健康づくり課
3	町内放送での食育の日の呼びかけ	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成									2794	2794	一関市食生活改善推進員協議会藤沢支部 藤沢支所保健福祉課		健康づくり課
4	大豆もやしを育てて食べてみよう!	(2)食を通じてコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			28							28	東山こども園		子育て支援課
5	皮をむいたら何が出る?	(2)食を通じてコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			29							29	東山こども園		子育て支援課
6	三色食品群の栄養について考えよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			24							24	黄海こども園		子育て支援課
7	調理員の食育訪問	(2)食を通じてコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			32							32	新沼保育園		子育て支援課
8	自分の体を知ろう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進			10							10	認定こども園一関南保育園		子育て支援課
9	お楽しみクッキング	(2)食を通じてコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			9							9	きらりの森保育園		子育て支援課
10	お楽しみ会食会	(2)食を通じてコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			17							17	真滝幼稚園	水沢給食センター	学校教育課
11	食育訪問	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			16							16	赤荻幼稚園	学校教育課	学校教育課
12	お楽しみ弁当	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			9							9	弥栄幼稚園		学校教育課
13	朝ごはんチェック	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			615							615	一関小学校		学校教育課
14	昼の放送	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			473								山目小学校		学校教育課
15	昼の放送・残食点検	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及			185							185	中里小学校		学校教育課
16	レッツけんこう生活しゅうかん	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			140							140	滝沢小学校		学校教育課
17	朝食チェック	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			372							372	南小学校		学校教育課
18	かみかみチャレンジ	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援			291							291	赤荻小学校		学校教育課

19	朝ごはんチェック	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成															96	96	厳美小学校		学校教育課		
20	食育の日の放送	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援																0	弥栄小学校		学校教育課		
21	給食委員会によるクイズ・献立紹介・残食調べ 栄養教諭による肥満傾向児への指導	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援															76	76	永井小学校	花泉学校給食センター	学校教育課		
22	朝食摂取状況調査	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成															115	115	涌津小学校		学校教育課		
23	誕生日給食	(2)食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進															32	32	油島小学校		学校教育課		
24	食育の日の放送指導	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援															129	129	花泉小学校		学校教育課		
25	給食マナーチェックの実施	(2)食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進															87	87	老松小学校		学校教育課		
26	食育の日の放送	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援															79	79	金沢小学校		学校教育課		
27	カミカミ大作戦 よくかんでたべよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援															95	95	大原小学校		学校教育課		
28	食育の日昼の放送	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援															239	239	大東小学校	大東学校給食センター	学校教育課		
29	『旬』の食材 シルエットクイズ	(2)食べ通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進															60	60	興田小学校		学校教育課		
30	給食時間の昼の放送	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援															60	60	猿沢小学校		学校教育課		
31	完食調べ	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及															215	215	東山小学校		学校教育課		
32	掲示物による食育指導・給食時間・学級活動による 毎月の指導	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援															83	83	黄海小学校		学校教育課		
33	給食の放送・“かみかみカード”の取組	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援															36	36	新沼小学校	千厩学校給食センター	学校教育課		
34	給食指導実施状況調査への協力	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及															68	68	一関中学校	花泉学校給食センター	学校教育課		
35	給食放送	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援															70	70	厳美中学校	西部学校給食センター	学校教育課		
36	給食時間の昼の放送	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援															34	34	舞川中学校	真滝学校給食センター	学校教育課		
37	毎月の重点献立に関する指導及び掲示物による指導	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援															173	173	大東中学校	大東学校給食センター	学校教育課		
38	給食センター重点献立の紹介放送	(1)望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進															50	50	興田中学校		学校教育課		
39	給食当番活動の指導	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援															54	54	川崎中学校	千厩学校給食センター	学校教育課		
合計													0	174	3,478	449	0	2	6	3,074	6,710			

令和5年度の食育の取組状況について

1 食育推進事業

- ・ 食育月間（6月）の取組 67件 資料3-1

2 表彰関係

- ・ 農林水産省 第7回食育活動表彰
食育推進ボランティアの部消費・安全局長賞受賞（団体）京津畑自治会
- ・ 岩手県食育貢献者表彰
（団体）黄海小学校耕作支援隊（黄海小学校より推薦）**決定**

活動分野 学校等の教育機関における児童、生徒等に対する活動（農作業体験等）

活動内容

平成6年から、黄海小学校で米作りを行う学習を始めた。それに伴い本団体は、子どもたちの米作りを支援する目的で設立し会員数は5名。子どもたちは、田植え体験や収穫体験をとおして、農業に対する理解を深めている。耕作支援隊は、田起こしから、田植え、水田の管理、そして秋の収穫までの一連の農作業を支援している。

○令和5年度食育月間(6月)の取組

No.	取組の名称	目標	取組	対象とするライフステージ別の参加者数								実施機関	連携機関	担当課							
				①乳児②幼児③学童④思春期⑤青年期⑥壮年期⑦高齢期⑧不明																	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧				合計						
1	リーフレット配布によるバランスのとれた食事の普及啓発	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践								130		130	東部健康推進室	一関市食生活改善推進員協議会 藤沢支部 藤沢支所市民福祉課	健康づくり課					
2	看護学生研修会	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援							43				一関市医師会付属一関看護専門学校、 岩手県立一関高等看護学院	健康づくり課	健康づくり課					
3	食生活改善推進員育成研修会	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	(2)食育推進関係者の交流及び食育活動の推進								49	3		健康づくり課	公益財団法人味の素ファンデーション	健康づくり課					
4	食育巡回支援(大原保育園)	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践									44	4	5		53	北部健康推進室	大原保育園	こども家庭課 児童保育課		
5	食育講話(大原保育園内研修)	(4)食を推進する関係者の連携強化	③健康寿命の延伸につながる食育の推進										10			10	北部健康推進室	大原保育園	こども家庭課 児童保育課		
6	食育巡回支援(洺民保育園)	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践										3	5		26	北部健康推進室	洺民保育園	こども家庭課 児童保育課		
7	野菜はどこになるのかな?	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援									11				11	大原保育園		こども家庭課 児童保育課		
8	給食を残さず食べよう。野菜の成長に興味を示そう。	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援										6			6	曾慶保育園		こども家庭課 児童保育課		
9	JA青年部さんとの野菜の苗植え	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②農業体験等を通じた生産者との交流									26				26	新沼保育園	JALいわて平泉藤沢地域 青年部・婦人部 JALいわて平泉職員	こども家庭課 児童保育課		
10	給食の試食	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援								3	38				41	82	西光寺保育園		こども家庭課 児童保育課	
11	ふれあい農園 野菜・苗植え活動～地域の人とかかわりをおして～	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②農業体験等を通じた生産者との交流										15			2	5	22	黄海こども園	コメリ藤沢店	こども家庭課 児童保育課
12	食べ物の旬を知ろう	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	②地産地消の推進														28	28	認定龍潭寺こども園		こども家庭課 児童保育課
13	食べ物に触れよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援								1	30					31	31	認定龍潭寺こども園		こども家庭課 児童保育課
14	箸の正しい持ち方を覚えよう	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	⑤食文化の継承														39	39	認定こども園 一関南保育園		こども家庭課 児童保育課
15	お箸の正しい持ち方の実施	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②農業体験等を通じた生産者との交流														31	31	認定こども園 赤荻保育園		こども家庭課 児童保育課
16	「いろんな味の体験」の開催	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援														13	13	認定こども園 赤荻保育園		こども家庭課 児童保育課
17	収穫したタマネギを給食で食べよう!	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援														14	14	社会福祉法人たんぽぽ会 たんぽぽこども園		こども家庭課 児童保育課
18	食事のマナーについて	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進														48	48	認定こども園 花泉保育園		こども家庭課 児童保育課

19	お好み焼きを作ろう	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援	3	6				4			13	きらりの森保育園		こども家庭課 児童保育課
20	バクバクピカピカ月間チェック表の配布	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成		14							14	丸喜の家にこここ保育園		こども家庭課 児童保育課
21	保護者への食育についての啓発(食育便り)	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援								20	20	舞川幼稚園		こども家庭課 児童保育課
22	サツマイモ苗植え	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及		20							20	舞川幼稚園		こども家庭課 児童保育課
23	保育参観食育指導	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援		24			4	3	1		32	真滝幼稚園	こども家庭課	こども家庭課 児童保育課
24	お楽しみ会食	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進		24							24	真滝幼稚園		こども家庭課 児童保育課
25	食育指導・弁当指導	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援		28			7	4	1		40	赤荻幼稚園	こども家庭課	こども家庭課 児童保育課
26	野菜の栽培	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及		8								摺沢幼稚園		こども家庭課 児童保育課
27	3色食品群について知ろう。	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践		16							16	カトリック清心幼稚園		こども家庭課 児童保育課
28	一関市医師会付属一関看護専門学校学生実習「一関市の母子栄養支援(講話及び調理実習)」	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援						22			22	一関市医師会付属一関看護専門学校	健康づくり課	こども家庭課 児童保育課
29	家庭教育学級講話「いのちを紡ぐ「食」～食卓で子どもを育てる～」	(1)望ましい食習慣の形成と定着	④若い世代が食に関心を持ち健全な食生活を送るための支援		8			17	1			26	猿沢市民センター 猿沢公民館	こども家庭課	いきがいつくり課
30	狐禅寺子屋(こぜんじ・てらこや)こぎつね学級料理教室	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進		7							7	狐禅寺市民センター		いきがいつくり課
31	パン&スイーツ作り教室	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進						6			6	真柴市民センター		いきがいつくり課
32	成人講座 旬を楽しむ会(料理教室)	(3)食の安全と循環や環境への理解の促進	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進						1	9		10	油島市民センター	(有)一関ミート	いきがいつくり課
33	おいまつベビマクラス「ママとベビーのための料理教室」	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①食の安全と循環や環境に関する正しい知識の普及	3	1			3	1			8	老松市民センター		いきがいつくり課
34	成人学級「梅干しづくり教室」	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②地産地消の推進						2	7		9	老松市民センター		いきがいつくり課
35	せんまや里山塾食べて健康コース	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践					1	11			12	奥玉市民センター	健康こども部東部健康推進室	いきがいつくり課
36	どんな食べ方がいいかな生産者との交流給食	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	②農業体験等を通じた生産者との交流		2	31					26	59	一関地方有機農業推進協議会	北部農業技術開発センター	生産流通課
37	おやつとり方	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			95						95	一関小学校	真滝学校給食センター	学校教育課
38	どんな食べ方がいいかな生産者との交流給食	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			90			3			93	山目小学校	西部学校給食センター 産直あいあい	学校教育課
39	はし名人になろう	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	③食文化の継承			48						48	赤荻小学校	西部第二学校給食センター	学校教育課
40	やさしいすき！なかよしいさくせん！	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			30						30	中里小学校	西部第二学校給食センター	学校教育課

41	好ききらいをしないでなんでも食べよう(保護者参観)	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			19	16					35	滝沢小学校	真滝学校給食センター	学校教育課
42	食育ピクトグラムによる各学年での指導	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			340						340	南小学校		学校教育課
43	好ききらいをしないでなんでも食べよう 食べ物のほたらきを知って元気な体を作る食事をしよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			11						11	弥栄小学校	真滝学校給食センター	学校教育課
44	食べることの大切さについて(タブレットを活用した授業)	(2)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			55						55	菖荏小学校	西部学校給食センター	学校教育課
45	もちに関する見学体験	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			10						10	厳美小学校	道の駅厳美溪	学校教育課
46	好ききらいをしないでなんでも食べよう よくかんで食べよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			25						25	舞川小学校	真滝学校給食センター	学校教育課
47	給食について詳しく知り、好ききらいをしないでなんでも食べよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			80						80	花泉小学校	花泉学校給食センター	学校教育課
48	好ききらいをしないで食べよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			17						17	大原小学校	大東学校給食センター	学校教育課
49	食べ物のほたらき	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			36		1	2			39	大東小学校	大東学校給食センター	学校教育課
50	野菜のよさを知ろう～おいしく食べる工夫を考えよう～	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			7						7	興田小学校	大東学校給食センター	学校教育課
51	食に関する絵本読み聞かせと展示	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			53						53	興田小学校		学校教育課
52	野菜のよさを知ろう～おいしく食べる工夫を考えよう～	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			17						17	猿沢小学校	大東学校給食センター	学校教育課
53	給食ペロリカードへの取り組み	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			358						358	千厩小学校		学校教育課
54	もつと野菜となかよくなる 朝ごはんパワー 元気になろう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			72						72	東山小学校	大東学校給食センター	学校教育課
55	食べものほたらきを知り、元気な体をつくろう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			22						22	藤沢小学校	千厩学校給食センター	学校教育課
56	なんでもたべよう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			13						13	黄海小学校	花泉学校給食センター	学校教育課
57	たべものほたらきを知り、元気な体をつくろう	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			25						25	室根小学校	千厩学校給食センター	学校教育課
58	スポーツのための効果的な食事のポイント	(1)望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進			55						55	菖荏中学校	西部第二学校給食センター	学校教育課
59	給食放送	(1)望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践			64						64	厳美中学校	西部学校給食センター	学校教育課
60	生産者の講話と交流給食	(2)食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進			16	1	2	2			21	舞川中学校	産直あいあい真滝学校給食センター	学校教育課
61	朝食の役割と大切さ	(1)望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成			103						103	花泉中学校	花泉学校給食センター	学校教育課
62	運動と栄養の関わり	(1)望ましい食習慣の形成と定着	③健康寿命の延伸につながる食育の推進			74						74	大東中学校	大東学校給食センター	学校教育課

63	朝食の大切さ	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成				76	2				78	千厩中学校	千厩学校給食センター	学校教育課
64	カルシウムと鉄の働き	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践				39					39	東山中学校	大東学校給食センター	学校教育課
65	1年生ふれあい給食	(3) 食を通じたコミュニケーションによる豊かな人間性の形成	①コミュニケーションによる豊かな食育の推進				19					19	室根中学校	千厩学校給食センター	学校教育課
66	お弁当をつくろう	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	②主食・主菜・副菜をそろえ栄養バランスのとれた食事の実践				16					16	川崎中学校	千厩学校給食センター	学校教育課
67	朝食の大切さ	(1) 望ましい食習慣の形成と定着	①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される望ましい生活リズムの形成				55					55	藤沢中学校	千厩学校給食センター	学校教育課
合計				10	512	1,461	517	175	44	212	49	2,877			

<当 JA の食農教育活動>

1. バケツ稲づくり 今年度は 2 校
2. 稲作体験事業支援 今年度 8 校実施中
3. 野菜苗・種子無償提供・栽培支援 33 校 (幼稚園・小学校・清明支援)
4. 教育現場への出前事業 (豆腐作り、ミニトマトの育て方等)
5. 教育現場への教育副読本の提供
6. 小学校教職員家庭科教育部会研修支援
7. 「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの開催
8. わくわく親子広場 コロナ禍で令和 2 年度より中止
9. ちゃぐりんフェスタの開催

第7回食育活動表彰

● 事例集 ●



● 事例集の発行にあたって

2016年度から、農林水産省は「食育活動表彰」を立ち上げ、ボランティア活動、教育活動又は農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動を通じて食育を推進する優れた取組を表彰しています。

今回の表彰対象の活動は、第4次食育推進基本計画の重点事項を中心に

- (1) 生涯を通じた心身の健康を支える食育を推進する活動
- (2) 持続可能な食を支える食育を推進する活動
- (3) 「新たな日常」やデジタル化に対応した食育を推進する活動
- (4) その他の食育を推進する活動

としています。

表彰部門には、都道府県、政令指定都市、大学等からの推薦によるボランティア部門と、自薦応募も可能な教育関係者・事業者部門の2部門を設定しています。

今回は180件の事例の中から、特に優れた取組を行っている5件の団体に対して農林水産大臣賞、優れた取組を行っている13件に対して消費・安全局長賞及び特色ある取組を行っている5件に対して審査委員特別賞が授与されました。

受賞者の取組をまとめた本事例集は、地域で様々な食育活動を行っている方々の参考としていただけるよう作成いたしました。皆様の今後の食育活動をより一層充実したものにしてください。御活用いただければ幸いです。

2023年4月

農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課

● もくじ






- 第7回食育活動表彰審査委員会 委員 03
- 第7回食育活動表彰 講評 04

ボランティア部門 — 受賞団体の取組紹介 —

[食生活改善推進員の部]







-  熊本市食生活改善推進員協議会 [熊本県] 06
-  備前市栄養委員会 [岡山県] 07
-  鹿島市食生活改善推進協議会 [佐賀県] 08

[食育推進ボランティア の部]





-  シェアリンク茨木 [大阪府] 09
-  かけはしの会 [長野県] 10
-  東金市食生活改善会 [千葉県] 11
-  京津畑自治会 [岩手県] 12
-  沖縄大学管理栄養学科 子ども食堂サポートチーム [沖縄県] 13

教育関係者・事業者部門 — 受賞団体の取組紹介 —

[教育等関係者の部]

-  コミュニティカフェ・カフェゴッコ [富山県] 15
-  劇団からっぽ大作戦 (宝塚市教育委員会) [兵庫県] 16
-  きょうと食育ネットワーク [京都府] 17
-  NPO法人 劇場創造ネットワーク [東京都] 18
-  一般社団法人 和食文化国民会議 [東京都] 19
-  富士文化幼稚園 [愛知県] 20

[農林漁業者等の部]

-  AGRIBATON PROJECT [茨城県] 21
-  平塚市漁業協同組合 [神奈川県] 22
-  株式会社大地のMEGUMI [北海道] 23
-  わかやま農業協同組合 やろう会 [和歌山県] 24

[企業の部]

-  東京ガス株式会社 [東京都] 25
-  株式会社明治 [東京都] 26
-  カゴメ株式会社 [東京都] 27
-  株式会社日本アクセス [東京都] 28
-  日本マクドナルド株式会社 [東京都] 29



農林水産大臣賞



消費・安全局長賞



審査委員特別賞

●第7回食育活動表彰審査委員会 委員

相澤 啓一	長野県農村文化協会 事務局長
赤松 利恵	お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系 教授
秋田 昌子	すみだ食育goodネット 顧問
臼倉 正浩	公益社団法人 日本農業法人協会 監事
奥田 政行	株式会社オール・ケッチアーノ 代表取締役 アル・ケッチアーノ オーナーシェフ
倉本 善子	株式会社共同通信社 大阪企画事業部 主任
中嶋 康博	東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授

敬称略：50音順

● 第7回食育活動表彰 講評

審査委員長

中嶋 康博

＜ 東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授 ＞



第7回「食育活動表彰」では、全国都道府県等から推薦された180件を対象に審査を行い、その中から優れた23団体の食育活動を表彰することとなりました。受賞された皆様に心からお慶びを申し上げます。

審査委員会では審査基準に基づき、先進性、継続性、有効性、波及性、実践性の5つの観点から評価をし、さらに、以下についても審査委員で熟慮を重ねて検討を行いました。

- ① 対象活動が第4次食育推進基本計画の3つの重点事項の効果的な解決に資するものであるか。
- ② “地域における食の循環”全体の中における自らの活動の目的や目標を明確にし、企画、実施、評価までに関して地域との連携を踏まえて活動を進めているか。

「ボランティア部門」（食生活改善推進員の部）では、熊本市食生活改善推進員協議会が市内の小学生から高校生を対象に郷土食をテーマにした調理実習を続け、生徒たちの食体験を豊かにし、味覚の幅を広げる貴重な機会を提供してきました。「同部門」（食育推進ボランティアの部）では、大阪府のシェアリンク茨木が大阪北部地震で更地になった土地を畑として利用し、そこで年齢、性別、障がいの有無に関係なく食育体験に参加できる場を提供し、さらに自炊塾、防災講座、フードパントリーなど幅広い活動に取り組んでいます。

「教育関係者・事業者部門」（教育等関係者の部）では、富山県のコミュニティカフェ・カフェゴッコが地元の生産者から提供された旬の食材でのランチを提供するとともに、さらにカフェに集った人たちの食卓や料理教室を通じて食育から都市農村交流へと展開する活動を続けています。「同部門」（農林漁業者等の部）では、茨城県のAGRI BATON PROJECTが農業女子の活動から生まれた「主人公が朝ごはんから始まる旅を通して、食べ物の大切さや農業の面白さを経験し成長する」絵本を読み聞かせる食育活動を、オンラインコミュニティを通じて全国に広げています。「同部門」（企業の部）では、東京ガス株式会社が30年前にこども料理教室を始めて、それ以来暮らしに身近な「調理」を軸とした食育活動を積み重ね、さらに食と環境・エネルギー、食料資源の未来を考える活動へと発展させています。

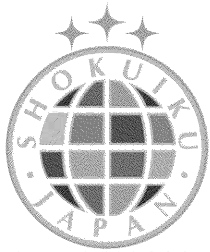
今年度は審査委員特別賞を新たに設けました。以上にご紹介した5つの部の大臣賞やそれ以外の13の局長賞において第4次食育推進基本計画の重点テーマを中心に包括的に食育に取り組んだ事例を表彰しましたが、この審査委員特別賞では、特定の課題に取り組んだり、食育の領域を広げたり、未来の姿を示したりしたアイデア溢れるユニークな取組を授賞対象とさせていただけたと考えております。

表彰された様々な食育活動をご覧いただくことで、国民の間に食育の意義と奥深さが理解されることを期待するとともに、家庭、学校や保育所等の教育現場、そして地域において食育のさらなる推進と新たな食育への挑戦が起こることを祈念しております。



受賞団体の取組紹介

ボランティア部門



第7回食育活動表彰
農林水産大臣賞

ボランティア部門【食生活改善推進員の部】

農林水産大臣賞

熊本市食生活改善推進員協議会

[熊本県：活動期間17年]

広がれ!! 次世代につなぐ、ふるさとの味

高校生への食育活動を継続して実施 動画を活用した食育の推進

食生活改善推進員が、地域の高校生に郷土の食材や郷土料理について伝える活動は広がりを見せており、当協議会の中心的な活動となっています。コロナ禍では、行政と協働で動画の作成・配信を行うことにより、新たな日常に対応した食文化継承のための食育にも力を入れています。

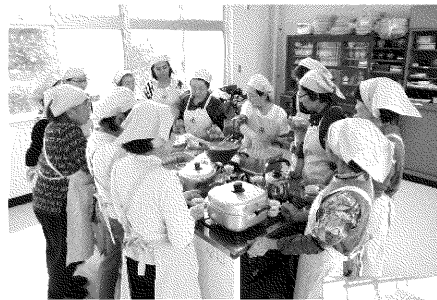
高校生への食育授業
「教えてもらった郷土料理を
将来、自分のことにも伝えたい」
という声も・・・



食育月間には
農政局・地元ナス農家・
保育園と共に動画で啓発

高校生の食の自立に向けて

これまで15年以上の長きにわたり継続的に、次世代を担う高校生を対象に、調理体験を通して食文化の継承のために活動を行うことにより、高校家庭科授業の年中行事として定着しています。この活動は、地域の学校へも広がり、若い世代が地域の郷土料理や食文化にふれ、持続可能な食の実現につながっています。授業においては、参加者の調理技術に合わせた内容及び目標を設定することで再現性を高め、一度きりにならない食文化の伝承をめざしています。



実習前のミーティングは
綿密に・・・



料理の細かなコツを
高校生に伝授

より多くの人に熊本の郷土料理を 伝えたい・・・

動画の作成においては、区役所栄養士と内容を検討し、料理の注意点、見せ方を確認しながら、初めて調理を行う人にもわかりやすい説明を行うよう心がけています。いきなり団子や辛子レンコンの調理動画は再生回数1.5万回を超えるなど、多くの方々に熊本の郷土料理を伝えることができました。

いきなり団子作りの
ポイントを紹介



さつまいもは8mm厚さに輪切りにし、水にさらす。
水をきって、面取りする。



ヘルスマイトとも呼ばれています

私たちが
わかりやすく
お伝えします!



この度は、光栄な賞をいただき大変うれしく思います。熊本市食生活改善推進員協議会は、2022年に発足30周年を迎えました。コロナの影響で活動の場が減っていますが、動画配信など新たな取組に挑戦することができました。この受賞を励みに、今後も会員一同力を合わせて食を通じた健康づくりに励んでいきたいと思えます。

熊本市食生活改善推進員協議会 一同



第7回食育活動表彰
消費・安全局長賞

ボランティア部門【食生活改善推進員の部】

消費・安全局長賞

びぜんし
備前市栄養委員会

[岡山県：活動期間51年]

災害時の食に備える普及啓発活動

市民に防災意識をもってもらおう！

備前市では災害に備えて3日分の備蓄をしている人は約2割と少なく、災害への危機意識が低いことが課題でした。そこで、防災は全市民に広げなければならない活動だと考え、子どもから大人まで、災害時だけではなく、平常時でも生きる力を身につけることができるよう普及・啓発活動を行っています。



園児・保護者が集まる
ところへ出向いて説明



3日分そろえたら
どのくらいの量だろう・・・

いざという時のために、今考えよう！

コロナ禍で思うように活動ができない中、防災の意識を高め、各家庭で災害時の備えを勧めるために、備蓄取扱店を開拓、3日分のおすすめ備蓄の展示会を開催しています。いつ起こるかかわからない災害に備え、家庭で備蓄食品や物品のローリングストックを活用し、食料備蓄の方法や調理方法、パッキングを普及し、災害時にも栄養バランスが良くなる食事法を知ってもらうための啓発活動を実施しています。



必要な備蓄量を
実際に見てみよう

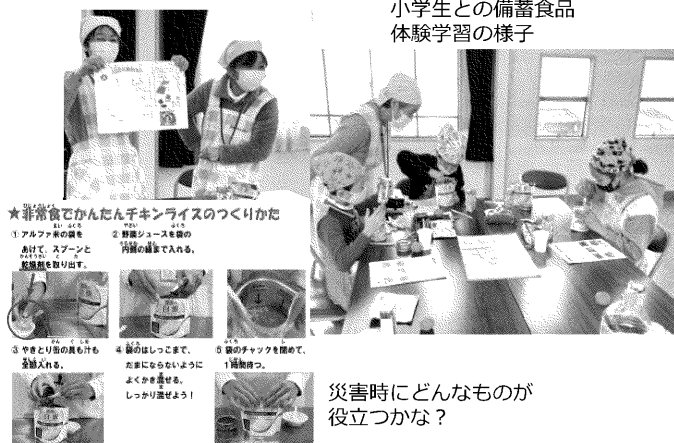


まずは委員が実践して
良さを実感！

**防災に対する意識を高めるために
体験を通じて学ぶ場をこどもたちへ提供**

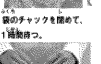
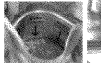
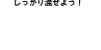
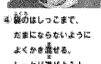
小学生を対象とした「備えよう！災害の前に～いざという時にできることを考えよう～」を開催し、災害時に自分で避難できるように、ハザードマップの見方を学んでもらっています。また、備蓄食品であるアルファ米、やきとり缶、野菜ジュースを使って調理実習を実施し、実際に備蓄食品を見て、作って、食べるという体験を通して、災害時でもバランスの取れた食事が食べられる・摂れるということを実験してもらっています。

小学生との備蓄食品
体験学習の様子



★非常食でかんたんキンライスのつくりかた

- 1 アルファ米の袋を
あけて、スプーンと
計量杯をかり出す。
- 2 野菜ジュースを袋の
付属の量まで入れる。



災害時にどんなものが
役立つかな？



この度は、素晴らしい賞をいただきありがとうございました。コロナ禍において、家庭での備蓄は災害時だけでなく、「療養期間の食事にも役立ったよ」という声もいただきました。災害が少ないといわれてきた岡山県ですが、「備えよう！災害の前に」を合言葉に、災害時に備えた活動を始め、3日分の備蓄をしている人の割合が2年間で22%から27%にアップしました。これからも地域の皆さんに食の大切さを伝えていきたいと思ひます。

備前市栄養委員会 一同



第7回食育活動表彰
消費・安全局長賞

ボランティア部門【食生活改善推進員の部】

消費・安全局長賞

かしまし
鹿島市食生活改善推進協議会

[佐賀県：活動期間34年]

さまざまな世代や環境の方を対象に、食の大切さを伝えるための普及活動

幅広い世代を対象に

保育所での「親子料理教室」、小学生への「次世代育成料理教室」、高齢者への「料理講習会」など、幅広い世代を対象とした活動を行っており、特にこどもへの食育に力を入れています。また、2021年からは、市の社会福祉協議会「こどもエール宅配事業」に参加し、こどもたちへのバランスのとれた食事の提供に協力しています。

こどもたちに
食の楽しさ・大切さを
伝えています



高齢者への
「料理講習会」

こどもたちへの食育活動

幼児期からの食育はとても大切なものと考えており、「親子料理教室」では小さい時から料理に興味を持ってもらうよう工夫し、「次世代育成料理教室」では包丁の使い方、調味料の計り方等を教えています。食に関心を持ってもらい、食の大切さや地域で伝承されてきた料理を知り、伝統的な食文化への理解を深めることができるよう心がけながら、食育活動を行っています。

親子料理教室の様子
みんなで作ってみよう！



包丁の使い方
きちんと教えています

フードバンクを活用した取組

食品ロスの解消をめざすとともに、フードバンクで集まった食材を活用し、必要な人たちへつなぐ取組として、食中毒予防に努めながら、食事に不安を抱えている子育て世代にバランスのとれた食事を提供するという事業を行っています。



ある日のメニュー
美味しそう！

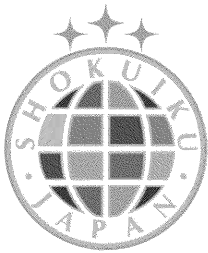


バランスのとれた食事を
こどもたちへ



行政と地域の皆さんの協力のもと、コロナ禍の中でも食育活動を続けた結果が実り、名誉ある賞をいただき大変嬉しく思っています。これからも食と健康を継続して、会員の元気な力となる様に努めてまいります。

鹿島市食生活改善推進協議会
会長 石田 雅子



第7回食育活動表彰
農林水産大臣賞

ボランティア部門【食育推進ボランティアの部】

農林水産大臣賞

いばらき
シェアリンク茨木

[大阪府：活動期間12年]

**食育講座・畑・自炊塾・防災活動・フードパントリー・シェアハウスなど、
食にまつわる様々な取組を通して、持続可能な地域を実現する活動**

ぬくもりの連鎖を次世代へ

私たちは子育て支援から始まった団体です。活動を通して子育ての悩みは孤立することから生まれることがわかりました。相談をするのは勇気がいりますが、「食」をテーマに活動すると気軽に参加でき、人と人とのつながりが生まれます。「食」は「命」につながります。命を輝かせることが究極の目的です。
年齢、性別、障がいの有無に関係なく、まずは畑から関わってもらいます。農作業には様々な行程があるので、全ての人に順番があります。食べることは生きることであり、食にまつわる様々な活動に参加することで人とつながり、元気になっていく活動です。



シェア（共有）し、リンク（つなげる）
次世代の輝きのために・・・

SNSを有効に活用

2010年9月「子育ての悩みを話そう」と、当時はまだ珍しいSNSを通して市民が集まったのが始まりです。以来、ミーティングや資料活用、イベントや講演会の周知、情報提供等もSNSを通して行っています。毎回、SNSで多くの感想や意見、悩みなどが届きます。寄せられたものについては、許可を得て原文のまま発信し、みんなで共有することにより、会員どうしのつながり・課題解決・地域での展開に役立てています。



講演会の様子



食育推進事業
「いばらき自炊塾」

みんなでつながる「みんなの畑」

大阪北部地震後に古民家の跡地が更地になり、市の関係機関・団体・地域住民を巻き込んで、みんなで一緒にガレキを取り除いて更地を耕し、たい肥を作って「みんなの畑」になりました。春の植え付け、夏や秋の収穫、それぞれの野菜の旬に合わせた収穫祭などのイベントや防災講座も実施し、地域でも定着した取組となっています。



土づくりからスタート
それぞれができることを
一生懸命に！



畑で行う防災講座



この度は栄えある賞をいただき、感謝いたします。生産者と消費者の相互理解や交流、地元食材の消費拡大が進むことを願い、食育活動に取り組んできました。
地元食材の新鮮さや美味しさに気付き、生産農家の想いや悩みに関心を寄せる方が一人でも増えるように、今後も地域の方々と一緒に取組を続けたいと思います。

シェアリンク茨木 一同



第7回食育活動表彰
消費・安全局長賞

ボランティア部門【食育推進ボランティアの部】

消費・安全局長賞

かけはしの会

[長野県：活動期間14年]

伝えたいふるさとの食文化・残したいふるさとの味

食と農をつなぐ「かけはし」として

当会は、千曲市役所で開講している『食と農の文化伝承講座』の修了者によって結成されています。食材の栽培技術や長い間培われてきた技や食べごとと文化など、幅広く伝承活動を行っています。特徴的な活動としては、8班に分かれての課題解決や目的別の活動の実施、1年間の活動の集大成として食の文化祭を主催し、実行しています。コロナ禍においては、おうち時間を有効に活用してもらうため、家で郷土料理作りができるよう、ローカルネットワークを活用し「かけはしチャンネル」として、毎月テーマを変えて食育動画を放映しています。



食と農の文化伝承講座の様子



親子deみそ作り講座

かけはしチャンネルの撮影
わかりやすく丁寧に



郷土料理講習会
料理から郷土を学ぶ



ふるさとへの誇りを100年先まで

活動の一年間の総まとめとして、世代と分野を超えて郷土食でつながることを目指し、「伝えたいふるさとの食文化・残したいふるさとの味」をテーマに、「食の文化祭」を開催し、活動報告、食に関する体験、郷土食のふるまい、かあちゃんの漬物の試食等を提供しています。



第9回
千曲市食の文化祭
の様子



箱膳（ほそぜん）体験の様子
食べものに感謝していただく



この度は栄えある賞を受賞出来たこと、大変光栄に思います。料理講習、出張講座、食育を普及するための広報活動が認められ大変嬉しく思います。会の名称のとおり、地域の食と農の文化を結ぶかけはしになれるよう、コロナに負けず、今後とも会員一同力を合わせて食育の推進に努めてまいります。

かけはしの会 一同



第7回食育活動表彰
消費・安全局長賞

とうがね し
東金市食生活改善会

[千葉県：活動期間51年]

特定保健指導とタイアップした減塩啓発事業
ーハイリスクアプローチ（高リスク群への行動変容アプローチ）から
ポピュレーションアプローチ（地域での健康づくりの推進）へー

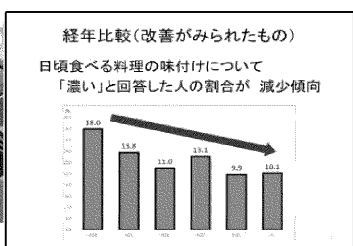
特定保健指導時のみそ汁塩分測定
～ハイリスクアプローチ～

当会は、市健康増進計画「とうがね健康プラン21（第2次）」に基づき、市の健康課題や時代に合わせた活動を行っています。東金市は循環器疾患による死亡が国や県に比較し高い状況から、減塩を柱とした事業を展開しています。その1つとして、特定保健指導時におけるみそ汁の塩分測定とアンケートを実施してきました。アンケートでは、日頃食べる料理の味付け、塩辛いもの（漬物・つくだに等）の摂取頻度、みそ汁の摂取頻度、食塩摂取目標量の認知等を把握し、その結果を地区の啓発活動に活かしたことで、みそ汁の塩分濃度や減塩意識の改善につながりました。



みそ汁塩分測定コーナー

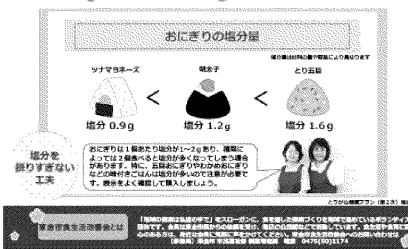
アンケート結果を経年比較



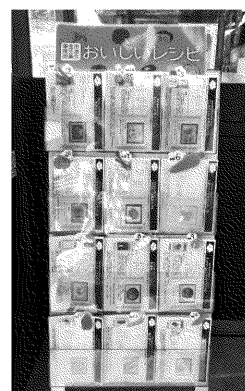
「おいしいレシピ」を毎月発行
～ポピュレーションアプローチ～

ハイリスクアプローチにより、みそ汁の塩分濃度や減塩に対する意識に改善がみられたことから、2020年度より減塩コラム付きの「おいしいレシピ」を毎月食育の日に合わせ、スーパーや保育所、道の駅等に設置するなど、市民全体への減塩普及活動等のポピュレーションアプローチを展開しています。「おいしいレシピ」表面では、市管理栄養士が千葉県の農業算出額が10位以内の食材を使って作成したレシピを掲載し、地産地消を啓発しています。また、裏面の減塩コラムでは、食塩摂取目標量の他、調味料・練り製品等、食品別に塩分量を提示し、わかりやすい塩分量の周知に努めています。

1日の食塩摂取量の目標値（成人）が0.5g引き下げられました
2020年度より新基準
男性7.5g未満 女性6.5g未満です



スーパー等に
おいしいレシピを設置



オンラインを活用した
食文化の伝承・衛生指導

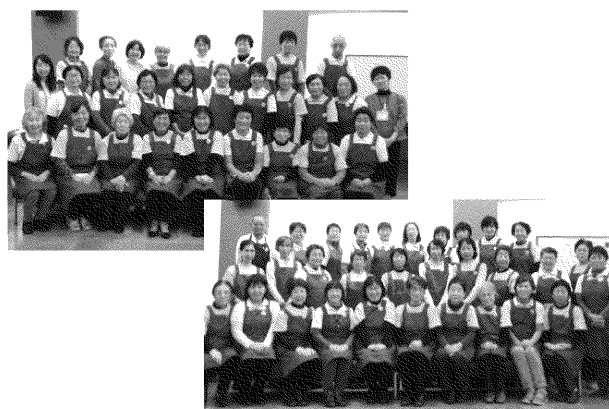
郷土料理である太巻き寿司の伝承にも取り組んでおり、オンラインで料理教室を実施しているほか、調理動画も作成し普及に努めています。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、手洗いチェッカーを使ったオンライン手洗い教室を実施し、正しい手洗い方法の啓発を行っています。



オンラインでの
手洗い講習

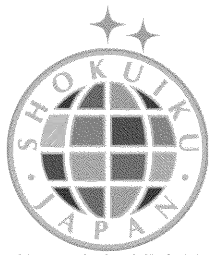


オンラインでの
郷土料理「太巻き寿司」教室



このたび名誉ある賞を頂戴し光栄です。
楽しく実行可能な技術を「お向かいさん、お隣さんへ」を合言葉に広げてまいりました。
今回の受賞を心の糧とし、今後も、市民の皆様の健康が続きますように活動してまいります。

東金市食生活改善会 一同



第7回食育活動表彰
消費・安全局長賞

ボランティア部門【食育推進ボランティアの部】

消費・安全局長賞

ぎょう つ はた
京津畑自治会

[岩手県：活動期間24年]

郷土料理伝承活動

～自らの“手弁当”からはじまる集落の活性化・地域づくり～

伝承活動で、自分たちへの励みにも

こどもから高齢者まで自治会の幅広い世代が参加し、郷土料理をテーマに調理し出展する「京津畑まつり『食の文化祭』」を長年開催し、一関地方に古くから伝わる郷土料理の継承の一助を担っています。「食の文化祭」をきっかけに起業した郷土食の女性加工グループ「やまあい工房」の活動は20年間継続され地域に活力をもたらしており、自治会も継続して支援しています。自治会が一丸となって進める取組は、食育の推進及び地域振興に大きく貢献しています。

小学校で
郷土料理教室を開催



「やまあい工房」による
郷土食講習会の様子

郷土食を通じた笑顔の交流

「食の文化祭」は、毎年度、集落の老若男女に参加を募り、実行委員会を立ち上げ、一人ひとりの声を大事に活かして取り組んでいます。自治会総出で郷土料理を調理・出展し、催事の来場者に普及啓発を図りながら、郷土料理の伝承活動を行っています。わずか40世帯、人口120人の小集落に約1,000人の人出でにぎわう食の祭りは、秋の“風物詩”と言われるようになっていきます。



県内外からの
多くの人でにぎわう
「食の文化祭」

郷土料理に工夫を加え、さらなる発展へ

食の文化祭を長年継続していく中で、かつての山里の食が再び脚光を受け、さらに現代風にアレンジされ、若者に「新鮮な食事」として見直されています。また、「やまあい工房」が、郷土食を工夫発展させ、弁当や総菜の加工販売・高齢者世帯への配食サービス、小中高校への出前講座など、多様な食の活動で地域の活力となっています。



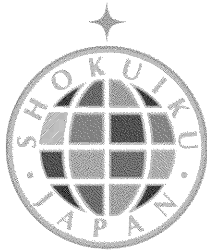
「懐かしい」が
「新しい」に！
郷土料理に再び注目

美味しいお弁当は
地域の活力に！



自治会では“なつかしい山里食の再発見”をテーマに、長年「食の文化祭」による交流イベントを開催してきました。このイベントを契機に起業した女性グループ「やまあい工房」のふる里の味は、県内外の皆さんの人気となっています。少子高齢化の進む現状ですが、受賞を励みに未来につなぐ郷土食の伝承と地域づくりに、これからも頑張っていきます。

京津畑自治会 会長 伊東 鉄郎



第7回食育活動表彰
審査委員特別賞

ボランティア部門【食育推進ボランティアの部】

審査委員特別賞

沖縄大学管理栄養学科 子ども食堂サポートチーム

[沖縄県：活動期間3年]

管理栄養学科学生による那覇市子ども食堂への食支援活動

一人の学生から始まった活動が 地域の未来を創る活動に

管理栄養学科の学生が那覇市にある子ども食堂で定期的に食事作りの手伝い、ひとり親世帯への手作り弁当の無償提供、また、コロナ禍にあつて子ども食堂のスタッフと子どもたちが楽しく調理体験ができる食育レシピ動画を制作し発信するなど、子どもたちに栄養バランスのとれた食事について支援できる活動を推進しています。県内初の管理栄養士の養成施設として、沖縄県のこどもの貧困に関する課題を那覇市の関係機関、地域の子ども食堂、ボランティア団体と協力して食の面から支援しています。



手作り弁当、おいしそう！

むつみふれあい広場で
子ども食堂の食事作り



地域とともに未来を創る

親、友達、先生、近所の高齢者以外との交流が少ない子どもたちにとって、学生との出会いは食の楽しさを学び、興味を持つ機会となっています。子ども食堂のスタッフにとっては、食・栄養について詳しい学生がお手伝いすることで、子ども食堂に活気が出て、いろいろな取組を積極的にできるようになっています。さらに、学生にとっても、子ども食堂は「子どもを中心とした多世代交流の地域拠点」であることを学ぶことができ、幅広い視野を持った管理栄養士の育成にもつながっています。

学生と地域がともに
教える・教わる



動画を見ながら調理実習する
子どもたち

いろいろな気づきを活動に活かして

毎年、「チャレンジ沖大生」の企画に応募し、子ども食堂を軸にした様々な活動を行っています。2020年度には、ひとり親世帯への栄養面での支援活動として、手作り弁当無料配布の取組を行いました。2021年度には、「Zoomでつながる食育の輪」と題し、子どもたちの食の自立支援を目指して料理レシピ動画を作成し、3ヶ所の子ども食堂をZoomでつなぎ、調理実習を行いました。



お弁当作りの様子



「Zoomでつながる食育の輪」
動画を見ながら調理実習



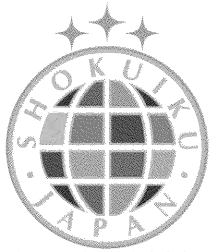
このたびは、「地域のために、食とおして何か役に立ちたい」という思いで始めた学生の活動が、名誉ある賞をいただき大変光栄に思います。これからも地道に、若い力と発想で地域の皆様と一緒に子ども食堂のサポートを続けていきたいと思っております。

沖縄大学管理栄養学科
子ども食堂サポートチーム 一同



受賞団体の取組紹介

教育関係者・事業者部門



第7回食育活動表彰
農林水産大臣賞

教育関係者・事業者部門【教育等関係者の部】

農林水産大臣賞

コミュニティカフェ・カフェゴッコ

[富山県：活動期間13年]

野菜本来の美味しさを知るための料理実習と農業の大切さを学ぶ活動

畑と食卓・市民のこころをつなぐ場所

地元で生産された農産物を使わずに育てた米・野菜のみを食材とするカフェレストランです。地場産食材にこだわった料理実習と併せて、食育講義を子育てサークルから大学まで広く行っています。農業体験や出張朝市を通して生産者と消費者の橋渡しをしており、食・農・環境・福祉・被災者支援などの地域課題に取り組む市民の交流の場でもあります。



地元産の旬の食材を使ったメニュー



出張朝市で生産者と消費者の橋渡しを行う

富山の食の魅力を伝えるために

当初、講義中心だった活動は「食材によってそんなに味が違うのなら食べてみたい」という感想を受けて、現在は料理実習を伴う講義という形で行っています。講義内容は、参加者の意見を踏まえて改善を行い、回を追うごとに楽しく分かりやすいものになるよう努めています。料理実習の際の説明では、手順を図解するなど、分かりやすさに配慮しています。また、SNSを活用し広く情報発信を行い、つながりを広げています。

こだわりの富山野菜で料理実習



手軽に美味しい料理を子育てサークルにて満開の笑顔！

安全で美味しい「食材」へのこだわりが出発点

農産物を使わずに育てた旬の野菜を使って「野菜くずドレッシング」を作り、それをかけて地元の旬の野菜を食べるといった料理教室を通して、食の安全・環境・地元の旬の野菜の美味しさを体験してもらっています。併せて、その野菜を作った生産者を直接訪問する農業体験も。土作りからの農業にかかる思いを聴き、消費者のニーズも伝え、顔の見える関係を作っています。こうして野菜の生産から料理を食べるまでの食の循環の流れの全てを体験できる場を提供しています。



土作りから体験野菜ができるまでの流れを知る



皮までおいしい野菜に興味津々…



この度は栄えある賞をいただき、感謝いたします。生産者と消費者の相互理解や交流、地元食材の消費拡大が進むことを願い、食育活動に取り組んできました。地元食材の新鮮さや美味しさに気づき、生産農家の想いや悩みに関心を寄せる方が一人でも増えるように、今後も地域の方々と一緒に取組を続けたいと思います。

コミュニティカフェ・カフェゴッコ
代表 広野 美代子

劇団からっぽ大作戦 (宝塚市教育委員会)

[兵庫県：活動期間10年]

宝塚市の学校給食調理員による オリジナル創作食育劇の公演やレシピ動画制作などの食育推進活動

演劇を通じて楽しく食育を

宝塚市での食育イベントや小・中学校で食育劇の活動を行っています。また、子どもたちが家庭で食育を学べるよう、動画配信などオンラインを用いた活動も行っています。コロナ禍をきっかけに、家庭で食べてほしい給食献立を紹介するレシピ動画を配信するほか、宝塚市のコミュニティFM番組にレギュラー出演し、給食の魅力を紹介しています。



食育劇を見て
苦手なものが
食べられるようになった
生徒も！



楽しく学べると好評！
親子で参加できるイベント

次代を担う世代育成のために・・・ デジタルを活用した取組

食育劇は、日々の給食時間の様子を見た給食調理員が、子どもたちの食に対する問題点の改善のためにオリジナル脚本で「食」について楽しく学べる内容となっています。給食時間の黙食も徹底されるようになりました。そんな中でも、子どもたちが給食を楽しく食べられるように、いち早くデジタル化に対応した食育を推進すべく、食育動画の制作やSNSを使った配信を始めました。また、栄養学を学ぶ大学生には、食育実践演習の講師として、劇団の動画制作体験を通じて学校での食育について講義し、次世代の育成にも携わっています。



調理員ユーチューバー！

テーマ曲もオリジナル！



おうちでも「おさらい給食」を

宝塚のおいしい給食について家族で会話をしてほしいことから、人気の給食メニューの作り方動画を作成し、SNS等を活用しながら広く発信しています。「春雨とレタスのスープ」は、保護者から作り方の問い合わせがあったことから、おさらい給食として動画紹介するに至りました。



春の定番献立
「春雨とレタスのスープ」

調理員が美味しく作る
ポイントを伝授



現役为学校給食調理員である私たちは、そのときどきの状況に応じて、立ち止まることなく子どもたちにメッセージを伝えることを意識してきました。給食調理と同じく、愛と勇気と手間隙かけて、これからも宝塚市のみなさん、全国のみなさんに楽しい食育を伝え続けていきたいと思ひます。

劇団からっぽ大作戦 一同



第7回食育活動表彰
消費・安全局長賞

教育関係者・事業者部門【教育等関係者の部】

消費・安全局長賞

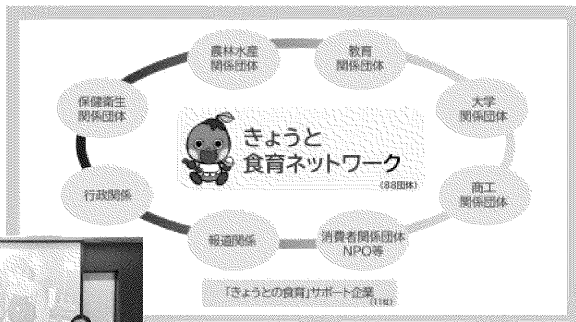
きょうと食育ネットワーク

[京都府 : 活動期間15年]

府内の食育に取り組む関係者が「きょうと食育ネットワーク」に集い、デジタルの特性を生かしながら、府民運動として食育を推進

時間や距離の制約を超える食育の提供

88団体が連携し府民運動として食育を推進しています。オンラインシステムを活用することで、総会や情報交換会の参加者は幅が広がり、動画を活用した「できるから始まる楽しい食育」トークショーでは子育て世代の参加が増加、「食のみらい宣言・実践活動コンクール」では、参加者自身の発信に繋がり高い波及効果が得られるSNS応募を新設しました。



きょうと食育ネットワーク



ムービーを交えた
オンラインでのトークショー

家事をしながらでも視聴できる工夫

「できるから始まる楽しい食育」では、従来の会場参加型イベントで届きにくかった子育て世代に対して、望ましい食習慣の定着や食文化の継承に向けて、オンライン開催や動画、SNS等を効果的に活用しています。食育トークショーでは、テーマや参加者に応じて京都ならではの多彩な登壇者を迎えることで、参加者の関心を喚起し幅広い参加に結び付けることができました。動画では、こどもと挑戦できるレシピを紹介し、オンラインを活用した情報発信を行うことで、若い世代も気軽に参加できる環境作りを行っています。

いつでも・どこでも
見られる！

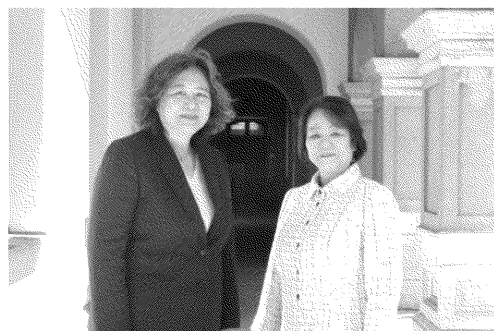
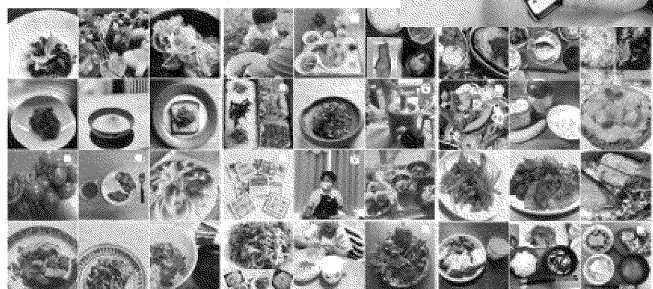


こどもと一緒に
チャレンジ！

各取組を一連のものとして展開

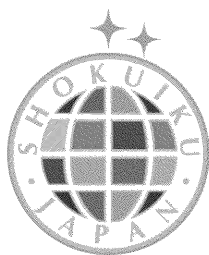
「食のみらい宣言・実践活動コンクール」では、食に関する目標と実践活動を府民自らがSNSで発信できる場を設けることで、自発的に楽しく食に挑戦し互いの取組を共有する機会を提供する等、高い波及効果が得られる工夫をしています。食育動画・食育トークショー・食のみらい宣言コンクールを一連の流れとして企画するとともに、繰り返し視聴可能な環境を整備しています。

食のみらい宣言実践活動コンクール
SNSによる応募を開始



きょうと食育ネットワークは、2007年度に結成、現在、府内の88団体が、「朝ごはんを食べよう」を統一テーマに食育を推進しています。2020年度から、レシピ動画、トークショーの配信やSNSを活用したコンクールなどデジタルで連動しながら取り組んでいます。今回の受賞を励みに、一層、連携を深めながら推進してまいります。

きょうと食育ネットワーク 一同



第7回食育活動表彰
消費・安全局長賞

教育関係者・事業者部門【教育等関係者の部】

消費・安全局長賞

NPO法人 劇場創造ネットワーク

[東京都：活動期間6年]

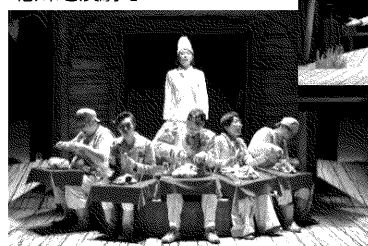
演劇公演 座・高円寺レパートリー

『フランドン農学校の豚 ～注文の多いオマケ付き～』

歌とダンスで楽しさの中に食育を

宮沢賢治の童話『フランドン農学校の豚』と『注文の多い料理店』をもとに作った演劇。フランドン農学校で飼われている豚が食肉となるまでの物語と、狩りに来た紳士が山猫に食べられそうになる物語を一つに合わせ、歌とダンスを盛り込み、こどもから大人まで「食べる・食べられる」をテーマに食について考える事を促す作品です。こどもたちに命の大切さや「いただきます/ごちそうさま」の意味について考えてもらうため、毎年、杉並区の小学4年生を演劇鑑賞教室として招待したり、中学生以下には無料公演を実施しています。

いただきますと
ごちそうさまの
意味を演劇で



重くなりがちなテーマも
明るい歌とダンスで

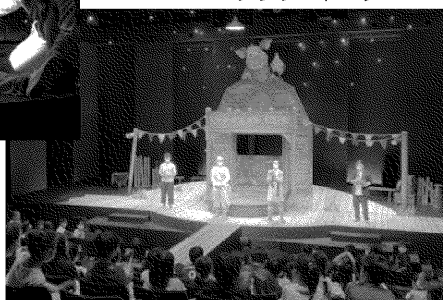
命と食について考えるきっかけに

こどもから大人までの誰もが、同じ気持ちでテーマに向き合ってもらいたいという思いを持ちながら活動しており、学校公演後は、毎回、こどもたちと俳優によるアフタートークを行い、命と食のつながりについてみんなで考える時間を設けています。公演後のアンケートでは「学校や家庭での食べ残しが減った」「好き嫌いをしないように食べたい」といった声が寄せられています。



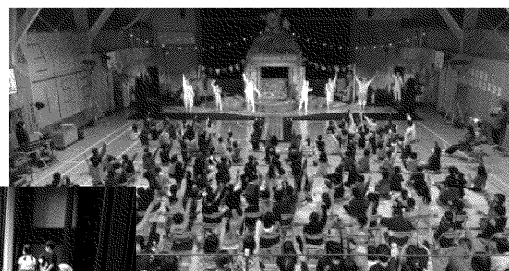
学校や家庭でも
話題になるように！

感想や質問が飛び交う
アフタートーク



演劇を通して こどもたちに発信

2017年初演以来、年々こどもたちの観劇の機会を広げ、2020年度以降は毎年、全国の小中学校にも出かけ、観劇を楽しみながら「食」について考える機会を提供することができました。観劇後には、こどもたち自身の食生活や感想を聞いたり、作品に関する質問に答えたりしながら、命を食べるといふことについて一緒に考える時間を持ち、作品づくりにも活かしています。また、小中学校でワークショップを行い、出演者と一緒にごちそうさまの食体験を演劇にして「いただきます/ごちそうさま」について考える機会につなげています。



劇場を飛び出し全国の小中学校へ！

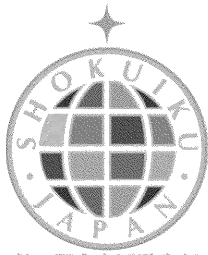


ワークショップの様子



様々な世代や、各地に住む人たちの日常の中にありたいと願いながら演劇活動する身としては、誰の生活の中にもある食育という観点から賞をいただけたことは、とても励みになります。これからも食育を通じ、普段劇場や演劇にこられない方にも通ってもらえるよう、繋げていきたいと思っています。本当に有難うございました。

NPO法人 劇場創造ネットワーク 一同



第7回食育活動表彰
審査委員特別賞

教育関係者・事業者部門【教育等関係者の部】

審査委員特別賞

一般社団法人 和食文化国民会議

[東京都：活動期間8年]

11月24日は和食の日 ～だしで味わう和食の日～

「触れる・味わう・実感する」 を和食給食で体験

当団体は、食育に関わる「民間団体」「行政」「教育・保育現場」が三位一体となり活動を行っています。全国の小中学生、未就学児を対象に11月24日「和食の日」を中心に和食給食献立にさせていただき、その汁物などで、和食の味わいの要である本物のだしとうま味を実感し「和食」とは何かを考えるきっかけを提供するとともに、郷土料理や風土を学ぶきっかけにも繋がっています。

だしのうま味とは？
知ってから食べると
さらにおいしい！



幼少期から「うま味」を実感

幼少期は、食の大切さを学ぶ上でも、また味覚形成の上でも大変重要な時期です。家庭で伝統的な和食文化を伝えることが非常に難しくなっている状況の中で、学校給食という「場」において、こどもたちが本物のだしを味わい、「うま味」を実感し、「和食」とは何かを考える機会を提供しています。また、運動した活動として出前授業も展開し、こどもたちの味覚形成に貢献しています。

出前授業
プロの料理人の話に
興味津々のこどもたち



楽しみながら学べる
動画コンテンツも
提供しています

減塩やSDGs視点での事例紹介

日本の伝統的な食生活のポイントとして塩分摂取が挙げられています。「だし」のうま味を活用することで、満足感が得られることから、減塩につながる事例等を収集し、パンフレットに記載することで横展開を図っています。また、SDGs視点でのテーマとして、小中学生用のチラシには「地産地消」を取り上げ、「和食」の価値をSDGsの視点からも学ぶ機会を提供しています。

令和3年度「だして味わう和食の日」アンケート結果

実施後のアンケートでは、ほとんどの参加校が、「参加よかった」と回答しています。また、来年度の参加については、「参加したい」、「参加を検討したい」との回答を数多くいただいています。



令和3年度「だして味わう和食の日」ご意見(減塩について)

「だし」をしっかりとることで、減塩で美味しく食べることができます。「だし」の味で食味が埋められます。この活動を続けて欲しいです。
・薄味や「だし」を活かした味付け等、食塩について考えるきっかけになりました。

わかりやすく
情報発信！

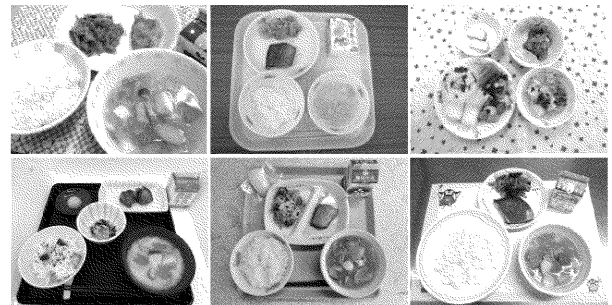
「地産地消」のSDGsへの貢献！



地産地消なら

- 輸送距離短縮で温室効果ガス削減
- 近い新鮮な食材を採集する
- 販売時間も長くでき食品ロスも削減

ポスターやチラシを使用して「和食」の価値を伝えていきます

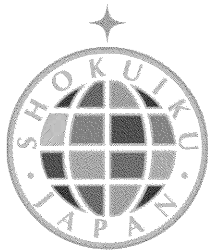


「だして味わう和食の日」は、学校給食に関わる全ての皆様のご理解とご協力のもとに成り立っている活動です。今回の栄えある受賞は、その皆様の献身的な取組にご評価いただいたものと改めて感謝申し上げます。

今後とも多くのこどもたちに「和食」に触れる機会を提供してまいります。

引き続き、ご支援・ご協力をお願いいたします。

一般社団法人 和食文化国民会議



第7回食育活動表彰
審査委員特別賞

教育関係者・事業者部門【教育等関係者の部】

審査委員特別賞

富士文化幼稚園

[愛知県：活動期間13年]

食農 食育 ～大切な命をいただく～

体験を通じて命を大切に作る心を育む

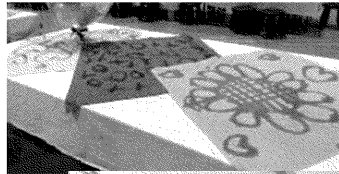
園内外で米や野菜を育て、収穫し、食べる体験をすることで、人間は生きていくために、他の命をいただいていることを知り、命を大切に作る心を育みます。野菜などの生長を見守る中で、そこに集まる昆虫などの生きものの命についても学んでいます。親子で体験する機会も作ることで、親子で一緒に命をいただくことの意味を考えることができ、より深い学びにつなげています。



みんなで植えた苗が
こんなに大きく
育ちました！



玉ねぎの皮で染めたよ♪



食育推進
全国大会
の様子



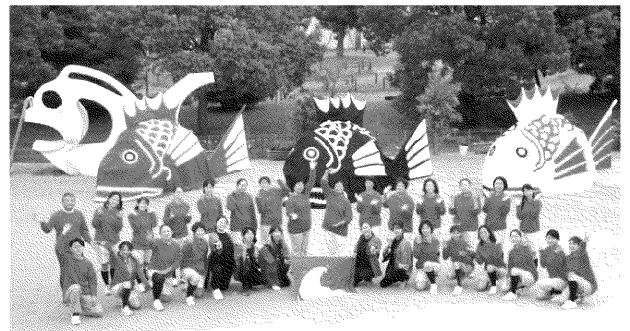
楽しい・おいしい から広げる学び

自分たちで実際に体験することで、「楽しい」や「おいしい」を感じてもらうことに加え、手作りの「野菜のひみつ」を使って食材への興味を引き出したり、絵本の読み聞かせを行い生き物の命の大切さを伝えたりしています。また、味噌作り、味噌開き体験も取り入れ、食文化の伝承活動も行っています。

「野菜のひみつ」で
食材について楽しく学ぶ

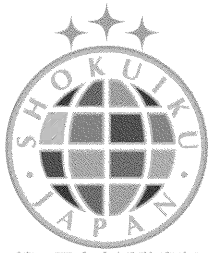


親子で
味噌作り体験！



この度の受賞をスタッフ一同、とても誇りに感じ、深く感謝申し上げます。
今後も食べ物となった生き物に、「命をくれてありがとう」「いただきます」「ごちそうさま」と敬い、感謝する日本の大切な言葉の意味を、こどもたちに伝えるとともに、強くたくましいこどもたちを育てていきます。

富士文化幼稚園 園長 笹野 大栄



第7回食育活動表彰
農林水産大臣賞

教育関係者・事業者部門【農林漁業者等の部】

農林水産大臣賞

アグリ バトン プロジェクト
AGRI BATON PROJECT

[茨城県：活動期間3年]

**農業の魅力がいっぱいの絵本を使い、地元農業女子による食育活動を全国展開
誰でも食育活動ができる情報を共有するオンラインコミュニティ**

農業や食を身近に感じてもらうために

農業女子発案で「農業って楽しい！」を伝えるため、『農業の魅力いっぱいの絵本を製作して、次世代を担う日本中のこどもたちへおくるろ！』というプロジェクトのもと、絵本を製作・出版して、全国にいるメンバーがそれぞれの地域でこどもたちへ絵本の読み聞かせや農家による野菜のお話を通して食育活動を行っています。農業の魅力や食の大切さを伝える絵本を読み聞かせすることにより、農業や食を身近に感じてもらい、持続可能な社会の実現をめざしています。

農業の魅力を伝える
読み聞かせの様子



**自分の地域で、自分でできる食育活動
～全国をつなぐ波に～**

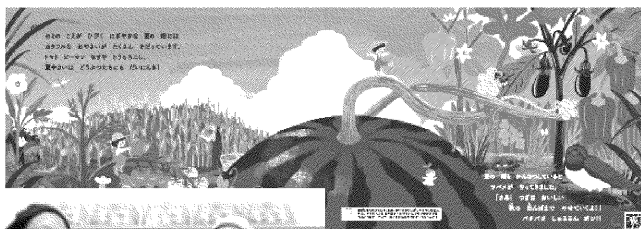
絵本という、誰にでも取り組みやすいツールを使い、読み聞かせするだけで一農家の女性でも食育活動を行うことができます。さらに地元のこどもたちに、地元の農産物の魅力を直接伝えることができるという「農家による食育活動」を実現可能にしました。地元の農産物について消費者へ食育として発信したいが何をしても良いかわからない、または一人では不安な女性農業者の背中をおして、食育活動を取り組みやすいものとして全国へ広げています。農業者が誰でも気軽に小学校等で食育の授業ができるように資料を作成し、食育活動を取り組みやすいものとして広めています。



小学校での読み聞かせの様子

**デジタルをフルに活用
絵本の中からつながる農業体験**

いつでもどこでも利用できるオンラインミーティングやライブ配信をフル活用し、SNSや情報伝達アプリにより全国各地の農業者とオンラインコミュニティを作り活動しています。また、絵本にはQRコードを掲載しており、そこから実際の畑の風景を体験したり、オリジナル楽曲の歌や手遊び動画が視聴できたり、Webサイトへリンクして農業体験ができる農場を紹介するなど、絵本を読むだけではなくリアルな体験・食育へとつなげています。



QRコード入りの絵本

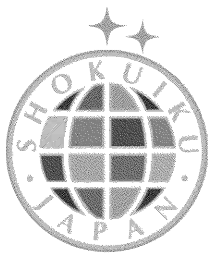


手遊びが楽しい
オリジナル楽曲



あさごはんを食べるときには、思いだしてごらん。
「パタパタしゅるん ポン！」
もっともつごはんがおいしくなる はたぼんのまほうだよ。
絵本を読んであげるだけ。
みんなのチカラで、日本の未来が変えられる！！
女性でも、女性じゃなくても、農家でも、農家じゃなくても。
小さな食育の一步を、私たちはサポートします。

AGRI BATON PROJECT 一同



第7回食育活動表彰
消費・安全局長賞

教育関係者・事業者部門【農林漁業者等の部】

消費・安全局長賞

平塚市漁業協同組合

[神奈川県：活動期間13年]

小学校での「ふれあい給食」による低未利用魚の普及活動

地元で獲れた魚をこどもたちに

当漁協では、地元産業を学習する小学5年生を対象に、漁業者が市内小学校に直接出向き、地元の漁業や魚に関する授業を行った後、児童と一緒に魚メニューの給食を囲む「ふれあい給食」を行っています。「ふれあい給食」では、地元で漁獲される、漁獲量が多いものの市場価値の低い小サバやシイラ等の低未利用魚を利用することにより、児童の漁業への理解を深めてもらうとともに、低未利用魚の普及にもつなげています。

この日はシュモクザメ給食
おいしそう！



シイから南蛮給食

シイから：シイラの唐揚げ

印象に残る・学びを深める授業を

「ふれあい給食」では、こどもたちに、より親近感を持って貰うため、若手漁業者を中心に派遣するとともに、平塚の漁業PRキャラクター「ひらつかタマ三郎」もたびたび参加しています。授業では、目にする機会のない漁業の現場の臨場感を感じてもらうため、出港から沖での操業、漁港に戻ったの水揚げ状況まで、一連の漁業の状況を動画で紹介するとともに、実物の漁具や魚を持ち込んだり、漁業者による魚のさばき方を実演するなどの工夫をしています。

間近で見る
魚のさばき方実演
に大興奮



漁具を
実際に見てみよう！

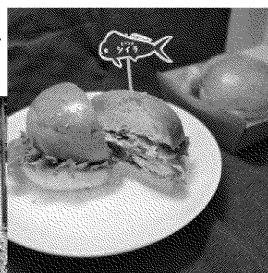
学習の成果を地域にも還元

本活動の中で、5年生が総合学習の時間で「平塚のシイラ」について調べPR動画を作成、6年生が児童考案レシピによる「シイラ給食」を実現するとともに、シイラカルタを作成し地域に寄贈を行う学校もありました。また、児童の要望に応えた事業者が、給食レシピの商品化を行っています。

シイから南蛮バーガー



シイラカルタ完成！

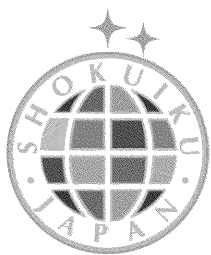


平塚の
シイラ プロジェクト
HIRATSUKA SHIRA PROJECT



この度は、受賞できとてもうれしいです。推薦いただいた平塚市教育委員会をはじめ、積極的に参画いただいた小学校の皆様にも感謝です。取り組みを通し生徒たちから、漁業の課題を解決していくエネルギーをもらっています。今後も地魚を通し、皆さんが幸せになっていくことを想い、事業展開していきます。

平塚市漁業協同組合 一同



第7回食育活動表彰
消費・安全局長賞

教育関係者・事業者部門【農林漁業者等の部】

消費・安全局長賞

株式会社大地のMEGUMI

[北海道：活動期間16年]

有機農業を通じた栽培体験や学校給食への食材提供、 料理教室や出前授業など地域へ波及する食育

大人になっても地元産の農産物を

有機農業の「ツライ!」「スゴい!」を伝え、地元農産物のファンに! 有機農業ならではの苦労や、なぜ自分たちにとって安全安心で環境にもやさしいのかを、実際に体験することで理解してもらい、将来、子どもたちが町を離れても、店頭で大空町の農産物が売られていたら、選んでもらえるように地元農産物を好きになってもらいたいと、活動を始めました。また、町内小中学校における学校給食用食材として、年6回、有機栽培のアスパラガスやかぼちゃなどを無償提供しています。



有機農業って何?を体験



農業から街の活性化へ

無消毒の種の播種、除草剤に頼らない手による草取り、マルチビニールの回収など、人にも環境にもやさしい有機農業を実践しながら、安全安心な農作物を育てることを学ぶことができます。食育授業を受けた子どもたちの親（農家）が、かぼちゃの直播栽培を実践してくれるようになるなど、町内においても環境にやさしい農業が少しずつ広がってきています。また、食育授業において子どもたちと接することで、農業の魅力をしっかり伝えられるようになったなど、受け入れ側の農家も自身の成長を実感しており、町内の様々な農家が食育に関わるようになりました。さらに、小学生以外に対しても、シェフや大学教授などのスペシャリストを招き、料理教室や有機農業の授業を行う特別授業を行い、地元農産物の良さを伝えています。



地元食材を使った
調理実習

栽培から消費 一連の流れを学ぶ

町内の小学校6年生の「総合的な学習の時間」において、有機圃場における「かぼちゃ栽培体験」授業を行っています。授業では、播種から収穫までの圃場実習のほか、収穫したかぼちゃを道の駅で開催される「輝農祭」で子どもたちが販売し、栽培から消費までの一連の流れを経験します。子どもたちが作ったかぼちゃは、町内外のたくさんの方々に食されており、売上金は被災地の復興支援に充てています。

たくさんの
かぼちゃを収穫♪



道の駅で
収穫したかぼちゃを販売



行政の企画で始めた本活動が、このような賞を受賞できたことに子どもたちをはじめ学校関係者、地元農業者、校外授業に協力いただいた多くの専門家の方々に心から感謝しています。今後も、子どもたちとともにかかわる人たちみんなが成長していけるような活動を継続、継承していきたいと思います。

株式会社大地のMEGUMI
代表取締役 赤石 昌志



第7回食育活動表彰
審査委員特別賞

教育関係者・事業者部門【農林漁業者等の部】

審査委員特別賞

わかやま農業協同組合 やろう会

[和歌山県：活動期間6年]

食農応援隊「やろう会」の食育推進活動

最初はみんな農業未経験者

JAの男の料理教室に参加した修了生たちが、「やりたい事をやりたい時にやり、人生を楽しもう」と「やろう会」を発足。最初は自己の趣向の集まりでしたが、他県の男性グループとの交流会によって、地域に貢献する活動が無かったことに気づき、大半が農業未経験者の会員がトウモロコシを種まきから収穫まで初めて行いました。地域住民からの反響の大きさと子どもたちの笑顔により「やりがい」と「活力」「食農の大切さ」を実感し、各会員が栽培に関する知識を高め、収穫体験の開催や学校への栽培指導巡回につなげ、子どもたちの食への興味や関心を深めるきっかけとなっています。



地域・子どもたちの未来のために！

栽培の苦勞や収穫の喜びを伝える

市内特産の大根やブロッコリーの野菜の袋栽培体験学習に取り組む小学校や幼稚園に対し、JAと共に各学校等を巡回し、教諭と連携しながら植え付け指導や生育状況の確認、栽培管理のアドバイスをを行うほか、児童に指導しやすいよう教諭向けの栽培マニュアルを作成し配布しています。本学習での野菜収穫後は、児童が栽培成果を取りまとめた「壁新聞」を作成したり、栽培した野菜の展示会を行ったり、JA女性組織と連携して収穫した野菜を使った調理実習も行い、児童の興味を引き出し、学びにつなげています。

野菜の袋栽培
巡回指導



栽培した野菜の
展示会と
壁新聞の展示



「美味しい」につなげる野菜収穫体験

普段口にする農作物がどのように育てられているのか、栽培の手間や苦勞を伝えることで「食」と「農」に関心を持つきっかけを作ることを目的に、親子野菜収穫体験を行っています。圃場で収穫したてのトウモロコシは生のまま食べ、その甘さを実感してもらい、冬野菜（大根・ブロッコリー等）は、JA女性会と連携し、野菜の本来の味が伝わるよう工夫しながら調理し、参加者に試食頂いています。

トウモロコシの収穫体験

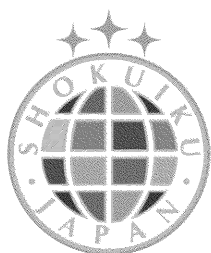


冬野菜（白菜・キャベツ・大根・
ブロッコリー）の収穫体験



定年退職後の農業素人集団の私たちが食農教育活動に取り組んで来たことが評価され、受賞できたことは大変うれしく思います。これからもJAを応援しながら、野菜の収穫体験や栽培指導など食農教育活動を通じて地域が活性するよう頑張っていきます。

わかやま農業協同組合
やろう会 一同



第7回食育活動表彰
農林水産大臣賞

教育関係者・事業者部門【企業の部】

農林水産大臣賞

東京ガス株式会社

[東京都：活動期間30年]

多様な世代の未来をつむぐ食の取組をめざして

「調理」を軸とした食育活動

東京ガスは、明治時代から家庭にエネルギーをお届けし、皆さまの暮らしと豊かな食生活を支えてきました。その長い歴史の中で、食や環境、エネルギーの問題に複合的に取り組むべく、私たちの暮らしに身近な「調理」を軸とし食育活動を開始しました。現在に至るまで、時代の流れに即した食育を推進しています。現在は、「東京ガスの独自性のある食育」として、環境問題やSDGs実現をベースに、次世代育成、健康長寿という現代社会が抱える課題に向き合っています。

スタートは
キッズインザキッチン
こども料理教室 (1992～2020)



味覚教育を取り入れた「味覚のアトリエ」

未来につながる暮らし方を食から

食育活動開始当初は対象をこどもとしていましたが、現在はこどもから大人、シニア世代に至るまで、幅広い世代の方に向けた食育活動へと発展しており、各対象に合わせた持続可能な食を支える取組を行っています。例えば、親子向けにはSDGsの入口となるようなセミナー、大人向けには食料資源の未来を考える講座などを開催しました。また、2014年からは外部の有識者と共に「環境に優しい食育協議会」を発足し、学校や食の関係者など食に関心のある方々に向けて定期的なシンポジウムを開催しています。エコ・クッキングも継続して実施しています。

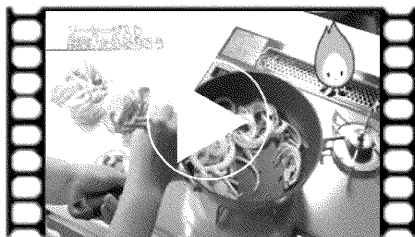


こども向けセミナー

こどもから大人まで
あらゆる世代に向けて

デジタル化でより身近な活動に

活動のPRや情報発信の方法についても、SNSやメールマガジン、オンライン配信など、対象者ごとに時代の流れに合わせたツールを積極的に活用しています。教材についても同様に、内容や対象者に合わせて作成し、一部デジタル化も行っています。より多くの方々目に触れ、身近な食育活動として体験いただけるよう様々な工夫をしています。



食と環境を学ぶ
デジタル教材(2017～)

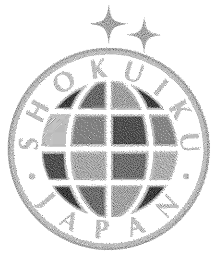


オンライン配信への取組
(2020～)



東京ガスグループでは100年以上前から、炎の調理を通じて食の楽しさをお伝えして参りました。現在は、皆様の生活を支える企業として、食にまつわる様々な社会的課題の解決を目指しています。当社ならではの食への取組をきっかけに、食だけではなく地球環境のことを考えた暮らし方を実践できる方が一人でも多くなることを願っております。

東京ガス株式会社 食情報センター 一同



第7回食育活動表彰
消費・安全局長賞

教育関係者・事業者部門【企業の部】

消費・安全局長賞

株式会社明治

[東京都：活動期間67年]

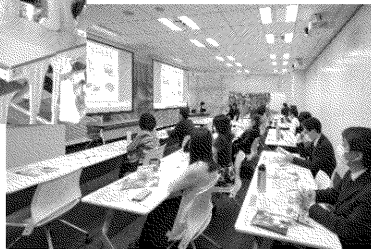
こどもから大人まで 世代に合わせた多様な食育活動

食にふれて・楽しんで・関心を

食に触れて楽しんで関心を持っていただくことを目的として1955年から工場見学を開始、弊社の取り扱う乳の普及を目的に1970年代より料理教室を開始しました。そして2005年食育基本法制定を契機に、日本の健康課題解決を目的として食育出前授業・食育セミナーを始めました。幅広い世代の累計180万人に対し食育セミナーを実施し、「食の知識」「食の魅力」「食の大切さ」や身近な食品の向こう側にある「自然の恵み」「食への感謝」「歴史」を一緒に考え、学べる場を提供しています。



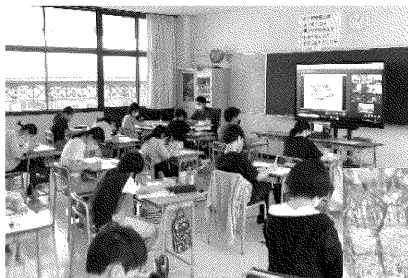
出前授業
みるく教室の様子



健康経営応援セミナーの様子

オンラインを活用して広く情報提供

新型コロナウイルス拡大を契機として2020年6月より新しい生活様式に対応したオンライン形式を展開しています。オンライン形式の確立によって「距離」と「時間」の障壁がなくなり、離島などのように今まで活動できなかった地域の方々へお話をお届けすることができるようになりました。さらに、ジャカルタ日本人学校の生徒やシンガポールの子どもたちに向けてオンラインセミナーを開催し、日本の文化にふれる機会を届けることができました。



ジャカルタ日本人学校との
オンラインセミナーの様子

オンラインセミナー
講師の様子



年代に合わせた30以上のプログラム

「乳」「カカオ」を主なテーマとして、小学生から大人まで、年代に合わせて30以上のプログラムを展開。全国に食育専門組織を配置して、御要望・健康課題に合わせて食育出前授業・食育セミナーを開催しています。「明治の食育」ホームページでは、食に興味を持つことができる情報、アレルギーや栄養に関する情報などを発信しています。

明治
食育ホームページ



明治
食育プログラム



この度は栄えある賞をいただき、ありがとうございます。これからも幅広い世代の方々とのフェイスtoフェイスのコミュニケーションを大切にしながら、「食の知識」「食の魅力」「食の大切さ」の学びとおして、皆様の健康な食生活を実現し幸せな未来に貢献してまいりたいと考えています。

株式会社明治 食育チーム 一同



第7回食育活動表彰
消費・安全局長賞

教育関係者・事業者部門【企業の部】

消費・安全局長賞

カゴメ株式会社

[東京都：活動期間23年]

カゴメのトマト苗「凜々子（りりこ）」等の栽培を通じた食育支援活動 「りりこわくわくプログラム」と「野菜を好きになる保育園ベジ・キッズ」

幼少期から野菜を身近に

トマト苗等の野菜栽培を通じた乳幼児期・学童期のお子様の食育支援を行っています。「りりこわくわくプログラム」は、教育現場の先生と児童・幼児が、安心して楽しく栽培から調理まで体験できる食農サポートプログラムです。保育園「ベジ・キッズ」では、味覚形成の重要な時期である乳幼児と保護者に、野菜を好きになる環境の提供を行うとともに、野菜を使った保育の普及を行っています。

大きなトマトに
大はしゃぎ！



毎日ふれて
「親しみ」と「好奇心の芽生え」
を引き出す

トマト栽培体験を通じて、 心と体を豊かに

「りりこわくわくプログラム」（1999年開始）は、行政とも連携し、学校・園又は家庭においてトマト苗の定植、収穫、調理、喫食までの一連の体験を提供することで野菜への愛着を持ち、野菜に対する意識・行動変容につなげていきます。授業で活用できる資料も無償提供（ホームページ公開も有り）しています。また、優れた実践校・園を表彰して優良事例として公開しています。

みんなでお料理



トマトの苗を
植えたよ♪



野菜が嫌いになる前に、 野菜を好きになる

保育園「ベジ・キッズ」（2019年4月開園）では、調理が身近になる施設で、毎日、野菜に親しめる保育と野菜たっぷりの献立を提供しています。野菜を五感で体験する機会を大切に、様々な角度から野菜と仲良くなることを願っています。また、他の保育園等に野菜栽培保育が実践できる教材キットを提供したり、オンライン事例共有会を開催するなど、保育士のスキルアップの支援も行っています。

食べるの大好き！
もりもり食べるんだ！



野菜のことなら、まかせとけ！
野菜かるたで真剣勝負！



この度は栄えある賞をいただき、ありがとうございます。野菜を栽培する、収穫する、収穫した野菜を調理するといった一連の“植育”体験は、自然や食への知的好奇心や感謝の気持ちを育み、私たちの心と体を豊かにする様々な可能性を秘めています。これからも野菜に親しむ機会を大切にしていきたいと思います。

カゴメ株式会社
「りりこわくわくプログラム」「ベジ・キッズ」
担当者



第7回食育活動表彰
消費・安全局長賞

教育関係者・事業者部門【企業の部】

消費・安全局長賞

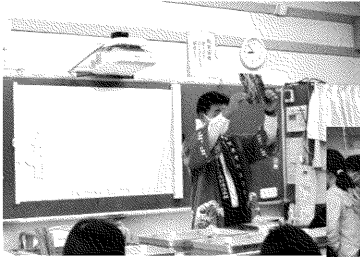
株式会社日本アクセス

[東京都：活動期間8年]

～食文化を身近に～ 伝統食材「乾物」を使った食育 & 食品ロス削減の取組

広い視点でとらえた食育活動

食品総合卸企業として、2014年から流通の過程から食を学ぶ小学生への社会科見学を行ってきました。また、食文化を身近に感じてほしいことから2014年から料理教室、2018年から乾物を使った食育授業を開始しました。小学校5～6年生の家庭科授業内で、日本の伝統食材である乾物を使った食育授業（ゴマ摺り体験、海苔焼き体験等を含む）を実施しています。また、「ロスを出さない」「売り切る」「配る」「リサイクルする」の4つのアプローチで食品ロス削減の取組を実施しています。



食育授業の様子



いろいろな乾物に触れてみよう

体験を取り入れた印象に残る授業

「乾物」は日本の伝統的食材ですが、子どもたちはもちろん、保護者にもあまりなじみがありません。子どもたちの将来において「体験した」「知っている」ということはとても重要なことと考え、流通の視点を加え、調理体験を交えながら食材にふれ体験する機会を提供することにより、自分で調理する楽しさと共に、食文化の継承にもつながっています。さらに、その体験は子どもを通して家族にも伝わり、広がっています。授業には、必ず児童が無理なく楽しく実施できる体験を取り入れるとともに、授業内容が家庭にもつながるよう、家庭向けレシピも配る等の工夫をしています。



焼きのり作り体験

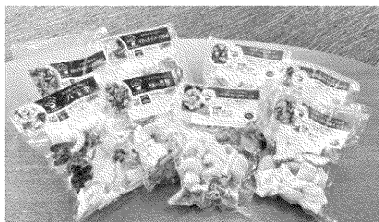
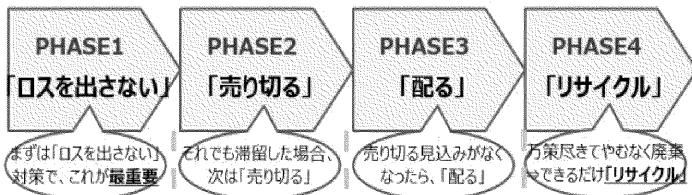


お家でラスク作りに挑戦！

食材の有効活用と環境への配慮

食品ロスの削減には特に力を入れ、検討・工夫を重ね、現在の4つのアプローチで進め、2021年度は前年比4.5%の削減を達成しています。また、取組の一つとして食品ロスを出さずに消費者の「料理の楽しさ」にもつながる「ストックキッチン」を開発、地球環境維持にも貢献しています。

4つのアプローチの図

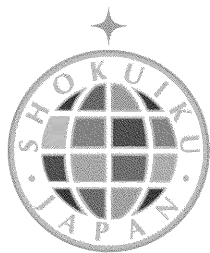


食品ロスを出さずに楽しく料理ができる！



この度は素晴らしい賞をいただき、関係者一同とても嬉しく思っております。当社では、2018年から小学校の児童を対象に乾物を使った食育授業を行ってきました。今回の受賞を励みにして、今後も次世代を担う子ども達に食の大切さ、楽しさ、美味しさなどを伝える活動を続けていきたいと思っております。

株式会社日本アクセス
広報・サステナビリティ推進部 一同



第7回食育活動表彰
審査委員特別賞

教育関係者・事業者部門【企業の部】

審査委員特別賞

日本マクドナルド株式会社

[東京都：活動期間17年]

オリジナルデジタル教材「食育の時間+（プラス）」を通じた マクドナルドの食育授業支援

食を選択する正しい知識と力を

成長期の子どもたちが知っておきたい食にまつわる7つの基本が学べるオリジナルのデジタル教材「食育の時間+（プラス）」を通じて、主に小学校における食育授業・指導を支援しています。教材を提供するだけでなく、食育授業支援事務局を設置して全国各地で食育授業を行う先生方の授業づくりのサポートも行っています。教材はウェブサイトから、どなたでもご利用いただけます。



「食育の時間+」教材で学べる7つのテーマ



教材はウェブサイトから→

こどもたちの課題に合わせて

本教材はオンラインで利用できるため、通常授業や出前授業の実施が難しい状況下及び新たな日常の中でも普遍的に食育推進に役立ててもらうことができます。生涯を通じた心身の健康を支えるために必要な基本知識や、持続可能な食（食品ロス削減）も学べる7つのテーマから、こどもたちの課題を把握している教職員がその解決に適したテーマを選択して授業・指導ができます。



「食育の時間+」
を活用した
授業の様子



パソコン、
タブレットでの
利用に最適

わかりやすく 使いやすく

「食育の時間+」教材は、デジタルの特性を生かしたアニメ・動画・アプリで構成しつつ、謎解きのストーリー性を持たせることで子どもたちの興味関心を引くよう工夫しています。また、授業指導案、補助教材、板書一式までを網羅して利便性の向上を図り、さらに理解を深めるための貸出教具もそろえています。また、当該教材の使い方をデモンストレーション形式で伝える研修の実施やお問合せにも対応しており、全国の教育現場での食育授業が継続的に実践されるサポートもしています



テーマ4で使用する貸出教具
「手洗いチェッカー」

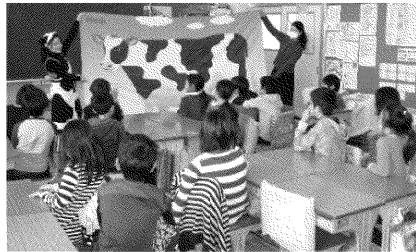


教育現場に無償提供している
「食育の時間+」の指導案冊子



当社の食育支援の取組を評価いただき、心より御礼申し上げます。これまでに9,000校を超える学校で28万人にのぼる児童・生徒が「食育の時間」で学んでくださっています。この度を受賞を糧に、今後も「食」を提供する企業の責務として子どもたちの健やかな成長と笑顔を目指し、食育支援に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。






日本マクドナルド株式会社
サステナビリティ & ESG部 一同
(食育支援担当部署)



農林水産省 消費・安全局
消費者行政・食育課

〒100-8950
千代田区霞が関1-2-1

TEL.03-3502-8111 (代)

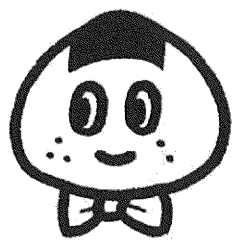
-  [はじめに](#)
-  [このブログについて](#)
-  [プライバシーポリシー](#)
-  [コメントはこちら](#)
-  [これまでいただいたコメント](#)

 **インデックス**

- [イベント情報](#)
- [サンマ](#)
- [夏の終わりのゴーヤ](#)
- [お月見団子](#)
- [防災食](#)
- [重陽の節句](#)
- [デラウェア](#)
- [梅シロップ \(その後\)](#)
- [宮城の郷土料理「おくずかけ」](#)
- [梅の土用干し♪](#)
- [ホヤ](#)
- [食育推進全国大会に参加してきました](#)
- [山形の郷土料理「だし」](#)
- [七夕](#)
- [梅](#)
- [味噌](#)
- [食育活動表彰](#)
- [イベント情報](#)
- [6月は食育月間です](#)
- [グリーンピース](#)
- [べ・じ・ぶ・ろ・す](#)
- [端午の節句](#)
- [新玉ねぎ](#)
- [ちょうどよいバランスの食生活](#)
- [ふきのとう](#)
- [桜](#)

 **過去の記事**

- [\[令和5年分 \]](#)
- [\[令和4年分 \]](#)
- [\[令和3年分 \]](#)



「食育フログ」

(7) 食フックひろば

食育推進全国大会に参加してきました R5.7.21

今回は、第18回食育推進大会に参加したMさんとIさんから大会の概要についてお伝えします。

「第18回食育推進全国大会inとやま」が6月24日（土曜日）、25日（日曜日）に富山県で開催されました。大会のテーマは「食で心も体も幸せに とやまから広げるウェルビーイング ～未来へつなげよう 幸せの基盤～」2日間で合計23,300人が来場し、大勢の人々で賑わいました。



開会式では、農林水産省が食育を推進する優れた取組を称える「第7回食育活動表彰 表彰式」が行われ、180件の事例の中から、特に優れた取組を行っている5件の団体に対して「農林水産大臣賞」、優れた取組を行っている13件に対して「消費・安全局長賞」、特色のある取組を行っている5件に対して「審査委員特別賞」が授与されました。東北からは、岩手県一関市で活動されている京津畑自治会が「食育推進ボランティアの部」において【消費・安全局長賞】を受賞されました。

○第7回食育活動表彰結果については、コチラをご覧ください。
（京津畑自治会の取組もご覧いただけます。）
<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/hyousyo/7th/result.html>



[令和2年分]

■表彰を受ける京津畑自治会会長の伊東様。■
おめでとうございます。!(^_^)!



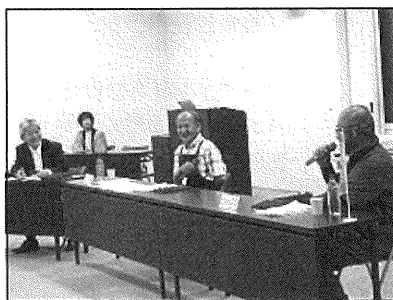
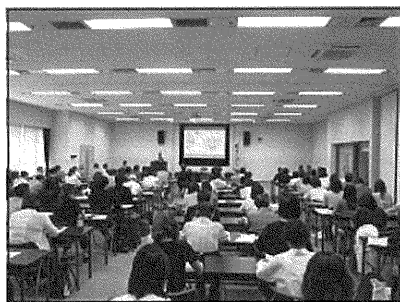
京津畑自治会は、「なつかしい山里食の再発見」をテーマに、長年「食の文化祭」による交流イベントを開催しています。自治会が一丸となって進める取組は、食育の推進及び地域振興に大きく貢献しています。かつての山里の食が再び脚光を受け、さらに現代風にアレンジされ、若者に「新鮮な食事」として見直されています。食の文化祭をきっかけに起業した郷土食の女性加工グループ「やまあい工房」のふる里の味は、県内外の多くの方々に人気です。おばあちゃんの懐かしいお料理にまた会えるような、心身共に温まる素敵な取り組みですね。

次に、ステージイベントの一部を紹介します。

■北陸農政局主催のセミナー

「野菜・果物深掘り！セミナー ～おいしいを楽しく学ぶ～」■

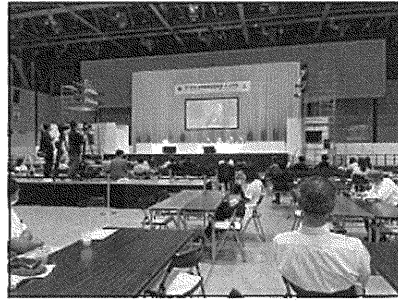
北陸農政局管内の農業は、米の消費量の減少を受けて、園芸作物のような高収益作物への転換が不可欠となっている現状です。消費者の健康志向の高まりを受け、栄養・機能性等を含む青果物の魅力を産地から発信することが重要です。



■富山食育シンポジウム「食とウェルビーイング」■

ウェルビーイングとは、心身ともに健康な状態を意味します。ウェルビーイング研究の第一人者である予防医学研究者の石川善樹さんや、サステナビリティを意識して生産に取り組む農業者・漁業者等の活動に理解を深め、富山の豊かさを次世代に繋いでいくために

自分たちができることについて意見交換がなされました。



○ステージイベントやセミナー動画は、
下記の大会公式ホームページをご覧ください。

<https://shokuiku-toyamataikai-18th.jp/video-archive/> 【外部リンク】

続いて、ブースの一部を紹介します。（出展数は約140ブース）

■宮城県大崎市■

「大崎耕土」は、冷害や、洪水に対応するための「水管理システム」を中心に、「生き物との共生関係」や「農文化」「食文化」「豊かで特徴的な景観」が発展し、それら全体の「つながり」が認められ、世界農業遺産に認定されたそうです。パネル展示と共に、郷土料理「しそ巻き」と「イナゴの佃煮」を来場者に配布し、PRしていました。特にイナゴは、おっかなびっくりで口に運んでいた人が多かったのですが、無事に全量試食いただいたとのことでした。



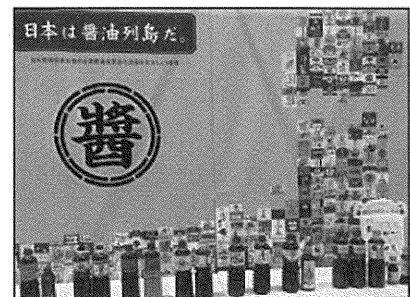
■北陸農政局のブース、 移動消費者の部屋■

北陸の地方野菜や果樹を中心に紹介。



■富山県醤油味噌 工業協同組合■

全国のお醤油マップ。圧巻です。



■とやまジビエ■

ジビエ料理や活動の紹介



■「第1回Z-1グランプリ」■

全国のご当地雑煮のグランプリ決定戦。
石川県の北本さんの作品が
応募総数1,077作品から
グランプリに選ばれました。



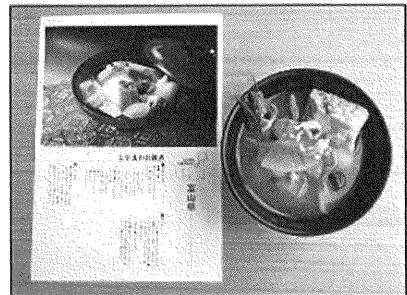
■お雑煮マップ■

それぞれ特徴があって、
美味しそうです。



■富山県のお雑煮。■

富山らしい、エビが入ったお雑煮。



■野菜ソムリエコミュニティ富山■

富山で生産されている
野菜・果物の紹介。



今回の全国大会に参加し、様々な刺激を受けました。
「食育」と一言で言っても多種多様な取組があり、
もっと様々な角度から捉える必要があると改めて実感しました。
人が生きていく上での礎である「食」を通して心と体、
双方が健康に。そして幸せを感じられるよう、
微力ながら情報発信をしていきたいと思えます。

来年の第19回食育推進全国大会は、
大阪府で令和6年6月1日（土曜日）、2日（日曜日）に開催される予定です。
みなさまもぜひ、参加してみたいと思います。

(お・ま・け)

梅雨明け宣言前ですが、暑い日々が続きますね。
この掛け軸で「涼」を感じてみてください。
読めますでしょうか？



コタエハ「タキ」デシタ(^^♪

令和5年7月21日

[これ以前のブログを読む→ 令和5年分](#)

PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe Readerが必要です。
Adobe Readerをお持ちでない方は、バナーのリンク先からダウンロードしてください。



公式SNS



[イベント情報](#)

[関連リンク集](#)

[農林水産畜
トップページへ](#)

東北農政局

住所：〒980-0014 仙台市青葉区本町三丁目3番1号
電話：022-263-1111（代表）
法人番号：5000012080001

[ご意見・お問い合わせ](#)

[アクセス・地図](#)

[サイトマップ](#) [プライバシーポリシー](#) [リンクについて](#)・[著作権](#) [免責事項](#)

Copyright : Tohoku Regional Agricultural Administration Office

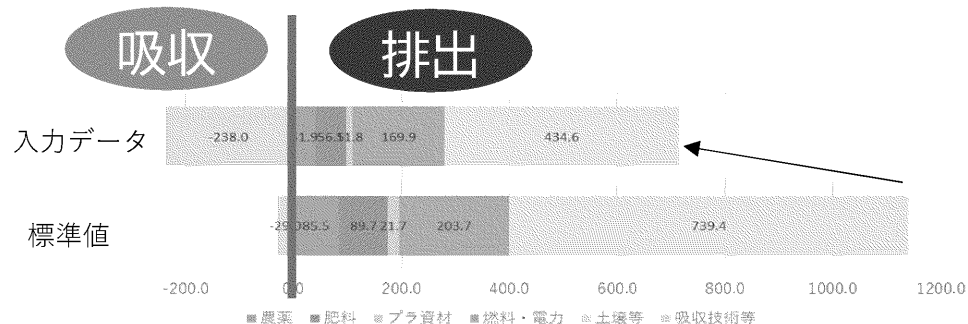
「みどり戦略」に基づく農産物の温室効果ガス削減の「見える化」

2023年8月
農林水産省

- みどりの食料システム戦略に基づき、消費者の選択に資する環境負荷低減の「見える化」を進めます。
- 化学肥料・化学農薬や化石燃料の使用削減、バイオ炭や堆肥の施用、水管理(水田)などの、生産者の栽培情報を用いて、定量的に温室効果ガスの排出と吸収を算定し、削減率に応じて星の数で分かりやすく表示します。

「見える化」とは？

生産者の栽培情報を用いて、生産時のGHG排出を試算



その地域での慣行栽培と比較して、当該生産者の栽培がGHG排出を何割削減できているかを評価

排出(農薬、肥料、燃料等)
ー 吸収(堆肥・バイオ炭)

5%
削減達成!



$$100\% - \frac{\text{対象生産者の栽培方法での排出量(品目別)}}{\text{地域又は県の標準的栽培での排出量(品目別)}} = \text{削減率(\%)}$$

消費者へのわかりやすい表示



対象品目

コメ、トマト、キュウリほか計23品目

消費者にわかりやすい表示・広報

ラベルを用いて温室効果ガス削減を消費者に分かりやすく表示

- ★ : 削減率5%以上
- ★★ : " 10%以上
- ★★★ : " 20%以上

全国のべ199か所で販売

(令和5年8月24日時点)



東急ストア



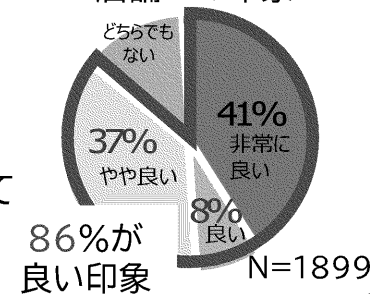
コープみやざき

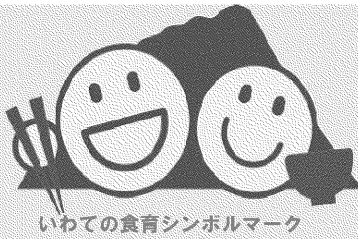


店舗への印象

関係者の理解の醸成

生産者、食品事業者、流通・小売事業者等が、「あふの環」等を通じて連携、「見える化」を発信





毎月19日は食育の日

入場無料

令和5年度

岩手県食育推進県民大会

～地産地消を通じて伝える いわての美味しい食べ物～

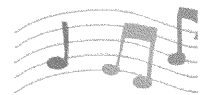
■とき／10月21日(土) 10:30～15:00

■ところ／イオンモール盛岡 1階 イーハートブ広場
共用通路

◆イベント日程◆

■第1部 表彰式 10:30～12:00

- 10:30 岩手うんめえ～もん!!グランプリ2023 表彰式
- 11:15 令和5年度岩手県食育貢献者表彰 表彰式
令和5年度岩手県食育推進図画・ポスターコンクール、標語コンクール 表彰式



■第2部 ステージイベント 12:30～15:00

- 12:15 来場者プレゼント 県産米銀河のしずく(300g)無料配布(先着100名様)
- 12:30 Lips Dance Schoolによるステージ(食育ダンス他)
- 12:45 「岩手県3R推進キャラクター「エコロル」生誕10周年記念ステージ」
- 13:05 食に関するトークショー「岩手うんめえ～もん!!グランプリ2023」
受賞者インタビュー&商品紹介
- 14:05 岩手県立大学盛岡短期大学部による「適塩弁当の開発」の活動紹介
- 14:20 いわて純情むすめによる「国消国産月間(10月)」のPRタイム
来場者プレゼント 牛乳(200ml)無料配布(先着300名様)

あそびにきてね☆



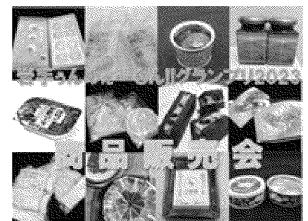
■展示・体験コーナー

【展示】

- 令和5年度岩手県食育推進図画・ポスターコンクール作品展示
- 令和5年度岩手県食育推進標語コンクール作品展示

【体験】

- 野菜ソムリエコミュニティいわて
 - ・野菜ソムリエのお仕事紹介
 - ・野菜クイズ他
- (株)明治
 - ・「チョコクイズ」、「みるくクイズ」
 - ・「食の栄養バランスチェック」
- キリンビバレッジ(株)
 - ・午後の紅茶アレンジティー体験コーナー
 - ・プラズマ乳酸菌&免疫コーナー



■商品販売会

岩手うんめえ～もん!!グランプリ2023に出品された商品の販売会を開催

主催：岩手県・岩手県食育推進ネットワーク会議

【問い合わせ】環境生活部県民くらしの安全課 電話 019-629-5322 FAX 019-629-5279 メール AC0009@pref.iwate.jp